

Peregrine

AssetCenter



契約

© Copyright 2005 Peregrine Systems, Inc. or its subsidiaries.

All rights reserved.

本書に記載されている情報は、Peregrine Systems, Incorporatedが所有し、Peregrine Systems, Inc.の書面による許可なく使用または開示することはできません。本書の一部または全部を、Peregrine Systems, Inc.の事前の書面による許可なく無断で複製することを禁じます。本書に記載されている商品名は、該当する各社の商標または登録商標です。

Peregrine Systems ®およびAssetCenter ®は、Peregrine Systems, Inc.の商標です。

本書で説明されているソフトウェアは、Peregrine Systems, Inc.とエンドユーザ間で締結されるライセンス契約に基づいて提供されます。契約の条項に従って、ソフトウェアを使用する必要があります。Peregrine Systems, Inc.は、本書の内容については一切の責任を負いかねます。また、本書の内容が予告なく変更されることもあります。本書の最終バージョンの日付を確認するには、Peregrine Systems, Inc.のカスタマサポートまでお問合せください。

デモ用データベースと本書の例に使用されている団体名および個人名は架空のものであり、本ソフトウェアの使用方法を説明するためのものです。現在、過去を問わず、実在する団体や個人とのいかなる類似もまったくの偶然によるものです。

本製品に関する技術情報の請求、またはライセンスをお持ちの製品に関するマニュアル類の請求については、Peregrine Systemsのカスタマサポート (support@peregrine.com) までお寄せください。

本マニュアルに関するご意見やご要望は、Peregrine Systems, Inc.の出版部 (doc_comments@peregrine.com) までお寄せください。

本書の内容は、ライセンス契約に基づくプログラムのバージョン4.4に適用されます。

AssetCenter

Peregrine Systems, Inc.
3611 Valley Centre Drive San Diego, CA 92130
858.481.5000
Fax 858.481.1751
www.peregrine.com



目次

PEREGRINE

はじめに	11
契約モジュールの対象ユーザ	11
契約モジュールの使用目的	12
本マニュアルの使用手法	12
I. 事前準備	15
1. 事前準備	17
II. 使用	21
2. 一般的な概要	23
リース契約	23
メンテナンス契約	26
保険契約	27
ソフトウェアライセンス	27
一括発注契約	27
アプリケーションサービス契約	27
3. 手順1 - 契約を作成する	29
契約を作成する	29
契約の階層構造	31
契約のタイプ	32

契約に関連付けられた書類	33
4. 手順2 - 契約に資産を追加する	39
契約に資産をリンクする	39
契約上の資産のリストを確認する	43
資産に関連付けられた契約のリストを確認する	43
資産と契約とのリンクを削除する	44
5. 手順3 - 賃貸料を定義する	47
主要な概念	47
契約のレベルで賃貸料を追加する	47
資産のレベルで賃貸料を追加する	49
賃貸料の支払スケジュールを入力する	49
賃貸料の配賦方法	52
賃貸料を配賦する	62
6. 手順4 - ローンの定義	63
主要な概念	63
契約ごとにローンを追加する	63
資産ごとにローンを追加する	64
ローン返済スケジュールの入力	65
ローンの配賦方法	68
賃貸料を配賦する	76
7. 手順5 - 資産の受領を承認する	79
主要な概念	79
資産の受領を承認する	80
8. 手順6 - 経費明細を生成する	87
主要な概念	87
賃貸料にリンクする経費	89
ローンにリンクする経費	92
9. 手順7 - 損失額の定義	95
主要な概念	95
損失額の計算規則を定義する	96
損失額を計算する	98
損失額を更新する	99
10. 手順8 - 終了日の管理	101
契約上の資産を更新する	101

資産を返却する	103
資産を買い取る	104
その他の場合	105
11. 日常のASP契約の管理	107
必要条件	107
ASP管理Webページに接続する	108
ASP Webサイトに接続する	108
テクニカルサポートに電子メールを送信	109
ユーザアカウントを管理する	110
III. 実用例	117
12. 実用例	119
メンテナンス契約を管理する	119
保険契約を管理する	124
リース契約を管理する	124
ASP契約を管理する	136
アラームを作成する	142
IV. 付録	147
13. 用語解説	149
承認 (Acceptance)	149
料率	149
一括発注	150
契約	150
マスターリース (Master lease)	151
リース明細 (Lease schedule)	151
ローン (Loan)	151
支払期日	152
期間満了 (End of term)	152
配賦	153
利子	153
リース	154
賃貸料 (Rent)	154
一時金 (Interim rent)	155
主賃貸料	155
賃貸額	155
通知	156
支払回数	156
貸付業者 (Assignee)	156
比例配分	157

アプリケーションサービス	157
ローン返済明細	158
損失額 (Loss value)	158
比例配分値	159
賃貸料の値	159
買取額	160
市場価格	160
初回金	160
14. 参考情報	163
メニューとタブページ	163
ツールバーのアイコン	166
インタフェースのオプション	166
テーブル	167
テーブル間の依存関係	171
リストデータ	175
特殊フィールド	176
カウンタ	177
アクションとウィザード	177
AssetCenter Serverモジュール	179
システムデータと専門分野データ	180
レポートと書式	181
自動プロセス	181
API	181
ビュー	182
その他のマニュアル	182
ワークフローチャート	184
Index	187



図の一覧表

PEREGRINE

2.1. 契約 - データモデル	24
2.2. リース - 手続きの手順	25
9.1. 損失額のタイプ - '定額法' の例	96
11.1. ユーザアカウントの管理ワークフロー - 図	111

表の一覧表

PEREGRINE

1.1. 契約モジュール - 必要なユーザライセンス	17
3.1. 契約にアクセスするメニュー	29
4.1. 資産と契約をリンクする	40
5.1. 賃貸料 - 賃貸料の支払スケジュールを指定するフィールド	50
5.2. [回数] フィールド - 概要	50
5.3. 賃貸料 - 契約賃貸料の計算に使用されるフィールド	55
5.4. 賃貸料 - 資産の賃貸料の計算に使用されるフィールド	56
5.5. 賃貸料 - 契約賃貸料の計算に使用されるフィールド	60
5.6. 賃貸料 - 契約賃貸料の計算に使用されるフィールド	61
6.1. ローン - ローン返済スケジュールを記述するために使われるフィールド	66
6.2. ローン - 経費明細の計算に使用されるフィールド	71
6.3. ローン - 経費明細の計算に使用されるフィールド	76
7.1. [受領承認日と一時金] ウィンドウ	80
14.1. メニューとタブページ (契約) - 一覧	163
14.2. テーブル (契約) - 一覧	167
14.3. テーブル間の依存関係 (契約) - 表	171
14.4. リストデータ (契約) - 一覧	176
14.5. カウンタ (契約) - 一覧	177
14.6. アクションとウィザード (契約) - 一覧	178
14.7. その他のマニュアル (契約) - 一覧	182
14.8. ワークフローチャート (契約) - 一覧	184



はじめに

PEREGRINE

契約モジュールの対象ユーザ

AssetCenterの契約モジュールは、設備や資産用に以下の契約を締結する企業向けに設計されています。

- 保険
- レンタル契約またはリース契約
- メンテナンス
- ライセンス契約
- アプリケーションサービス
- 一括発注

主に以下のユーザが契約モジュールを使用します。

- 財務管理者
- 購買管理者
- バイヤ
- ポートフォリオの管理者
- 法律顧問
- 資産トラッキングの管理者

契約モジュールの使用目的

契約モジュールは契約の文書化と管理に使用されます。

- 契約条件
- 利害関係者
- 賃貸料、ローンと税金
- 経費
- 契約に関連する資産と従業員
- 貸主と借主間の事務手続き
- リース契約の終了
- レポート

契約モジュール内のリース部分は、所有資産の総管理費用（TCO - Total Cost of Ownership）の管理に非常に有用です。Gartner Groupは、リース契約を適切なソフトウェアで管理することが、IT資産管理のコスト削減を図る最大の秘訣であると述べています。

本マニュアルの使用方法

「使用」の部

「一般的な概要」の章

この章では、契約モジュールの基本的な機能の使用法の説明とAssetCenterで処理できるさまざまなタイプの契約について示します。

この章では契約モジュール機能の概要をつかむことができます。

「手順1 - 契約を作成する」の章

この章では、契約管理の最初の手順と、AssetCenter データベースで契約を作成する方法の詳細について説明します。

この章は、契約モジュールで日常の契約管理を行う際の手引きとしてお読みください。

「手順2 - 契約に資産を追加する」の章

この章では、契約管理の2番目の手順と、契約と資産をリンクする方法の詳細について説明します。

この章を読んで、作成した契約に資産を追加または削除する方法、契約上の資産リストを参照する方法について把握してください。

「手順3 - 賃貸料を定義する」の章

この章では、契約管理の3番目の手順を説明し、契約および資産賃貸料に関する問題を扱います。

この章を読んで、契約への賃貸料の追加、賃貸料の支払明細の定義、賃貸料の比例配分方式の選択方法について把握してください。

「手順4 - ローンの定義」の章

この章では、契約管理の4番目の手順を説明し、契約および資産ローンに関する問題を扱います。

この章を読んで、契約へのローンの追加、ローン返済明細の定義、ローンのコスト分担方式の選択方法について把握してください。

「手順5 - 資産の受領を承認する」の章

この章では、契約管理の5番目の手順である資産の受領について説明します。

この章を読んで、資産の受領方法と一時金の計算方法について把握してください。

「手順6 - 経費明細を生成する」の章

この章では、契約管理の6番目の手順ならびに経費明細に関する問題を取り扱います。

この章を読んで、賃貸料とローン支払額から経費明細を生成または再計算する方法について把握してください。

「手順7 - 損失額の定義」の章

この章では、契約管理の7番目の手順である損失額の定義について説明します。

この章を読んで、資産の喪失または破損の管理方法について把握してください。

「手順8 - 終了日の管理」の章

この章では、契約管理の8番目の手順と期間満了手続きの詳細について説明します。

この章を読んで、契約が任期满了になったときにどのようなオプションを選択できるか把握してください。

「日常のASP契約の管理」の章

この章はアプリケーションサービス契約のみ対象としています。

この章を読んで、アプリケーションサービス契約の特徴について理解し、AssetCenterを使って契約を管理する方法について把握してください。

「実用例」の部

「実用例」の章

この章では4つのイラスト例を用いて、AssetCenterがどのように契約を管理するかについて調べます。

この章を読んで、4つの契約管理シミュレーションとAssetCenterでのアラーム作成方法について把握してください。

「付録」の部

「用語解説」の章

契約モジュールでは専門的な用語が使用されています。契約モジュールの主要用語は用語解説にまとめられています。

用語の理解にはこの用語集を通読してください。

「参考情報」の章

参考情報が記載されています。

契約モジュールに関連するAssetCenterソフトウェアの全コンポーネントについて、また補足の詳細情報については、この章を参照してください。



パート

事前準備

1 事前準備

契約モジュールの必要条件

契約モジュールを使用するには、AssetCenterのユーザライセンスで、次のモジュールへのアクセス権を取得している必要があります。

表 1.1. 契約モジュール - 必要なユーザライセンス

必要な機能	ライセンス範囲内で購入するモジュール
契約管理	契約
ポートフォリオ管理	ポートフォリオ
コスト管理	ファイナンス
調達管理（オプション）	購入

契約モジュールを使って本番データベースで作業する

本番データベースを使用するには、次を実行してください。

- 1 AssetCenterをインストールします。
- 2 AssetCenter Database Administratorを実行します。
- 3 データベースを作成し、契約に特有の専門分野データをインポートします。
- 4 テーブルのモジュールを含むユーザライセンスを挿入します。

これらのモジュールへのアクセス権は、AssetCenterに同梱のライセンスファイルlicense.cfgで指定されます。

- 5 AssetCenterを実行します。
- 6 作成したデータベースに接続します。
- 7 テーブルのモジュールを起動します（ [ファイル / モジュールの起動] メニュー）。
モジュールの起動方法については、マニュアル『カスタマイズ』の「クライアントコンピュータをカスタマイズする」の章にある「モジュールの起動」の部を参照してください。

データベース作成時にシステムデータをインポートする

以下の操作を行います。

- 1 AssetCenter Database Administratorを実行します。
- 2 [ファイル / 開く] メニューを選択します。
- 3 [データベース記述ファイルを開く(新規データベースの作成)] オプションを選択します。
- 4 「gbbase.xml」ファイルを選択します。このファイルは、AssetCenterのインストールフォルダの「config」サブフォルダにあります。
- 5 [アクション / データベースの作成] メニューを選択します。
- 6 [システムデータの作成] オプションをチェックします。
- 7 他のフィールドに必要な情報を入力し、データベースの作成を続けます。

データベース作成時に専門分野データをインポートする

以下の操作を行います。

- 1 AssetCenter Database Administratorを実行します。
- 2 [ファイル / 開く] メニューを選択します。
- 3 [データベース記述ファイルを開く(新規データベースの作成)] オプションを選択します。
- 4 「gbbase.xml」ファイルを選択します。このファイルは、AssetCenterのインストールフォルダの「config」サブフォルダにあります。
- 5 [アクション / データベースの作成] メニューを選択します。
- 6 [エクストラ データのインポート] オプションをチェックします。
- 7 [インポートするデータ] リストで次のオプションを選択します。
 - 契約 - 専門分野データ
 - 契約 - 専門分野データ (ASP)
- 8 他のフィールドに必要な情報を入力し、データベースの作成を続けます。

専門分野データを既存のデータベースにインポートする

以下の操作を行います。

- 1 AssetCenter Database Administratorを実行します。
- 2 [ファイル/開く]メニューを選択します。
- 3 [データベース記述ファイルを開く(新規データベースの作成)]オプションを選択します。
- 4 「gbbase.xml」ファイルを選択します。このファイルは、AssetCenterのインストールフォルダの「config」サブフォルダにあります。
- 5 [アクション/データベースの作成]メニューを選択します。
- 6 [データベースの作成]オプションの選択を解除します。
- 7 [システムデータの作成]オプションの選択を解除します。
- 8 [エクストラデータの作成]オプションをチェックします。
- 9 [インポートするデータ]フィールドで次のオプションを選択します。
 - 契約 - 専門分野データ
 - 契約 - 専門分野データ (ASP)
- 10 [作成]をクリックします。

AssetCenterのインストールの詳細を知るには

マニュアル『インストール』を参照してください。



|| 使用

パート

2 | 一般的な概要

本章では、契約モジュールの一般的な概要について説明します。

AssetCenterでは、取引先との間で締結された契約（メンテナンス契約、保険契約など）を管理できます。

契約は階層構造になっており、すべての契約が1つのテーブルで管理されます。各契約には主契約と付属契約があります。

契約の詳細画面に表示される一連のタブとその内容は、作成する契約の [タイプ] (seType) および [支払属性] (sePayType) フィールドによって異なります。

リース契約

主要な概念

リース契約では、貸主がある一定の期間、資産を賃貸料をとって貸します。借主には、資産を保有し使用する権利が与えられます。

リース契約の借主は、借りた物件を実際に所有せずに、自分の好きなように使用することができます。また、借主は、その物件の法的所有者、またはその資産の法的所有者の代理としての貸主に一定の賃貸料を支払います。

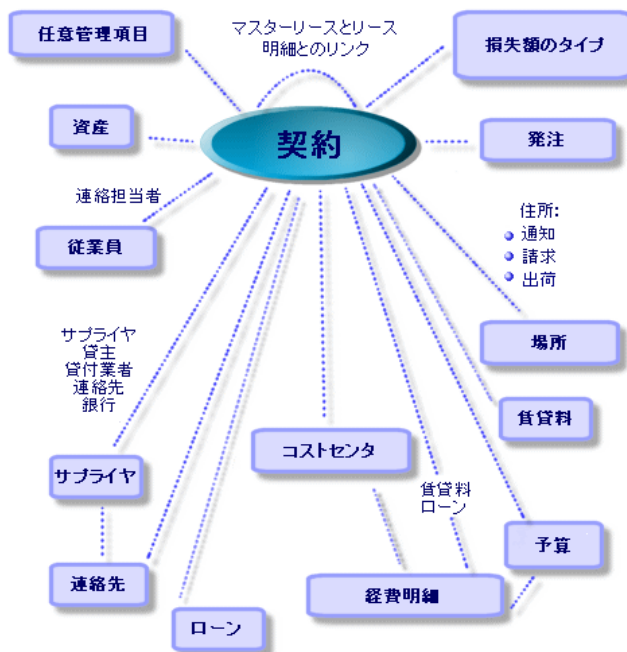
リースでは以下の概念を使用します。

- リース [倭献54]
- マスターリース (Master lease) [倭献51]
- リース明細 (Lease schedule) [倭献51]
- 賃貸料 (Rent) [倭献54]
- 承認 (Acceptance) [倭献49]
- 損失額 (Loss value) [倭献58]
- ローン (Loan) [倭献51]
- 期間満了 (End of term) [倭献52]
- 貸付業者 (Assignee) [倭献56]

これらの概念の定義については、本マニュアルの用語解説 [倭献49]を参照してください。

データの簡略モデル

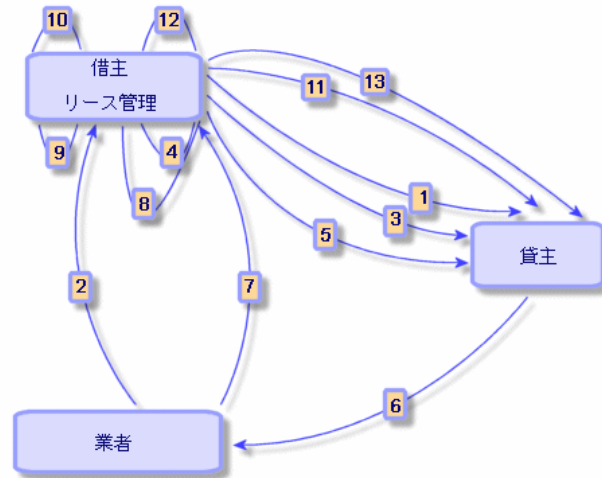
図 2.1. 契約 - データモデル



一般的な手順

リース手続きの一般的な手順は例えば次のようになります。

図 2.2. リース - 手続きの手順



- 1 マスターリースを作成します。マスターリースには、一般的な契約条件を入力します。リース明細のテンプレートとして使います。
- 2 AssetCenterを使ってリース対象の資産の見積を作成します。これで賃貸額の評価を開始できます。
- 3 AssetCenterを使ってリース明細を作成します。リース明細はマスターリースにリンクできます。必ずしもリンクさせる必要はありません。
- 4 AssetCenterを使ってリース対象の資産の発注を作成します。
- 5 発注書を発行します（借主から貸主へ）。
- 6 貸主が業者に発注します。
- 7 業者から貸主にリース物件が納品されます。
- 8 AssetCenterを使って発注に関連する資産の受領伝票を作成します。これで、資産がリース明細に加えられます。
- 9 AssetCenterを使わずに調達を管理する場合は、資産を手動でリース明細に追加する必要があります。
- 10 賃貸料の詳細情報を入力します。
- 11 資産の受領を承認します。受領証書を送付します（借主から貸主へ）。

- 12 契約上の資産のライフサイクル管理（資産の追加、資産の紛失または破損、返却、更新、購入）を行います。
- 13 期間満了の管理（契約の更新またはアップグレード、資産の返却または購入）を行います。


処理をトラッキングする

[サイクル] タブページでは、資産のライフサイクルをトラッキングできます。このタブページには、リース契約の管理で資産に対して実行した処理の一覧が表示されます。

- 1 契約下に置く
- 2 受領承認
- 3 更新
- 4 購入（買い取り）
- 5 返却

注意:

このタブページは、情報の提供のみを目的としています。このタブページから契約下にある資産に関する処理を行うことはできません。

処理を行った資産や返却明細のリストを展開するには、 をクリックします。ダブルクリックすると、資産と返却の詳細画面にアクセスできます。

注意:

返却処理に表示される日付は返却予定日です。

メンテナンス契約

AssetCenterでは、メンテナンス契約の使用条件を定義したり、関連する作業指示を管理することができます。

AssetCenterによる作業指示の管理の詳細については、マニュアル『ポートフォリオとソフトウェアライセンス』の「作業指示とプロジェクト」の章にある「作業指示」を参照してください。

保険契約

AssetCenter 契約モジュールでは、保険契約の契約条件を定義することができます。

これらの特殊性を別にすれば、AssetCenterで保険契約を管理する手順はリース契約の管理手順と同じです。

保険契約の作成とトラッキングの詳細については、リース契約の概要（「リース契約 [倭融3]」）を参照してください。

ソフトウェアライセンス

AssetCenterではライセンスの使用条件を定義することができます。

AssetCenterによるソフトウェアライセンスの管理とインストールの詳細については、マニュアル『ポートフォリオとソフトウェアライセンス』の「ソフトウェア」の章を参照してください。

一括発注契約

一括発注タイプの契約は、顧客が指定期間内の最低発注約定によってサプライヤに関連付けられているために、AssetCenterの調達モジュールと密接に関連付けられます。

一括発注タイプの契約の作成と管理の詳細については、マニュアル『調達』の「発注」の章にある「一括発注」を参照してください。

アプリケーションサービス契約

主要な概念

アプリケーションサービスとは、アプリケーションサービスプロバイダ（ASP）と呼ばれるサードパーティによりホスティングされるソフトウェアアプリケー

ションを指します。このアプリケーションは通常特定の業務分野（銀行口座の管理、顧客口座など）に関係していて、定期購入タイプの契約の対象になります。アプリケーションサービスを使うと、アプリケーションのメンテナンスやアップグレードの必要がなくなります。

AssetCenterは、企業が使用するアプリケーションサービスに関するデータを保存、トラッキングすることができます。ユーザはASP契約データにアクセスし、（アクションとワークフローによる）自動処理手続きを作成することができます。

AssetCenterでのアプリケーションサービス契約の管理手順

- 1 [契約 / アプリケーションサービス] メニューで契約を作成する：ここでは契約を定義するフィールドに必要な情報を入力します（契約責任者、参照情報、アプリケーションのタイプなど）。
- 2 アプリケーションサービスの詳細画面の [従業員] タブで 契約へのアクセス権を持つ従業員を選択する：契約の管理者（およびそのログイン名）と契約ユーザを選択します。
- 3 日常の契約管理：日常の管理の基本となるのはアクションとワークフロー（管理、接続、電子メールの配信、ユーザの追加と削除、アカウントの変更など）です。AssetCenter Serverではワークフローチャートが実行されます。

警告:

ワークフローが正常に機能するには、実行グループ'BST_ASP'にワークフロー規則を適用モジュールをAssetCenter Serverで有効にする必要があります。

- 4 [ツール / 進行中のタスク] メニューを使用して契約管理者が変更を確定する：この手順は自動処理ではないため、責任者はAssetCenter Serverにより指示されたすべての変更を確認し、反映することができます。その後、契約に関連した情報は更新され、ワークフローによって契約ユーザに通知されます。AssetCenterでアプリケーションサービス契約を管理するには、次の手順を確実に実行する必要があります。

3 | 手順1 - 契約を作成する

この章では、契約の作成方法ならびに次の点について説明します。

- 使用可能なメニュー
- 必須入力フィールド
- この段階で入力不要なタブ
- 使用可能な契約タイプ

契約を作成する

契約を作成するには：

- 1 次のいずれかのメニューを使用して契約のリストを表示します。

表 3.1. 契約にアクセスするメニュー

メニュー	メニューを使用して表示する契約タイプ
	すべてのタイプ (ASPを除く)
契約 / リース明細	リース明細
契約 / 一括発注	一括発注
契約 / マスターリース	マスターリース
契約 / アプリケーションサービス	ASP

ヒント:

表からわかるとおり、複数のメニューから同一の契約タイプを表示できます。特定タイプの契約のみ表示するメニューの場合は、契約を絞り込める利点があります。

また、ASPタイプの契約を表示できるのは1つのメニューだけです。[契約 / 契約] メニューからこのタイプの契約は表示できません。

- 2 新規契約を作成します ([新規作成] ボタン)。
- 3 契約のフィールドとリンクに、次の項目をはじめとする必要な情報を入力します。

フィールドまたはリンク	値
[全般] タブ	
親契約 (Parent)	このフィールドの入力方法を調べるには▶ 契約の階層構造 [修飾1]
タイプ (seType)	このフィールドの入力方法を調べるには▶ 契約のタイプ [修飾2]
支払属性 (sePayType)	<ul style="list-style-type: none"> ■ なし：契約は賃貸料またはローンのどちらによっても資金調達されない。 ■ 賃貸料：契約は賃貸料により資金調達される。 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 手順3 - 賃貸料を定義する [修飾7] ■ ローン：契約はローンにより資金調達される。 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 手順4 - ローンの定義 [修飾3] ■ 両方：契約は賃貸料とローンの両方によって資金調達される。 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 手順3 - 賃貸料を定義する [修飾7] ▶ 手順4 - ローンの定義 [修飾3]
[リース] タブ	このタブは、[タイプ] (seType) フィールドが [リース明細] または [マスターリース] に設定された場合に表示されます。
<ul style="list-style-type: none"> ■ 業者指定 (bAssignable) ■ 貸付業者 ■ 条件 (AssignCond) 	リース契約を割当可能：貸主は割当先により機器の資金調達ができます。このケースでは、これらのフィールドに必要な情報を入力します。
[ライセンス] タブ (ライセンス契約用)	このタブは、[タイプ] (seType) フィールドがライセンスに設定されているときに表示されます。
[従業員] タブ	ライセンスのユーザリストを定義できます。

フィールドまたはリンク	値
[オプション] タブ	[タイプ] (seType) フィールドが リース明細に設定されているときに表示され、使用可能な期間満了オプションを決定することができます。 ▶ 手順7 - 損失額の定義 [修献5]
[契約] ボタン	このボタンはアプリケーションサービス画面の詳細に表示されます。契約 (この場合はライセンス契約) の主なフィールドとリンクにアクセスできます。 アプリケーションサービスとライセンスをそれぞれ記述する画面は同じレコードに対応しています。 ▶ 日常のASP契約の管理 [修献07]

4 次のタブページには何も入力しないでください。この入力後は後で行います。

タブ	参照する章または節
資産	▶ 手順2 - 契約に資産を追加する [修献9]
資産 (リース)	▶ 手順5 - 資産の受領を承認する [修献9]
賃貸料	▶ 手順3 - 賃貸料を定義する [修献7]
ローン	▶ 手順4 - ローンの定義 [修献3]

契約の階層構造

親契約リンクにより、契約テーブルは階層構造を持ちます。

付属契約リストは、親契約の [明細] サブタブにあります。

階層構造は次のような場合に便利です。

- マスターリースにリース明細を関連付ける。
- 契約に修正を関連付ける。

リース契約の場合、 [マスターリース] では貸主と借主間の一般的な契約条件を指定しますが、リース対象の資産と賃貸条件は指定しません。 [リース明細] は、マスターリースに階層的に関連付けられた付属契約で、マスターリースの特徴を継承します。

契約のタイプ

AssetCenterでは、様々なタイプの契約を管理できます。契約の詳細画面の上部の [タイプ] (seType) フィールドには、契約のタイプが表示されます。このフィールドの値をリストデータから選択すると、その値に応じて契約の詳細画面に表示されるタブとその内容が決まります。

契約タイプ	詳細	アクセスメニュー	特有のタブ
マスターリース	リース契約の一般的な条件を定義します。実際にリースする資産の明細や支払条件は定義されません。	<ul style="list-style-type: none"> ■ [契約 / 契約] ■ [契約 / マスターリース] 	<ul style="list-style-type: none"> ■ [リース] ■ [明細]
リース明細	以下の事が出来ます。 <ul style="list-style-type: none"> ■ リース明細（またはレンタルの同意事項）の定義 ■ 契約に含まれる資産のリストと支払条件の明記 	<ul style="list-style-type: none"> ■ [契約 / 契約] ■ [契約 / リース明細] 	[リース]
メンテナンス	以下の事が出来ます。 <ul style="list-style-type: none"> ■ メンテナンス契約の定義 ■ この契約に関連する作業指示の管理 	[契約 / 契約]	[メンテナンス]
保険	保険契約（保険証券）を定義します。	[契約 / 契約]	
ライセンス	ライセンスの同意事項を定義します。	[契約 / 契約]	[ライセンス]

契約タイプ	詳細	アクセスメニュー	特有のタブ
一括発注	[一括発注]タイプの契約では、購入者は指定された期間内に指定された最低金額分の製品を購入しなければなりません。期限までに最低金額に達しない場合は、購入者に罰則が適用されます。	<ul style="list-style-type: none"> [契約 / 契約] [契約 / 一括発注] 	
ASP	アプリケーションサービスとは、アプリケーションサービスプロバイダ（ASP）と呼ばれるサードパーティによりホスティングされるソフトウェアアプリケーションを指します。定期購入契約はこれに使用されず。従業員は通信プロトコル（インターネット、X-25など）を介してこのアプリケーションを利用します。	[契約 / アプリケーションサービス]	<p>アプリケーションサービスの詳細画面では、一般の契約の詳細画面にない項目を補っています。</p> <p>[契約] ボタンをクリックすることによって、アプリケーションサービスだけの画面から一般の画面にアクセスできません。</p>
その他	上記のどのタイプにも該当しない契約を定義します。	[契約 / 契約]	

契約に関連付けられた書類

契約に書類を追加する

契約に書類を追加するには、複数の方法を利用できます。

- 方法 1：ウィザードを使用する
 - 1 契約の詳細画面で、ウィンドウの右側にある [書類] ボタンをクリックします。

- [文書の追加/変更...] ウィザードが起動します。
 - [新規文書] オプションを選択します。
 - ウィザードに表示される指示にしたがいます。
-

 **注意:**

契約の詳細画面の [書類] タブを右クリックして、ショートカットメニューから [アクション / 文書の追加/変更...] を選択することで、文書作成ウィザードを起動することもできます。


- 方法2: [書類] タブから
 - 1 契約の詳細画面で [書類] タブをクリックし、次に [+] ボタンをクリックします。
[文書の追加] ウィンドウが表示されます。
 - 2 必要なフィールドに入力し、[追加] をクリックします。

契約に関連付けられた書類を変更する

- 方法1: ウィザードを使用する
 - 1 契約の詳細画面で、ウィンドウの右側にある [書類] ボタンをクリックします。
[文書の追加/変更...] ウィザードが起動します。
 - 2 [文書の編集] オプションを選択します。
 - 3 ウィザードに表示される指示にしたがいます。
-

 **注意:**

契約の詳細画面の [書類] タブを右クリックして、ショートカットメニューから [アクション / 文書の追加 / 変更] を選択することで、文書作成ウィザードを起動することもできます。

- 方法2: [書類] タブを使用する
 - 1 契約の詳細画面で [書類] タブをクリックし、変更したい書類を選択します。
 - 2  ボタンをクリックし、書類の詳細画面を表示します。
 - 3 書類を変更し、[変更] ボタンをクリックします。

契約に関連付けられた書類の自動承認

ここでは、AssetCenterを使用した書類の承認を自動化する方法と、自動化の設定方法について説明します。

[契約] モジュールのシステムデータには [契約文書の承認]

(SYS_CONTRACT_APPR) という名前のワークフローチャートが含まれます。

このワークフローチャートでは、契約に関連付けられた書類の承認が自動的に行われます。

ワークフローチャートトリガするイベント	次のイベントが発生すると、ワークフローチャートが起動します。 <ul style="list-style-type: none"> 書類を追加する 						
ワークフローの継続に必要な条件	次のフィールドが指定した値に設定されると、ワークフローチャートは継続して実行されます。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>テーブル名</th> <th>フィールドまたはリンクの名前</th> <th>フィールド値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>書類 (amDocument)</td> <td>テーブル (DocObjTable)</td> <td>amContract</td> </tr> </tbody> </table>	テーブル名	フィールドまたはリンクの名前	フィールド値	書類 (amDocument)	テーブル (DocObjTable)	amContract
テーブル名	フィールドまたはリンクの名前	フィールド値					
書類 (amDocument)	テーブル (DocObjTable)	amContract					
ワークフローチャートの起動と実行にAssetCenter Serverが必要か?	はい						
ワークフローチャートの簡単な説明	<ol style="list-style-type: none"> このワークフローチャートは契約に追加された書類の承認依頼を作成します。 この承認依頼は、すでに定義されている場合はワークフローアクティビティに変換されて契約責任者に割り当てられ、それ以外の場合はファイナンスグループ (SYS_CORE_FINANCE) に直接割り当てられます。 契約責任者が定義されていて承認依頼を受諾すると、承認依頼が作成され、ファイナンスグループに割り当てられます。 承認依頼が否認された場合 (契約責任者またはファイナンスグループによって)、書類のステータスは [却下] に設定されます。 ファイナンスグループと契約責任者によりすべての依頼が承認された場合、書類のステータスは [承認済] に設定されます。 契約責任者が定義されている場合、通知メッセージが送られます。 						

このワークフローチャートの特徴は次の通りです。

契約の依頼を依頼する前に、次の設定を行ってください。

- 1 グループを表示します ([ポートフォリオ / グループ] メニュー) 。

2 ファイナンス (SYS_CORE_FINANCE) グループを表示します。

フィールドまたはリンク	コメント
責任者 (Supervisor)	ワークフローアクティビティが [契約文書の承認] ワークフローチャートで作成されると、このリンクで指定されたユーザは通知メッセージを受け取ります。ユーザはこれらのワークフローアクティビティを表示することもできます。
[グループ構成] タブ	
メンバー	グループメンバーは [契約文書の承認] ワークフローチャートによって作成された書類承認依頼のワークフローアクティビティを閲覧します。

少なくとも次のフィールドとリンクには入力してください。

AssetCenter Serverを設定する

AssetCenter Serverは、 [契約文書の承認] ワークフローチャートをトリガするかどうか、初期ワークフローイベントのスケジュール設定にしたがって確認します。

AssetCenterでこのタスクを実行するには：

- 1 AssetCenter Serverを起動します。
- 2 AssetCenterデータベースに接続します ([ファイル/データベースに接続] メニュー)。
- 3 モジュールを表示します ([ツール/モジュールの設定] メニュー)。
- 4 [実行グループなしでフローチャートにワークフロー規則を適用] モジュールを選択します。
- 5 モジュールをトリガするスケジュールを定義します ([検証スケジュール])。

バックグラウンドタスクとしてAssetCenter Serverを起動する。

[実行グループなしでフローチャートにワークフロー規則を適用] モジュールを定期的に行うには、AssetCenter Serverをバックグラウンドで実行する必要があります。

書類の承認依頼を受諾または却下する

各承認依頼に対して、 [契約文書の承認] ワークフローチャートはワークフローアクティビティを作成します。

これらのワークフローアクティビティは契約責任者と承認担当のファイナンスグループに割り当てられます。

タスクが割り当てられた契約責任者とグループのメンバーはワークフロータスクを閲覧することができます。

承認依頼を受諾または却下するには：

- 1 責任者またはグループメンバーの一人としてログインし、AssetCenterに接続します。
- 2 ワークフロータスクを表示します（ [ツール / 進行中のタスク] メニュー ）。
- 3 承認依頼に対応するタスクを選択します。
- 4 選択したワークフロータスクを確認します。
- 5 [承認] または [拒否] をクリックします。

現在の書類の承認ステータスを表示する

- 1 [契約 / 契約文書] メニューを選択します。
- 2 [ワークフロー] タブで、リストから目的の契約文書を選択し、現在の承認ステータスを確認します。



4 | 手順2 - 契約に資産を追加する

この章では、契約を資産と関連付ける方法ならびに次の点について説明します。

- 契約の資産リストを確認する
- 資産と契約との間のリンクを削除する

契約に資産をリンクする

手動の方法

資産と契約をリンクする手順は、契約のタイプによって異なります。

表 4.1. 資産と契約をリンクする

契約のタイプ	手順
メンテナンス	<ol style="list-style-type: none">1 資産リストを表示します（ [ポートフォリオ / 資産とロット] メニュー ）。2 資産を選択します。3 [メンテ] タブを選択します。4 メンテナンス契約（ MaintContract ）リンクを入力します。5 これらの変更を承認します（ [変更] ボタン ）。 <p>注意:</p> <p>このようにして、契約は資産の詳細画面の [契約] タブに自動的に表示されます。</p>

契約のタイプ

手順

リース明細


方法1:

- 1 資産リストを表示します（[ポートフォリオ/資産とロット]メニュー）。
- 2 [取得]タブを選択します。
- 3 [調達]サブタブを選択します。
- 4 [取得方法]（seAcquMethod）フィールドに[購入]以外の値を入力します。
- 5 リース明細リンク（AcquContract）を入力します。
- 6 これらの変更を承認します（[変更]ボタン）。

注意:



このようにして、契約は資産の詳細画面の[契約]タブに自動的に表れるようになります。

方法2:

- 1 使用可能なアクセスメニューを使用して契約リストを表示します（▶メニューとタブページ（契約） - 一覧 [修献63]）。
- 2 [資産（リース）]タブを選択します。
- 3  ボタンをクリックします。
- 4 契約に追加する資産を選択します。
- 5 選択を承認します（[選択]ボタン）。
- 6 契約の[支払属性]（sePayType）フィールドが[賃貸料]または[両方]に設定されている場合は、[資産を契約に追加: 賃貸料の支払の選択]ウィンドウが表示されます。
このウィンドウを変更しないで確定します（[選択]ボタン）。
- 7 これらの追加を確定します（[変更]ボタン）。

ヒント:

- [取得方法]（seAcquMethod）フィールドには、契約レベル（[全般]タブ）の[取得方法]（seAcquMethod）フィールドの値が入ります。
- [調達]サブタブページには、貸主の名前と参照番号が入力され、[リース明細]フィールド（AcquContract）にリンクしたリース契約の参照番号が表示されます。
- [価格と条件]サブタブページには、リース期間の開始日と終了日が表示されます。

契約のタイプ	手順
<ul style="list-style-type: none"> ■ その他 ■ 保険 ■ メンテナンス ■ ライセンス 	<p>方法1:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 資産リストを表示します（[ポートフォリオ/資産とロット]メニュー）。 2 [契約]タブを選択します。 3 ボタンをクリックします。 4 [資産に契約を追加]ウィンドウが表示されます。 このウィンドウに必要な情報を入力します。 入力した情報を確定します（[追加]ボタン）。 5 これらの追加を確定します（[変更]ボタン）。 <hr/> <p>方法2:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 使用可能なアクセスメニューを使用して契約リストを表示します（▶ メニューとタブページ（契約） - 一覧 [修献63]）。 2 [資産]タブを選択します。 3 ボタンをクリックします。 4 [契約に資産を追加]ウィンドウが表示されます。 このウィンドウに必要な情報を入力します。 入力した情報を確定します（[追加]ボタン）。 5 これらの追加を確定します（[変更]ボタン）。

調達モジュールを使用する

調達サイクルを使うと、資産と契約との関連付けを管理することができます。

既存の契約または取得予定の契約を参照することができます。

既存の資産または取得予定の資産を参照することができます。

この機能を利用すると、資産と契約を自動的に作成またはリンクすることができます。そのため非常に便利です。発注を受けると、資産と契約が作成され、必要に応じてAssetCenter内で相互にリンクされます。

操作手順については、マニュアル『調達』の「特殊な例」の部の「契約」の章を参照してください。

 注意:

「リース明細」タイプの契約の場合：

発注した資産を受領すると、たとえ拒否した場合でも資産はデータベースに作成されます。[取得状況] (seAcquStatus) は [受領済] に設定されますが (資産の [取得] タブ、[調達] サブタブ)、後でそれらを承認することができます。正しく承認されると、[取得状況] フィールドは [受領承認済] に設定されます。

▶ 手順5 - 資産の受領を承認する [倭献9]

契約上の資産のリストを確認する

契約上の資産のリストを確認するには：

- 1 使用可能なアクセスメニューを使用して契約のリストを表示します (▶メニューとタブページ (契約) - 一覧 [倭献63])。
- 2 リスト画面で契約を選択します。
- 3 次のタブのいずれかを選択します。

契約タイプ	タブ
リース明細	資産 (リース)
保険	資産
メンテナンス	資産
ライセンス	資産
その他	資産

資産に関連付けられた契約のリストを確認する

資産に関連付けられた契約のリストを確認するには：

- 1 資産のリストを表示します ([ポートフォリオ / 資産とロット] メニュー)。
- 2 リスト画面で資産を選択します。
- 3 次のタブのいずれかを選択します。

契約タイプ	タブ	サブタブ	フィールドまたはリンク
リース明細	取得	調達	リース明細 (AcquContract)
	契約		
保険	契約		
メンテナンス	メンテ		メンテナンス契約 (MaintContract)
	契約		
ライセンス	契約		
その他	契約		

資産と契約とのリンクを削除する

なぜ資産と契約とのリンクを削除するのか？

資産と契約とのリンクを削除するのは、リンクが誤って作成された場合にのみ行います。

正常な状況では、このリンクを削除してはいけません。資産が指定日以降契約対象ではないことを指定する方法は他にもあります。

このリンクを保持することで、ある期間に資産が契約対象であったことが履歴として残ります。

資産と契約とのリンクを削除する

資産と契約とのリンクを削除するには、次の選択肢の中から1つを選択します。

- 契約の詳細画面からの方法
 - 1 契約の詳細画面を表示します。
 - 2 [資産] または [資産 (リース)] タブを選択します。
 - 3 リンクを解除する資産を選択します。
 - 4 ボタンをクリックします。
- 資産の詳細画面での方法
 - 1 資産の詳細画面を表示します。
 - 2 [契約] タブを選択します。
 - 3 リンクを解除する契約を選択します。
 - 4 ボタンをクリックします。

資産が契約対象ではなくなったことを指定する

資産が契約対象でなくなるのには複数の理由があるため、それぞれのケースに応じた処理が必要です。

ケース	変更するテーブル	変更するフィールド	コメント
この契約の契約対象のすべての資産について期間満了になりました。	契約 (amContract)	終了 (dEnd)	この日付は契約期間が満了間近であることを示しています。満了すると、リンクされたすべての資産は契約対象から外れることとなります。
ある資産は契約対象ではなくなりますが、その他の資産はまだ契約対象です。	契約上の資産 (amAsstCntrlDesc)	削除予定日 (dPlannedRemov)	契約満了日とは異なる削除予定日を設定したい場合は、このフィールドで資産の実際の削除予定日を指定する必要があります。
資産は期間満了時に貸主に返却されます。			▶ 手順7 - 損失額の定義 [修補5]
資産は期間満了時に貸主から買い取られます。			▶ 手順7 - 損失額の定義 [修補5]
資産は期間満了前に紛失または盗まれました。			▶ 手順7 - 損失額の定義 [修補5]

5 | 手順3 - 賃貸料を定義する

この章では、契約賃貸料の定義方法ならびに次の点について説明します。

- 賃貸料の支払を追加する
- 賃貸料の支払スケジュールを定義する
- 賃貸料の分配方法を選択する

主要な概念

賃貸料の支払は契約ごとに定義され、しばしば資産まで影響が及びます。契約賃貸料と資産の賃貸料は別々のテーブルに格納されます。

- 契約賃貸料テーブル (amCntrRent)
- 資産の賃貸料テーブル (amAssetRent)

契約のレベルで賃貸料を追加する

契約賃貸料は、契約の詳細画面の [賃貸料] タブページに記述されます。マスターリースを除くすべての契約は賃貸料によって支払われることができます。このタブページは、契約の詳細画面で次の2つの条件が満たされた場合にのみ表示されます。

- [タイプ] フィールド (seType) がマスターリース以外の値に設定されている。
- 支払属性 (sePayType) フィールドが [賃貸料] または [両方] に設定されている。

[賃貸料] タブの表示方法を選択する

[賃貸料] は次の2つの方法で表示できます。

- 1 タブ形式
- 2 リスト形式

表示モードを切り替えるには、[賃貸料] タブ内 (タブのタイトル上ではない) を右クリックし、ショートカットメニューから [タブ形式で表示] または [リスト形式で表示] を選択します。

タブ形式で契約に賃貸料を追加する

- 1 [賃貸料] タブを表示します。
- 2 [賃貸料] タブの左下にあるサブタブを右クリックします。
- 3 [リンクレコードの追加] を選択します。
- 4 新しいサブタブページに情報を入力します。

賃貸料の支払スケジュールの入力方法を調べるには：▶ [賃貸料の支払スケジュールを入力する](#) [[修飾9](#)]

賃貸料の分配方法の選択の仕方を調べるには：▶ [賃貸料の配賦方法](#) [[修飾2](#)]

賃貸料の経費配賦方法の定義の仕方を調べるには：▶ [賃貸料にリンクする経費](#) [[修飾9](#)]

- 5 [変更] をクリックします。

[リスト] ビューに表示された契約に賃貸料を追加する

- 1 [賃貸料] タブを表示します。
- 2 [+] ボタンをクリックします。
- 3 賃貸料の詳細画面に必要な情報を入力します。

賃貸料の支払スケジュールの入力方法を調べるには：▶ [賃貸料の支払スケジュールを入力する](#) [[修飾9](#)]

賃貸料の分配方法の選択の仕方を調べるには：▶ [賃貸料の配賦方法](#) [[修飾2](#)]

- 4 [追加]をクリックします。
- 5 [変更]をクリックします。

資産のレベルで賃貸料を追加する

賃貸料の支払を資産のレベルで直接作成することはできません。契約賃貸料が資産に比例配分または配賦される状況で、この資産が契約に追加された時に資産レベルの賃貸料が自動的に作成されます。

この資産レベルの情報は、リース契約の詳細画面の [賃貸料] タブページの情報と同様です。

資産の賃貸料の詳細は、資産の詳細画面の [賃貸料] タブで確認することができます。

注意:

このタブは、[取得方法] (seAcquMethod) フィールドで指定する資産の取得方法が [レンタル] の場合にのみ表示されます。

契約の詳細画面で資産がリース明細に追加されると、AssetCenterは資産の取得方法を自動的に更新し、[賃貸料] タブが表示されます。

資産レベルの賃貸料は、契約レベルで賃貸料を資産レベルに配賦しないことを指定したり、賃貸料の支払を契約から削除したりすると自動的に削除されます。

賃貸料の支払スケジュールを入力する

ここでは、賃貸料の支払スケジュールを指定するフィールドについて説明します。

賃貸料の支払スケジュールを指定するフィールド

表 5.1. 賃貸料 - 賃貸料の支払スケジュールを指定するフィールド

フィールドラベル	フィールドのSQL名	使用法
開始	dStart	賃貸期間の開始日
終了	dEnd	賃貸期間の終了日 🔔 アイコンを使用して、終了日を知らせるアラームを設定することができます。
回数 支払	sePeriodicity seAdvArrears	支払回数 賃貸料を [支払回数] フィールドで定義した賃貸期間の開始日に支払うか、終了日に支払うかどうかを決定します。
支払期日	tsBillCycDay	[支払] フィールドに入力した値を基準として、賃貸料を支払う日時（何月何日）を表示）を決定します。 負の値を入力することもできます。
猶予	tsGrace	賃貸料の支払が遅れたときの猶予期間を指定します。

回数フィールドの働きの詳細

[回数] フィールドに応じて、AssetCenterは以下の方法でレンタル期間の開始日を設定します。

表 5.2. [回数] フィールド - 概要

[回数] フィールドの値	支払期間の開始日
毎日	00:00
毎週	月曜日
月2回	各月の1日と16日
月1回	各月の1日

[回数] フィールドの値	支払期間の開始日
隔月	1月1日、3月1日、5月1日、7月1日、9月1日、11月1日
年4回	1月1日、4月1日、7月1日、10月1日
年2回	1月1日と7月1日
年1回	1月1日

貸貸料の支払スケジュールの適用方法の例

例1

次の値を入力した場合：

フィールドラベル	フィールドのSQL名	値
回数	sePeriodicity	月1回
支払	seAdvArrears	先払い
支払期日	tsBillCycDay	-5日

この場合、支払期日は指定されている貸貸期間の開始日（その月の1日）の5日前になります。

例2

次の値を入力した場合：

フィールドラベル	フィールドのSQL名	値
回数	sePeriodicity	月1回
支払	seAdvArrears	先払い
支払期日	tsBillCycDay	4日
猶予	tsGrace	7日

この例では、月初めの1日から4日後、つまり5日までに貸貸料を支払わなければなりません。貸主は支払の遅れを7日間まで許容します。この結果、借主は月の12日までに支払えばいいことになります。

賃貸料の配賦方法

ここでは、さまざまな配賦方法を紹介し、その適切な選択方法について説明します。

賃貸料の比例配分方法を選択する

手順

賃貸料の比例配分方法を選択するには：

- 1 契約の詳細画面を表示します。
- 2 [賃貸料] タブを表示します。
- 3 賃貸料の詳細画面を表示します。
- 4 [賃貸料の比例配分] (seProrateRule) フィールドに必要な情報を入力します。

次の比例配分方法のいずれかを選択できます。

比例配分方法	計算方法
資産に賃貸料を配分または配賦しない	賃貸料は契約ごとに計算され、資産には配賦されません。
すべての資産に賃貸料を比例配分して配賦	賃貸料は契約ごとに計算されてから、契約上の各資産に配賦されます。
選択した資産に賃貸料を比例配分して配賦	賃貸料は契約ごとに計算されてから、契約上の選択した資産に配賦されます。
すべての資産に1件当りの賃貸料を配賦	1件当たりの賃貸料の支払額は契約ごとに定義され、その後契約上の各資産に現状のまま配賦されます。
選択した資産に1件当りの賃貸料を配賦	1件当たりの賃貸料の支払額は契約ごとに定義され、その後、契約上の選択した資産に現状のまま配賦されます。

選択方法

賃貸料を契約上のすべての資産に比例配分または配賦するのはどんなときか？

- すべての資産の賃貸料のパラメータが同じで、賃貸料をすべての資産に適用するときです。

賃貸料を契約上の選択した資産に比例配分または配賦するのはどんなときか？

- 選択した資産に応じて、異なる料率または1件当たりの賃貸料を配分するときです。
このように、リース契約の場合、借主はこの方法を使って複数のリース賃貸料を作成し、それぞれを選択した資産ごとに配分できます。このオプションを使うと、特定のメーカーの資産には特定の料率で計算する賃貸料または1件当たりの賃貸料を設定し、料率または1件当たりの賃貸料の異なる別のメーカーの資産には別の賃貸料を設定することができます。
- さらに、契約賃貸料を契約上の主資産と見なされる資産だけに配分し、その他の資産には配分しないことを選択できます。
例えば、PCの保守に関連する賃貸料をハードドライブだけに配分し、ディスプレイには配分しないようにすることができます。

賃貸料を資産に配分しないオプション

- 契約上の資産のリストが賃貸料の支払額に影響しない場合。
資産に配分しないので、契約期間中に資産を追加または削除しても、賃貸料の支払額は変更されません。
例：定額保険料
- 時間とディスク容量を節約する場合。
- 資産の詳細を考慮せずに、契約内容を検討する場合。

すべての資産または選択した資産に契約賃貸料を配分する

ここでは、賃貸料の支払を契約上のすべての資産または選択した資産に配分する方法について説明します。


実行手順

AssetCenterで実行される自動計算が正しく機能するためには、次の手順に従ってください。

- 1 契約を作成します。契約賃貸料は作成しません。
- 2 資産レベルで賃貸料を作成しないで、契約に資産を追加します（資産の詳細画面の [取得] タブ）。
各資産の [市場価格] (mMarketVal) フィールドに必要な情報を入力します（ [取得] タブ、 [調達] サブタブ）。
- 3 契約賃貸料を作成します（契約の [賃貸料] タブ）。

特に次のフィールドとリンクに必要な情報を入力してください。

フィールドまたはリンク	値
賃貸料の比例配分 (seProrateRule)	<ul style="list-style-type: none"> すべての資産に賃貸料を比例配分して配賦 選択した資産に賃貸料を比例配分して配賦
主賃貸料 (bMainRent)	<p>複数の種類の賃貸料の支払がある場合は、主賃貸料と派生的な賃貸料との支払を区別する必要があります。リースタイプの契約に固有の一時金は、主賃貸料の支払がある場合のみ存在する賃貸料なので、リースではこの概念が重要になります。</p> <p>主賃貸料に適用する原則は以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ある特定の支払がある契約の主賃貸料の支払である場合、この支払はこの契約に関連する全資産の主賃貸料の支払になります。 契約1件につき、主賃貸料は1件のみです。 <p>ある賃貸料の支払を主賃貸料の支払として定義するには、賃貸料の全般サブページの [主賃貸料] (bMainRent) オプションを選択します。</p> <p>警告:</p> <p>AssetCenterは、契約または資産1件につき、主賃貸料の支払が1件のみであるかどうかを検証することはありません。</p>

- 4 賃貸料の適用を選択した資産に制限したい場合は、[賃貸料の比例配分] フィールド (seProrateRule) の右側にある  アイコンをクリックします。契約に含まれている資産のリストが表示されます。このリストから賃貸料を配賦する資産を選択します。[選択] をクリックし、資産の選択を確定します。

 **重要項目:**

賃貸料に関連付ける資産すべてを同時に選択する必要があります。[選択] をクリックすると以前の選択は取り消され、新しい選択で上書きされます。

🔑 重要項目:

契約賃貸料の詳細画面で [受領承認日] オプション (bFromAcceptDate) を選択すると、契約上の資産が受領されるまでその賃貸料の支払の経費明細は計算されません。

💡 ヒント:

選択した資産を変更 (追加または削除) する場合は、 [賃貸料の比例配分] (seProrateRule) フィールドの右側にある🔄アイコンをもう一度クリックして、選択内容を変更します。

[選択] をクリックし、新しく選択した資産を承認します。

契約レベルで賃貸料を計算する

契約の詳細画面の [賃貸料] タブページには、賃貸料のリストと詳細が表示されます。

賃貸料の支払額は次のフィールドで計算されます。

表 5.3. 賃貸料 - 契約賃貸料の計算に使用されるフィールド

フィールドラベル	SQL名	使用法
市場価格	mValue	このフィールドの値は、賃貸料に関連付けられた資産の [市場価格] (mMarketVal) フィールドの合計になります。 警告: この値は、賃貸料の詳細を定義する前に契約に資産を追加した場合にのみ、正しく計算されます。
料率	pLRF	契約条件に対応する値を手動で入力します。
賃貸額	mPayments	賃貸料の支払額は、 [料率] フィールド (pLRF) の値を賃貸料の [市場価格] フィールド (mValue) に適用することで計算されます。

資産レベルの賃貸料を計算する

賃貸料は、契約上の各資産ごとに契約レベルの次のフィールドで定義された条件に基づき計算されます。

表 5.4. 賃貸料 - 資産の賃貸料の計算に使用されるフィールド

フィールドラベル	SQL名	使用
賃貸料	mPayments	このフィールドには、賃貸料に関連付けられたすべての資産の合計賃貸額が格納されます。
比例配分方法	ProrateField	このフィールドは、資産ごとに賃貸料を比例配分および配賦するのに使用される資産のフィールドを指定します。
四捨五入	fPrecision	このフィールドは、比例配分計算後の賃貸料の値をどのように四捨五入するか指定します。
受領承認日	bFromAcceptDate	このオプションは、[タイプ] (seType) フィールドがリース明細に設定されている契約の場合のみ使用されます。 このオプションを解除すると、資産賃貸料の支払は賃貸開始日に開始します。 このオプションを選択すると、資産の受領承認日から第1回目の賃貸契約期間を対象とする一時金の支払が作成されます。

賃貸料を資産に配分するための参照フィールドを選択する

賃貸料を資産に配分するための参照フィールドは、契約賃貸料の [比例配分方法] フィールド (ProrateField) によって定義されます。

[比例配分方法] フィールドは次の値に設定することができます。

値	賃貸料を資産に比例配分するための参照として使用されるフィールドの場所 (資産の詳細画面)		
	タブ	サブタブ	この参照フィールドが表示されるために [取得方法] (seAcquMethod) フィールドがとるべき値 ([取得] タブ、 [調達] サブタブ)。
支払 (mPayments)	賃貸料	全般	<ul style="list-style-type: none"> ■ レンタル ■ リース
転売価格 (mResalePrice)	全般		<ul style="list-style-type: none"> ■ 購入 ■ レンタル ■ リース
購入価格 (mPrice)	取得	価格と条件	<ul style="list-style-type: none"> ■ 購入
表記価格 (mListPrice)	取得	価格と条件	
税金 (mIntPayTax)	取得	価格と条件	<ul style="list-style-type: none"> ■ レンタル ■ リース
税金 (mTax)	取得	価格と条件	<ul style="list-style-type: none"> ■ 購入
市場価格 (mMarketVal)	取得	調達	
買取額 (mPurchOptVal)	取得	価格と条件	<ul style="list-style-type: none"> ■ リース
残存価額 (mNetValue)	固定資産		<ul style="list-style-type: none"> ■ 購入
初回金 (mIntPay)	取得	価格と条件	<ul style="list-style-type: none"> ■ レンタル ■ リース

 注意:

[市場価格] (mMarketVal)、[買取額] (mPurchOptVal)などの特定の参照フィールドはどちらかと言うとリース賃貸料の計算に使用されます。

他のフィールドは、賃貸またはリース以外で取得した資産の賃貸料を計算するのに使われます。例えば、保険料は契約賃貸料と見なされるので、[購入価格] フィールドに比例して、購入した資産に配賦 (配分) されます。

慣習として、これら参照フィールドの値を「比例配分値」と呼ぶことにします。資産の [支払] (mPayments) フィールドを計算する式は次のとおりです。

$$\text{資産賃貸料} = \text{契約賃貸料} \times \frac{\text{資産1件の比例配分値}}{\text{契約上の資産の比例配分値}}$$

四捨五入

丸め誤差は、最初の賃貸資産に繰り越されます。AssetCenter Serverは、最初の資産を除く各資産の賃貸料を計算し、その結果派生した誤差を最初の資産の賃貸料に繰り越して、資産賃貸料の合計が契約賃貸料に等しくなるように調整します（どれを最初の資産と見なすかは、データベース管理システムとそのインデックスの設定方法によって決まります）。

四捨五入の値が「0」に設定されている場合は、各資産の賃貸料を浮動小数のデフォルトの精度で計算します。例えば、価格が「100」の契約賃貸料を3つの資産に分割する場合は、指定した四捨五入の値によって次のように各資産の賃貸料が算出されます。

- 四捨五入の値が0.01の場合
 - 1 33,34
 - 2 33,33
 - 3 33,33
- 四捨五入の値が0の場合
 - 1 33.3333333333333433
 - 2 33.333333333333254
 - 3 33.333333333333254

注意:

四捨五入の値は、税金の値を配分する場合にも使われます。

賃貸料に関連付けられた資産に分配される賃貸料の計算例

ある企業が次に示す3つの資産をリースすると仮定します。

- 2台のPC（XとY）（市場価格はそれぞれ150,000円）
- 1台のPC（Z）（市場価格は200,000円）
- 契約賃貸料は市場価格によって比例配分されます。

契約の初期料率は3%です。

契約賃貸料を計算する

契約賃貸料	= 契約賃貸資産の価格 x 料率
	= 契約上の資産の市場価格の合計 X 料率
	= 500,000円 x 3%

 = 15,000円

資産の賃貸料を計算する

Yの賃貸料	= 契約賃貸料 × 「Y」の比例配分値/ (「X」、「Y」、「Z」の比例配分値の合計)
	= 契約賃貸料 × 「Y」の市場価格/ (「X」、「Y」、「Z」の市場価格の合計)
	= 15,000 × 150,000 / (150,000 + 150,000 + 200,000)
	= 4,500円
Zの賃貸料	= 150,000 × 200,000 / 500,000 = 6,000円
Xの賃貸料	= 契約賃貸料 - (「X」以外の資産の賃貸料の合計)
	= 15,000 - 4,500 - 6,000
	= 4,500円

契約上のすべての資産または選択した資産に1件当たりの賃貸料を配賦する

ここでは、契約賃貸料を計算し、契約賃貸料に関連付けられたすべての資産に1件当たりの賃貸料を配賦する手順を説明します。

実行手順

「すべての資産または選択した資産に契約賃貸料を配分する [修繕3]」の節に記載された手順を使用します。

次のフィールドの手順のみ異なります。

フィールドまたはリンク	値
賃貸料の比例配分 (seProrateRule)	<ul style="list-style-type: none"> すべての資産に1件当たりの賃貸料を配賦 選択した資産に1件当たりの賃貸料を配賦

なお、資産の [市場価格] フィールドは空のままにしておくこともできます ([取得] タブ、[調達] サブタブ)。

資産レベル、契約レベルの賃貸料を計算する

契約の詳細画面の [賃貸料] タブページには、賃貸料のリストと詳細が表示されます。

賃貸料の支払額は次のフィールドから計算されます。

表 5.5. 賃貸料 - 契約賃貸料の計算に使用されるフィールド

フィールドラベル	SQL名	使用法
1件当賃貸料	mUnitPayments	契約賃貸料に関連付けられた資産ごとの賃貸料の支払額を定義します。

次の計算が行われます。

- 契約賃貸料

$$\text{契約賃貸料} = \text{1件当りの賃貸料} \times \text{契約上の選択した資産数}$$

- 資産の賃貸料

$$\text{資産ごとの賃貸料} = \text{1件当りの賃貸料}$$

契約上の資産に賃貸料を配賦しない

ここでは、契約賃貸料を計算し、資産に配分しない場合の手順について説明します。

実行手順

AssetCenterで実行される自動計算が正しく機能するためには、次の手順に従ってください。

- 1 契約を作成します。契約賃貸料は作成しません。
- 2 資産の賃貸料を作成しないで、契約に資産を追加します（資産の詳細画面の [取得] タブ）。
各資産の [市場価格] (mMarketVal) フィールドに必要な情報を入力します（ [取得] タブ、 [調達] サブタブ）。
- 3 契約賃貸料を作成します（契約の [賃貸料] タブ）。
特に次のフィールドとリンクに必要な情報を入力してください。

フィールドまたはリンク	値
賃貸料の比例配分 (seProrateRule)	資産に賃貸料を配分または配賦しない
主賃貸料 (bMainRent)	主賃貸料ではこのオプションを選択します。

契約賃貸料を計算する

契約の詳細画面の [賃貸料] タブページには、賃貸料のリストと詳細が表示されます。

賃貸料の支払額は次のフィールドから計算されます。

表 5.6. 賃貸料 - 契約賃貸料の計算に使用されるフィールド

フィールドラベル	SQL名	使用法
市場価格	mValue	このフィールドの値は、賃貸料に関連付けられた資産の [市場価格] (mMarketVal) フィールドの合計になります。 警告: この値は、賃貸料の詳細を定義する前に契約に資産を追加した場合にのみ、正しく計算されます。
料率	pLRF	契約条件に対応する値を手動で入力します。
賃貸額	mPayments	賃貸料の支払額は、 [料率] フィールド (pLRF) の値を賃貸料の [市場価格] フィールド (mValue) に適用することで計算されます。

資産の賃貸料を計算する

[賃貸料の比例配分] (seProrateRule) フィールドで [資産に賃貸料を配分または配賦しない] オプションを選択すると、資産賃貸料は作成されません。

賃貸料を配賦する

定期的な賃貸料の経費の配賦方法を定義するには

- 1 契約の詳細画面を表示します。
- 2 [賃貸料] タブを表示します。
- 3 賃貸料の詳細画面を表示します。
- 4 [ファイナンス] サブタブページを表示します。
- 5 [コストカテゴリ] (CostCategory) および [コストセンタ] (CostCenter) フィールドに必要な情報を入力します。

 注意:

(リース明細の) 一時金の経費は資産のコストカテゴリとコストセンタに配賦されます。



6 | 手順4 - ローン の 定義

この章では、契約ローンの定義方法ならびに次の点について説明します。

- ローンを追加する
- ローン返済スケジュールを定義する
- ローン支払の配賦方法を選択する

主要な概念

ローンについては契約ごとに定義します。

契約にリンクするローンはローンテーブル (amLoan) に格納されます。

ローン返済明細はローン返済明細テーブル (amLoanPayment) に格納されます。

契約ごとにローンを追加する

契約ローンについては、契約の詳細画面の [ローン] タブに記述されます。マスターリースを除く契約はすべてローンによって支払うことができます。したがってこのタブは契約の内容が次の条件に一致する場合にのみ表示されます。

- [タイプ] フィールド (seType) が [マスターリース] 以外の別の値に設定されている。

- [支払属性]フィールド (sePayType) が [ローン] または [両方]。

[ローン] タブの表示方法を選択する

ローンは次の2つの方法で表示できます。

- 1 タブ形式
- 2 リスト形式

表示モードを切り替えるには、[ローン] タブ内 (タブのタイトル上ではない) を右クリックし、ショートカットメニューから [タブ形式で表示] または [リスト形式で表示] を選択します。

タブ形式で契約にローンを追加する

- 1 [ローン] タブを表示します。
- 2 [ローン] タブの左下にあるサブタブを右クリックします。
- 3 [リンクレコードの追加] を選択します。
- 4 新しいサブタブページに必要な情報を入力します。
- 5 [変更] をクリックします。

リスト形式で契約にローンを追加する

- 1 [ローン] タブを表示します。
- 2 [+] ボタンをクリックします。
- 3 ローンの詳細画面に必要な事項を入力します。
- 4 [追加] をクリックします。
- 5 [変更] をクリックします。


資産ごとにローンを追加する

ローンは契約にのみリンクされているため、資産の詳細画面からローンを直接作成することはできません。

ローン返済スケジュールの入力

ここでは、ローン返済スケジュールの作成方法について説明します。

ローンに支払明細を追加する

- 1 契約の詳細画面を表示します。
- 2 [ローン] タブを選択します。
- 3 ローンの詳細画面を表示します。
- 4 ローン返済スケジュールにエントリを追加するには、 ボタンをクリックします。
- 5 ローン返済スケジュールの詳細を入力します。
- 6 [追加] ボタンをクリックし、エントリを確定します。
- 7 [変更] をクリックして追加したローン返済明細を確定します。

外部プログラムからローン返済スケジュールをコピーする

ローン返済明細を1つずつ作成するのではなく、それらをどこかへコピーしてからリストに直接ペーストすることができます。

AssetCenterでローン返済スケジュールにコピーするデータは、そのテーブルと同じ構造でなければなりません。データをコピーすると、データの各行に対して支払明細が作成され、各行の全フィールドはそれぞれ返済スケジュールの対応する列に自動的に関連付けられます。

ローン返済スケジュールを記述するために使われるフィールド

表 6.1. ローン - ローン返済スケジュールを記述するために使われるフィールド

フィールドラベル	フィールドのSQL名	使用法
金額	mAmount	借入資本の全額を定義します。 このフィールドは、ローン返済スケジュールの残金の計算に使用します。
開始	dStart	ローン返済開始日。 このフィールドは参照専用です。
利率	pInterestRate	ローンの固定金利を定義します。 このフィールドは参照専用です。
変動為替	FloatingRate	ローンの変動金利を定義します。 このフィールドは参照専用です。
支払明細		
日付	dPayment	ローン返済明細の支払日 この日付はローン返済明細から生成された経費明細で使用されます。
元金	mPrincipal	返済する借入資本 このフィールドの値は、返済スケジュールの残金を算出するためにローンの [金額] フィールド (mAmount) から差し引かれます。 元金はローン返済明細の合計で使用されます。

フィールドラベル	フィールドのSQL名	使用法
利率	pInterestRate	利率は返済明細の支払日に適用されます。 このフィールドは参照専用です。
利子	mInterest	支払う利子の合計 この金額はローン返済明細の合計で使用されます。
手数料	mFees	支払う手数料の合計 この金額はローン返済明細の合計で使用されます。

例

まずローンの詳細画面で次の値を入力します。

フィールドラベル	フィールドのSQL名	値
金額	mAmount	300

そして、ローン返済明細の詳細画面に次の値を入力します。

フィールドラベル	フィールドのSQL名	値
日付	dPayment	2001/01/05
元金	mPrincipal	20
利子	mInterest	5
手数料	mFees	1

そうすると、ローン返済スケジュール（リスト形式）に次の行が表示されます。

列見出し	値
日付	2001/01/05
元金	20
残金	前の支払残金 - 元金 = 300 - 20 = 280
利子	5
手数料	1

列見出し	値
合計	元金 + 利子 + 手数料 $= 20 + 5 + 1$ $= 26$

ローンの配賦方法

ここでは、さまざまな配賦方法を紹介し、その適切な選択方法について説明します。

ローンの比例配分方法を選択する

手順

ローンの比例配分方法を選択するには：

- 1 契約の詳細画面を表示します。
- 2 [ローン] タブを選択します。
- 3 ローンの詳細画面を表示します。
- 4 ウィンドウの下の [賃貸料の比例配分] (seProrateRule) フィールドに必要な情報を入力します。

次の比例配分方法のいずれかを選択できます。

比例配分方法	計算方法
資産に賃貸料を配分または配賦しない	ローン返済明細ごとに1つの経費明細が作成されます。 これらの経費明細は (資産レベルではなく) 契約レベルのみで作成されます。 経費明細の金額はローン返済スケジュールの [合計] 列に表示される額に対応します。

比例配分方法	計算方法
すべての資産に賃貸料を比例配分して配賦	ローン返済明細ごとに、契約上の各資産用の経費明細が作成されます。 これらの経費明細は契約にリンクされ、対応する資産ごとに複製されます。 経費明細の金額は、資産の配賦後にローン返済スケジュールの [合計] 列に表示される額に対応します。
選択した資産に賃貸料を比例配分して配賦	ローン返済明細ごとに、あらかじめ選択しておいたローン対象の各資産用の経費明細が作成されます。 これらの経費明細は契約にリンクされ、対応する資産ごとに複製されます。 経費明細の金額は、資産の配賦後にローン返済スケジュールの [合計] 列に表示される額に対応します。
すべての資産に1件当りの賃貸料を配賦	この計算方法はローン管理には有効ではありません。
選択した資産に1件当りの賃貸料を配賦	この計算方法はローン管理には有効ではありません。

選択方法

支払を契約上のすべての資産に配賦するのはどのようなときか？

- すべての資産のローン返済スケジュールが同じで、そのスケジュールをすべての資産に適用する場合です。

選択した資産に支払を配賦するのはどのようなときか？

- 一部の資産のローン返済スケジュールが契約上のその他の資産と異なる場合です。
例：料率、スケジュール、手数料が資産ごとに異なる場合など。
- 契約レベルの支払を契約上の主資産と見なされる資産だけに配分し、その他の資産には配分しない場合。
このようにすると、モニタではなく、ハードドライブに支払を配賦することが可能になります。

賃貸料を資産に配分しないようにするのはどのようなときか？

- 契約上の資産リストがローン返済額に影響しない場合です。

契約期間中に資産を追加または削除しても、結果としてローンの返済額は変更されません。

- 時間とディスク容量を節約する場合。
- 資産の詳細を考慮せずに、契約内容を検討する場合。

契約上のすべての資産または選択した資産に ローン返済を配分する

ここでは、ローン返済を契約上のすべての資産または選択した資産に配分する方法について説明します。

実行手順

- 1 ローンを作成せずに、契約を作成します。
- 2 契約に資産を追加します。
各資産の [市場価格] (mMarketVal) フィールドに必要な情報を入力します ([取得] タブ、 [調達] サブタブ)。
- 3 契約の詳細画面の [全般] タブで、必要な返済タイプに応じて [支払属性] (sePayType) フィールドを [ローン] または [両方] に設定します。
[ローン] タブページが表示されます。
- 4 [ローン] タブページで、ローンを追加します。
- 5 [変更] をクリックします。サブタブページのテーブルにローンの支払額がリストされます。 [残金] 列には支払が残っている資本が示されます。

フィールドまたはリンク	値
貸料の比例配分 (seProrateRule)	<ul style="list-style-type: none"> ■ すべての資産に貸料を比例配分して配賦 ■ 選択した資産に貸料を比例配分して配賦

ウィンドウの下の [貸料の比例配分] フィールドに次の値を使用して必要な情報を入力します。

- 7 [選択した資産に貸料を比例配分して配賦] を選択すると、 [貸料の比例配分] フィールドに選択できる資産リストが表示されます。デフォルトでは、このリストは空です。

選択範囲に資産を追加するには、 [貸料の比例配分] フィールドの右下にある [+] ボタンをクリックします。続いて、契約上の資産のリストが表示されます。

このリストで、ローン返済を配賦する資産を選択します。

[選択] をクリックし、資産の選択を確定します。

資産を削除するには、リスト内でその資産を選択し、[-] ボタンをクリックします。

経費明細を生成する

ローン返済明細ごとに、ローンが適用される契約上の各資産に対する経費明細が作成されます。

これらの経費明細は次のタブページに表示されます。

詳細	タブ
契約	コスト
資産	コスト

ヒント:

経費明細は2度表示されますが、内容は同じです。
2度生成されることはありません。

経費明細の金額は次のフィールドで生成されます。

表 6.2. ローン - 経費明細の計算に使用されるフィールド

フィールドラベル	SQL名	経費明細レベルでの使用法
[ローン返済明細] (amLoanPayment) テーブル		
日付	dPayment	[日付] (dCreation) フィールドに必要な情報を入力します。
元金	mPrincipal	これらのフィールドの金額を合計すると、ローンが適用される全資産の合計支払額が算出されます。 この合計額は[合計]列のローン返済明細に表示されます。
利子	mInterest	
手数料	mFees	
ローン (amLoan) テーブル		
比例配分方法	ProrateField	このフィールドでは、ローンに関連付けられた複数の資産に対して、[合計]列の金額を比例配分するのに使用するフィールドを指定します。

フィールドラベル	SQL名	経費明細レベルでの使用法
四捨五入	fPrecision	このフィールドでは、ローンに関連付けられた複数の資産への配分後に取得した支払額を四捨五入する方法を指定します。

支払を資産に配分する参照フィールドを選択する

ローンに関連付けられた資産に対して支払を配分するための参照フィールドは、[比例配分方法] (ProrateField) フィールドで定義されます。

[比例配分方法] フィールドは次の値に設定することができます。

値	賃貸料を資産に比例配分するための参照として使用されるフィールドの場所 (資産の詳細画面)		
	タブ	サブタブ	この参照フィールドが表示されるために [取得方法] (seAcquMethod) フィールドがとるべき値 ([取得] タブ、 [調達] サブタブ)。
(同一)			
減価償却 (mDeprVal)	固定資産		購入
減価償却基準 (mDeprBasis)	固定資産		購入
賃貸料 (mPayments)	支払	全般	<ul style="list-style-type: none"> ■ 料率 ■ リース
転売価格 (mResalePrice)	全般		<ul style="list-style-type: none"> ■ 購入 ■ 料率 ■ リース
購入価格 (mPrice)	取得	価格と条件	購入
表記価格 (mListPrice)	取得	価格と条件	
税金 (mIntPayTax)	取得	価格と条件	<ul style="list-style-type: none"> ■ 料率 ■ リース
税金 (mTax)	取得	価格と条件	購入
市場価格 (mMarketVal)	取得	調達	
買取額 (mPurchOptVal)	取得	価格と条件	リース

値	賃貸料を資産に比例配分するための参照として使用されるフィールドの場所（資産の詳細画面）		
	タブ	サブタブ	この参照フィールドが表示されるために [取得方法] (seAcquMethod) フィールドがとるべき値（ [取得] タブ、 [調達] サブタブ）。
残存価額 （ mNetValue ）	固定資産		購入
初回金（ mIntPay ）	取得	価格と条件	<ul style="list-style-type: none"> ■ 料率 ■ リース

上記のすべての計算方法では、これらの参照フィールドの値は「比例配分値」と呼ばれます。

次の式は、 [比例配分方法] フィールドが（同一）と異なる場合に、経費明細の [借方]（ mDebit ）フィールド値の計算に使用されます。

$$\text{資産賃貸料} = \text{契約賃貸料} \times \frac{\text{資産1件の比例配分値}}{\text{契約上の資産の比例配分値}}$$

次の式は、 [比例配分方法] フィールドが（同一）に設定されている場合に、経費明細の [借方]（ mDebit ）フィールド値の計算に使用されます。

四捨五入

丸め誤差は、最初の賃貸資産に繰り越されます。AssetCenter Serverは、最初の資産を除く各資産の賃貸料を計算し、その結果派生した誤差を最初の資産の賃貸料に繰り越して、資産賃貸料の合計が契約賃貸料に等しくなるように調整します（どれを最初の資産と見なすかは、データベース管理システムとそのインデックスの設定方法によって決まります）。

四捨五入の値が「0」に設定されている場合は、各資産の賃貸料を浮動小数のデフォルトの精度で計算します。例えば、価格が「100」の契約賃貸料を3つの資産に分割する場合は、指定した四捨五入の値によって次のように各資産の賃貸料が算出されます。

- 四捨五入の値が0.01の場合
 - 1 33.34
 - 2 33.33
 - 3 33.33
- 四捨五入の値が0の場合
 - 1 33.33333333333333433
 - 2 33.3333333333333254

3 33.333333333333254

 注意:

四捨五入の値は、税金の値を配分する場合にも使われます。

計算例

ある企業が掛売りで3つの資産を購入すると仮定します。

- 2台のPC (XとY)、市場価格はそれぞれ\$1500
- 1台のPC (Z)、市場価格は\$2000
- ローン返済は市場価格によって比例配分されます。

次の値はローンの詳細画面に表示されます。

フィールドラベル	フィールドのSQL名	値
金額	mAmount	\$5000

最初のローン返済明細の詳細画面に次の値を入力したとします。

フィールドラベル	フィールドのSQL名	値
日付	dPayment	2005/01/05
元金	mPrincipal	200
利子	mInterest	50
手数料	mFees	10

次に、ローン返済スケジュールに次の明細が表示されます。

列見出し	値
日付	2005/01/05
元金	200
残金	前の支払残金 - 元金 = 5 000 - 200 = 4 800
利子	50
手数料	10

列見出し	値
合計	元金 + 利子 + 手数料 = 200 + 50 + 10 = 260

資産ごとの支払計算

Yの支払	= 支払合計 × 「Y」の比例配分値 / (「X、Y、Z」の比例配分値の合計) = 支払合計 × 「Y」の市場価格 / (「X、Y、Z」の比例配分値の合計) = 260 × 1500 / (1500 + 1500 + 2000) = \$78
Zの支払	= 260 × 2000 / 5000 = \$104
Xの支払	= 支払合計 - (「X」以外の資産の賃貸料の合計) = 260 - 78 - 104 = \$78

契約上のすべての資産または選択した資産にローン返済を配賦する

実行手順

この配賦方法はローン管理には有効ではありません。

資産に賃貸料を配分または配賦しない

実行手順

- 1 ローンを作成せずに、契約を作成します。
- 2 契約に資産を追加します。

- 各資産の [市場価格] (mMarketVal)フィールドに必要な情報を入力します ([取得] タブ、 [調達] サブタブ)。
- 3 契約の詳細画面の [全般] タブで、必要な返済タイプに応じて [支払属性] (sePayType) フィールドを [ローン] または [両方] に設定します。
[ローン] タブページが表示されます。
 - 4 [ローン] タブページで、ローンを追加して必要な情報を入力します。
 - 5 [変更] をクリックします。サブタブページのテーブルにローンの支払額がリストされます。 [残金] 列には支払が残っている資本が示されます。

フィールドまたはリンク	値
賃貸料の比例配分 (seProrateRule)	資産に賃貸料を配分または配賦しない

ウィンドウの下の [賃貸料の比例配分] (seProrateRule) フィールドに次の値を入力します。

経費明細を生成する

- ローン返済明細ごとに、経費明細が作成されます。
これらの経費明細は契約の [コスト] タブページに表示されます。
経費明細の金額は次のフィールドで生成されます。

表 6.3. ローン - 経費明細の計算に使用されるフィールド

フィールドラベル	SQL名	経費明細レベルでの使用法
[ローン返済明細] (amLoanPayment) テーブル		
日付	dPayment	[日付] (dCreation) フィールドに必要な情報を入力します。
元金	mPrincipal	これらのフィールドの金額を合計すると、合計支払額が算出されます。 この合計額は [合計] 列のローン返済明細に表示されます。
利子	mInterest	
手数料	mFees	

賃貸料を配賦する

- ローン経費の配賦方法を定義するには
- 1 契約の詳細画面を表示します。

- 2 [ローン]タブを選択します。
- 3 賃貸料の詳細画面を表示します。
- 4 [コストカテゴリ] (CostCategory) および [コストセンタ] (CostCenter) フィールドに必要な情報を入力します。

7 | 手順5 - 資産の受領を承認する

重要項目:

この章は、[タイプ] (seType) フィールドが [リース明細] に設定されている契約のみを対象としています。

ここでは、資産の受領を承認し、一時金を計算する手順について説明します。

主要な概念

借主は、資産を受領すると一定の時間をかけて資産を評価し、正しく機能することを確認します。その結果資産が承認されると、リースと賃貸料の支払が実際に開始されます。

承認は、リース手続きの中できわめて重要な処理手続きであり、借主と貸主との間で契約書類が交換されます。借主は貸主に受領証書を送付し、資産の承認を表明します。

資産の受領を承認する

資産の受領を承認するには、次の手順に従います。

- 1 契約のリストを表示します（ [契約 / リース明細] メニュー ）。
- 2 契約を選択します。
- 3 契約の詳細画面の [受領承認] をクリックします。そのリース契約に含まれている資産が一覧表示されます。
- 4 受領を承認する資産を選択します。
- 5 受領承認ウィンドウの [受領承認日] 枠に必要な情報を入力します。手順5 - 資産の受領を承認する [修献9]
- 6 受領承認ウィンドウの [一時金の計算] 枠に必要な情報を入力します。手順5 - 資産の受領を承認する [修献9]
- 7 選択した資産を確定します（ [適用] ボタン ）。
- 8 ウィンドウを閉じます（ [閉じる] ボタン ）。

[受領承認日] 枠の入力方法

表 7.1. [受領承認日と一時金] ウィンドウ

フィールド	割り当てる値	資産の詳細画面に影響するフィールド
取得状況	受領承認済	取得状況 (seAcquStatus)
開始日	契約の開始日が表示されます。	
受領承認日	資産を受領承認した日	受領日 (dAccept)

フィールド	割り当てる値	資産の詳細画面に影響するフィールド
シリアル番号	資産を個別に承認する場合、このフィールドに資産のシリアル番号を入力してください。 ヒント: この情報は貸主にとって貴重です。借主に送られる受領証明書には受領した資産、その受領予定日、シリアル番号がまとめて記載されます。	シリアルNo. (SerialNo)

[一時金の計算] 枠の入力方法

資産の受領を承認すると、支払が開始されます。同時に、借主は貸主に一時金を支払う必要があります。

一時金は、資産の受領承認日から賃貸契約期間の最初の賃貸料支払日までの賃貸料を対象とします。

警告:

AssetCenterでは、契約の主賃貸料に付属する一時金だけを計算します。

AssetCenterでは、契約の詳細画面の [賃貸料] タブページの主賃貸料サブタブページの [賃貸料の比例配分] (seProrateRule) フィールドで選択できる次のオプションに応じて一時金を計算します。

- [すべての資産に賃貸料を比例配分して配賦]
- [選択した資産に賃貸料を比例配分して配賦]
- [資産に賃貸料を配分または配賦しない]
- [すべての資産に1件当りの賃貸料を配賦]
- [選択した資産に1件当りの賃貸料を配賦]

[すべての資産に賃貸料を比例配分して配賦] オプション


AssetCenterは、次の手順で一時金を資産に配分します。

- 1 まず、 [受領承認日と一時金] の画面で選択したすべての資産の一時金を計算します。これは、選択した資産の賃貸料の総額と [受領承認日と一時金]

で定義した一時金の計算タイプに基づいて計算します。契約上のすべての資産を選択する必要はありません。

- 2 この一時金を、選択した各資産に配分します。これは、資産の詳細画面の [支払] (mPayments) フィールドと [回数] (sePeriodicity) フィールド ([取得] タブページの主賃貸料サブタブページ) に基づいて計算されます。各資産の一時金は、 [価格と条件] タブページの [初回金] (mIntPay) フィールドに入力されます。
- 3 契約の全一時金を再計算します。この金額は、契約上の全資産の一時金の合計に等しくなります。契約の一時金の総額は、契約の詳細画面の [全般] タブページの [初回金] (mIntPay) フィールドに表示されます。

すべての資産の一時金を計算する場合は、以下の手順に従います。

- 1 一時金の [計算のタイプ] を選択し、選択した方法に応じて [最小日数]、 [最大日数]、 [パーセント] の各フィールドに値を入力します。 [固定] を選択した場合は、 [一時金の合計] フィールドに直接金額を入力します。
- 2  をクリックすると、すべての資産の一時金の総額が表示されます。
- 3 次に、一時金の合計をすべての資産にどのように配分するかを指定します。
 - 1 [比例配分方法] フィールドでは、一時金を各資産に配分する方法を指定します。
 - 2 [四捨五入] フィールドでは、一時金を四捨五入する場合の桁数を指定します。
- 4 [適用] ボタンをクリックし、資産ごとの一時金と契約上の一時金の計算結果を保存します。結果は次のようになります。
 - 1 契約の詳細画面の [全般] タブページにある [初回金] (mIntPay) フィールドが再計算され、契約上の一時金の総額が更新されます。
 - 2 各資産の詳細画面の [取得] タブページにある [価格と条件] サブタブページの [初回金] (mIntPay) フィールドに、資産の一時金が表示されます。この一時金は、 [比例配分方法] フィールドと [四捨五入] フィールドで指定した規則によって、契約賃貸料の総額を資産に配分したものです。
 - 3 各資産の詳細画面の [コスト] タブページに、一時金の経費明細が表示されます。

[選択した資産に賃貸料を比例配分して配賦] オプション

受領を承認した複数の資産の一時金を計算する手順は、主賃貸料をすべての資産に比例配分する前述の方法と同様です。ただし、次の条件が異なります。

- 選択した資産それぞれにつき、受領承認時に一時金が計算されます。選択していない資産の一時金はゼロです。
- 契約上の一時金の総額は、選択した資産の一時金の合計に等しくなります。この金額は、契約の詳細画面の [全般] タブページの [初回金] (mIntPay) フィールドに表示されます。

[資産に賃貸料を配分または配賦しない] オプション

資産ごとの一時金はありません。

契約上の一時金の総額は、契約の詳細画面の [全般] タブページの [初回金] (mlntPay) フィールドに借主が直接入力します。

この場合は、[適用] ボタンを押しても、一時金は計算されません。契約上の資産の受領承認にのみ使用されます。

契約の一時金の経費明細は、契約の詳細画面の [コスト] タブページに表示されます。

一時金の計算タイプ

注意:

一時金の計算タイプは、契約の主賃貸料をすべての資産または選択した資産に配分する場合（契約の詳細画面の [賃貸料] タブページの主賃貸料サブタブページにある [賃貸料の比例配分] (seProrateRule) フィールドで指定）にのみ使われます。

AssetCenterでは、選択した複数の資産の一時金を次の3つの方法で計算できます。

- 資産受領の承認日に基づいて計算
- 選択した資産の賃貸料に対する比率（パーセント）で計算
- 固定値（直接金額を入力）

契約の詳細画面の [リース] タブページ、および [受領承認日と一時金] 画面に、一時金の計算タイプが表示されます。

次の節では、選択した複数の資産の一時金を計算する方法について詳しく説明します。

[受領承認日] による計算

一時金は、資産の受領を承認した日から計算されます。つまり、一時金の期間に比例配分されます。AssetCenterでは、1ヶ月は30日と見なします。

計算パラメータは、[受領承認日と一時金] 画面で指定します。

- 計算の基準値は [賃貸料の合計] フィールドに指定します。これは、選択した資産の定期的に支払う賃貸料の総額です。ただし、選択した資産に契約賃貸料を配分する場合（契約の詳細画面の [賃貸料] タブページの [賃貸料の比例配分] (seProrateRule) フィールドで指定）は、選択しない資産の定期的な賃貸料はゼロになります。
- 計算に使う日数は、AssetCenterで自動的に決定されます。
 - 日数
受領承認日から賃貸期間の最初の賃貸料支払日までの日数（AssetCenterで自動的に計算されます。）

- 最小日数
一時金の計算に使う最小の日数
- 最大日数
一時金の計算に使う最大の日数

受領承認日による一時金の計算例

リース契約は2004年7月1日に始まります。月1回の賃貸料（月額30000円）を月初めに支払います。これは、契約上のすべての資産に配分されます。借主は、2004年6月17日に契約上の資産を2件を受領し、受領を承認しました。これらの資産の賃貸料は、それぞれ月額8000円（資産A）と4000円（資産B）です。

- これらの2件の資産の一時金は、6月17日から6月30日まで（初日と最終日を含む）の14日間です。したがって、一時金は $14/30 * (8000 + 4000) = ¥5600$ と計算されます。

これで、契約上の一時金の総額（契約の詳細画面の [全般] タブページの [初回金]（mIntPay）フィールドに表示される金額）が、5600円増えます。

- 受領を承認した2件の資産の一時金は、それぞれの資産の詳細画面の [取得] タブページの [価格と条件] サブタブページの [初回金] フィールドに表示されます。

2件の資産の一時金は、契約上の一時金総額を月額の賃貸料に比例配分し、小数点以下第二位を四捨五入して計算するものとします。

Aの一時金： $5600 * 8000 / (8000 + 4000) = ¥3733.3$

Bの一時金： $5600 * 4000 / (8000 + 4000) = ¥1866.7$

[最小日数] と [最大日数] フィールドを使う一時金の計算例

リース契約は2004年7月1日に始まります。すべての資産に配分された賃貸料は、月初めに支払う必要があります。一時金は承認日に応じて計算されます。[最小日数] は3日、[最大日数] は25日です。

- 契約上の資産がすべて2004年6月29日に受領された場合、一時金は実際に期間が2日しかなくても、3日分が計算されます。
- 契約上のすべての資産を2004年7月2日に受領し、承認する場合は、承認日から賃貸期間の初日（2004年7月1日）までの日数が25日を超えています。結果として、一時金は（一時金の計算に使う最大日数の）25日間についてのみ計算されます。
- 契約上の資産を契約初日（2004年7月1日）に受領し、承認する場合は、請求期間が賃貸期間になるため、これらの資産について計算する一時金はありません。[最小日数] は0日、[最大日数] は31日です。

賃貸料比（パーセント）による計算

一時金は、次のように契約の [賃貸料の合計] フィールドに指定した金額に対する比率で計算します。

- 比率は、この計算方法を選択した場合に表示される [パーセント] フィールドで指定します。デフォルトでは、[受領承認日と一時金] ウィンドウの [リース] タブで定義する比率に等しくなります。
 - [賃貸料の合計] は、選択した資産の定期的に支払う賃貸料の合計です。ただし、契約賃貸料を選択した資産に配分する場合（契約の詳細画面の [賃貸料] タブページの [賃貸料の比例配分] （seProrateRule）フィールドで指定）は、選択しない資産の定期的な賃貸料はゼロになります。
- 一時金は、この方法では資産の受領承認日には無関係です。

例

リース契約は2004年7月1日に始まります。月1回の賃貸料（月額30000円）を月初めに支払います。契約の詳細画面の [リース] タブページで定義した一時金の賃貸料比は、30%です。賃貸料はすべての資産に配分され、契約上のすべての資産を2004年6月中に受領し、承認します。

- 契約の一時金は2004年6月1日から6月30日までの期間を対象とします。
一時金は、 $30000 * 30\% = ¥9000$ となります。
- 資産ごとの一時金は、選択した方法で一時金を比例配分して計算します。

固定値による計算

一時金は入力した金額そのものになります。[受領承認日と一時金] ウィンドウの [一時金の合計] フィールドに直接金額を入力してください。

8 | 手順6 - 経費明細を生成する

この章では、賃貸料とローン返済経費明細の生成と再計算方法について説明します。

主要な概念

次のように、契約に関連するすべてのコストについて、経費明細が作成されます。

- 定期的な賃貸料
- 初回金（リース契約の場合は一時金）
- ローン返済

賃貸料に対応する経費明細は、次の2つの方法で生成されます。

- 一時金の経費明細は資産が受領されるとAssetCenterによって作成されます。
- 定期的な賃貸料の経費明細は、AssetCenter Serverによって作成されます。

ローン返済に対応する経費明細は、AssetCenterによって生成されます。

このため、AssetCenter Serverをサーバにインストールして設定し、起動しておく必要があります。

AssetCenter Serverを設定するには

- 1 AssetCenter Serverを起動します。
- 2 データベースに接続します（[ファイル/データベースへの接続]メニュー）。
- 3 [ツール/モジュールの設定]メニューを選択します。
- 4 [賃貸料とローンの計算]（Rent）モジュールを選択します。
- 5 マニュアル『管理』の「AssetCenter Server」の章の「賃貸料とローンの計算モジュール（Rent）」セクションに記載された手順にしたがって、[賃貸料とローンの計算]モジュールのオプションに入力します。

バックグラウンドタスクとしてAssetCenter Serverを起動する。

- 1 AssetCenter Serverを起動します。
- 2 データベースに接続します（[ファイル/データベースへの接続]メニュー）。

定期的な賃貸料およびローン返済の経費明細の生成

AssetCenter Serverは接続されると、経費明細の作成が必要かどうかを定期的に検証します。必要な場合は経費明細を作成します。

重要項目:

賃貸料の経費明細を生成するかどうかは、[受領承認日]（bFromAcceptDate）チェックボックスに依存します。このボックスが選択されている場合は、賃貸料に関連付けられた経費明細は資産の承認受領日を基に生成されます。ボックスの選択が解除されると、経費明細は賃貸料の有効日を基に生成されます。

定期的な賃貸料に関連する経費明細のチェックと作成が終ると、AssetCenter Serverは最新の経費明細（過去または現在）の日付を[計算開始日]（dRecalcul）フィールドに入力します。

- 契約賃貸料を資産に配分する場合は、資産の詳細画面の[取得]タブページの[賃貸料]サブタブページにある[計算開始日]（dRecalcul）フィールドを変更します。
- 契約賃貸料を資産に配分しない場合は、契約の詳細画面の[賃貸料]タブページの[賃貸料]サブタブページにある[計算開始日]（dRecalcul）フィールドを変更します。

ただし、1つ1つの経費明細を作成するたびに再計算を行うわけではありません。

- 定期的な賃貸料に関連する経費明細の見積は、必ず再計算されます。
- 各賃貸料に固有の [計算開始日] (dRecalcul) フィールドは、定期的に支払う賃貸料の経費明細が最後に再計算された日付を表します。

借主は、 [計算開始日] (dRecalcul) フィールドを直接編集し、見積られた経費明細以外の再計算日を直接変更できます。これにより、税率が変更された場合などに不適切な経費明細を再計算することができます。

初回金の経費明細の作成

一時金は、リース契約特有の概念です。

各契約タイプには初回金があります。AssetCenterでは、契約の詳細画面の [全般] タブページにある [初回金] (mIntPay) フィールドで初回金を指定できます。リース明細の場合は、この初回金は一時金に相当します。

契約の詳細画面の [リース] タブページの [一時金] フィールドには、受領承認日、またはパーセントで計算するかなど、一時金の計算方法を指定します。

一般的な規則として、一時金の支払額は資産の受領承認日から計算します。

初回金にリンクする経費明細。リース契約の場合は次のように表示されます。

- 初回金は、一時金の支払に相当します。
- 契約上の各資産の経費明細 (資産の詳細画面の [取得] タブページ / [価格と条件] サブタブページ / [初回金] (mIntPay) フィールドの値) または契約上の一部の資産ごとの経費明細、または契約上のすべての資産に対して作成された1件の経費明細 (契約の詳細画面の [全般] タブページ / [初回金] フィールドの値) の場合があります。初めの2つの経費明細には、資産の詳細画面の [取得] タブページ上部で定義したコストセンタが割り当てられます。3番目の経費明細には、契約の [全般] タブページで定義したコストセンタが割り当てられます。

賃貸料にリンクする経費

経費明細を表示する

- 1 使用可能なアクセスメニューを使用して契約リストを表示します (▶ [メニューとタブページ \(契約 \) - 一覧 \[修献63 \]](#))。
- 2 契約の詳細画面を表示します。
- 3 [コスト] タブページを開きます。

経費明細の生成に使用する規則

経費明細の発生元	各賃貸期間に対して： 比例配分方法	生成される経費明細	経費明細の配賦に使用されるコストセンタまたはコストカテゴリ	経費明細の配賦
定期的な賃貸料	すべての資産に賃貸料を比例配分して配賦	契約上の資産ごとの経費明細	資産の詳細画面、[賃貸料]タブ、[賃貸料]サブタブ、[ファイナンス]サブタブ	資産と契約
	すべての資産に1件当りの賃貸料を配賦			
	選択した資産に賃貸料を比例配分して配賦	選択した資産ごとの経費明細	資産の詳細画面、[賃貸料]タブ、[賃貸料]サブタブ、[ファイナンス]サブタブ	資産と契約
	選択した資産に1件当りの賃貸料を配賦			
	資産に賃貸料を配分または配賦しない	固有の経費明細	契約の詳細画面、[賃貸料]タブ、[賃貸料]サブタブ、[ファイナンス]サブタブ	契約

経費明細の発生元	各賃貸期間に対して： 比例配分方法	生成される経費明細	経費明細の配賦に使用されるコストセンタまたはコストカテゴリ	経費明細の配賦
一時金（リース契約の場合）	すべての資産に賃貸料を比例配分して配賦 すべての資産に1件当りの賃貸料を配賦	契約上の資産ごとの経費明細 金額の発生元： 資産の詳細画面、[取得]タブ、[価格と条件]サブタブ、[初回金]（mlntPay）フィールド	資産の詳細画面、[ポートフォリオ]タブ、[全般]サブタブ	資産と契約
	選択した資産に賃貸料を比例配分して配賦 選択した資産に1件当りの賃貸料を配賦	選択した資産ごとの経費明細 金額の発生元： 資産の詳細画面、[取得]タブ、[価格と条件]サブタブ、[初回金]（mlntPay）フィールド	資産の詳細画面、[ポートフォリオ]タブ、[全般]サブタブ	資産と契約
	資産に賃貸料を配分または配賦しない	この場合、一時金は作成されません。		

コストセンタまたはコストカテゴリを変更する

経費明細を配賦するために契約または資産レベルでコストセンタまたはカテゴリを変更する場合、変更後の新規コストセンタまたはコストカテゴリはすでに生成された経費明細には適用されません。

このことによる将来の経費明細への影響はなく、AssetCenter Serverは新規コストセンタとコストカテゴリを考慮に入れながら、経費明細を自動的に再計算します。

それとは反対に、AssetCenter Serverは、次の手順で明示的に指定する場合に、過去の経費明細のみを再計算します。

- 1 契約を表示します（ [契約 / 契約] メニュー）。
- 2 変更する契約の詳細画面を表示します。
- 3 [契約] タブ、 [賃貸料] サブタブを選択します。
- 4 [計算開始日]（ dRecalcul ）フィールドに新規コストセンタを適用する日付を入力します。

例：

2004年10月31日までに、賃貸料の経費明細はコストセンタC1に配賦されます。

2004年11月1日からは、一時金の経費明細はコストセンタC2に配賦されます。

資産の詳細画面の [契約] タブ、 [RRR] 賃貸料サブタブでは、 [コストセンタ]（ CostCenter ）フィールドを2004年12月24日にC2に変更しただけでした。

この日まで、2004年12月31日までの経費明細を生成しています。

AssetCenter Serverが2004年11月と12月の賃貸料の経費明細 RRRをコストセンタC2に配賦するには、単に [計算開始日]（ dRecalcul ）フィールドを2004年11月01日に設定するだけです。

ローンにリンクする経費

経費明細を表示する

- 1 使用可能なアクセスメニューを使用して契約リストを表示します（ ▶メニューとタブページ（ 契約 ） - 一覧 [倭献63] ）。
- 2 契約の詳細画面を表示します。
- 3 [コスト] タブページを開きます。

経費明細の生成に使用する規則

各支払の場合：			
比例配分方法	生成される経費明細	経費明細の配賦に使用されるコストセンタまたはコストカテゴリ	経費明細の配賦
すべての資産に賃貸料を比例配分して配賦	契約上の資産ごとの返済明細	資産の詳細画面、 [ポートフォリオ] タブ、[全般] サブタブ	
すべての資産に1件当りの賃貸料を配賦			
選択した資産に賃貸料を比例配分して配賦	選択した契約上の資産ごとの返済明細	資産の詳細画面、 [ポートフォリオ] タブ、[全般] サブタブ	
選択した資産に1件当りの賃貸料を配賦			
資産に賃貸料を配分または配賦しない	固有の返済明細	配賦なし	契約

コストセンタまたはコストカテゴリを変更する

経費明細を配賦するために契約または資産レベルでコストセンタまたはカテゴリを変更する場合、変更後の新規コストセンタまたはコストカテゴリはすでに生成された経費明細には適用されません。

実行手順：

- 1 経費明細を削除します。
- 2 契約ローン削除します。
- 3 契約ローンを再度作成します。
- 4 AssetCenter Serverで経費明細を生成します。

9 | 手順7 - 損失額の定義

重要項目:

この章は、[タイプ] (seType) フィールドが [リース明細] に設定されている契約のみを対象としています。

この章では、資産の紛失または破損の管理方法について説明します。

主要な概念

リース契約では、契約上の資産を紛失または破損した場合のために、次の情報を指定しておく必要があります。

契約の詳細画面の [リース] タブページで、次の方法で損失額の計算方法を指定します。

フィールドまたはリンク	詳細
規則 (LossValRule)	損失額規則を選択可能にします。
計算 (seLossValCalcMode)	損失額の計算を指定日またはすべての期間について行うかどうかを指定します。

計算方法を指定したら、計算ボタンをクリックすると計算を開始します。

損失額の計算規則を定義する

一般に、紛失または破損した資産の価値は契約に規定されています。

AssetCenterでは、損失額の計算規則を入力し、1件の資産または選択した複数の資産の損失額を参考値を使って見積ることができます。

これらの作業は、リース契約の詳細画面の [リース] タブページで行います。資産の詳細画面で直接資産の損失額を計算することはできません。

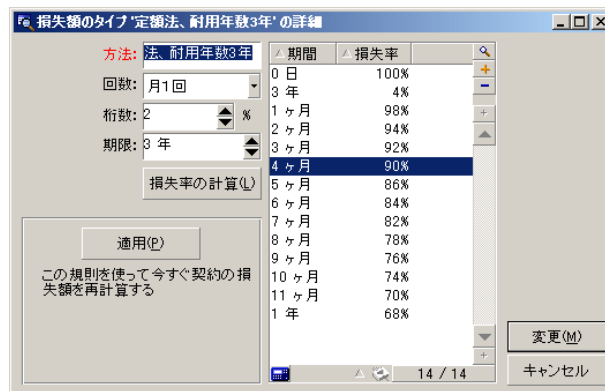
資産の損失額を計算する前に、計算規則を定義する必要があります。

計算規則を定義するには、次の手順に従います。

- 1 リース契約の詳細画面を表示し、 [リース] タブに移動します。
- 2 [規則] (LossValRule) フィールドに移動します。
- 3 このフィールドに新しい損失額の計算規則名を入力して別のフィールドに移動すると、損失額の計算規則が作成されます ([仮作成] と [詳細設定] のどちらかのオプションを選択できるダイアログボックスが表示されます。ここでは [詳細設定] を選択します)。

資産の損失額を評価するための計算規則例は以下のとおりです。

図 9.1. 損失額のタイプ - '定額法' の例



[回数] (sePeriodicity)

期間中に行う計算の回数 (頻度) を指定します。

[桁数] (fPrecision)

計算結果の桁数を指定します。

例：「0.1」と指定すると、計算された損失率が、小数点以下第1位まで表示されます。

[期限] (tsDuration)

損失額の計算規則の有効期間を、契約の開始日から数えた日数で指定します。

適用

損失額の計算規則を変更したときに、リンクしている契約にすぐにその変更結果を反映させたい場合は、このボタンを使います。

☞ ボタンと ☞ ボタン

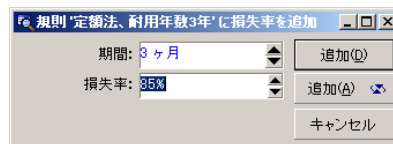
☞ または ☞ をクリックすると、損失率を追加または削除できます。

損失額を求める計算規則では、契約の開始以降の経過時間によって資産の参照値にかける損失率が決まります。

定額法で2つの期間の損失額間の損失率を計算する場合は、[損失率の計算] ボタンで自動的に計算できます。2値間の損失率を計算するには、次の操作を行います。

- 1 計算の [回数] と [桁数] を定義します。
- 2 計算する期間の最初と最後の損失率を入力します。
- 3 両方の損失率を選択します。
- 4 [損失率の計算] ボタンをクリックします。2つの期間の間の損失率が計算されます。

損失率の変化が直線的でない場合は、☞ ボタンをクリックして、直接それぞれの損失率を入力する必要があります。



この例では、リース期間の開始後3ヶ月間の損失額は、資産の参考値（計算基準値）の85%になります。

損失額を計算する

損失額の計算規則を選択すると、AssetCenterはこの損失額計算規則を使って損失額を計算します。損失額の計算には、次のいずれかの方法を使います。

- すべての期間について計算する
 - 指定した日付について計算する
- ☑ ボタンをクリックすると、計算が開始されます。



注意:

損失額の計算を始める前に、契約の詳細画面の [変更] をクリックし、選択した計算方法を確定してください。

[全期間で計算]

この方法を選択すると、AssetCenterは契約の開始日（ [全般] タブページ内）以降の規則の有効期間に属するすべての期間について損失額を計算します。計算したリース契約専用の損失額のテーブルが作成されます。

日付	損失率	値
2001/01/01	100%	40,000
2001/02/01	98%	39,200
2001/03/01	94%	37,600
2001/04/01	92%	36,800

日付: 2001/01/01
 損失率: 100%
 値: ¥40,000

[日付] (dLossVal) と [損失率] (pRate)

選択した明細の日付と損失率が表示されます。この2つの値は、選択した損失額の計算規則によって決まります。この情報は、契約の損失額のリスト内で更新または保存できます。

[市場価格] (mValue)

選択した明細の損失額が表示されます。1件の資産または複数の資産の合計額を入力できます。

[指定した日付で計算]

この方法を選択すると、AssetCenterはその契約に指定された計算規則を使って、特定の日付の時点における損失額を計算します。

計算基準

デフォルトでは、[資産総額] (mMarketVal) フィールド (契約の [リース] タブページ内) の値が入力されます。

1件の資産または複数の資産の合計額を入力できます。

契約の開始

損失額の計算規則の適用開始日を設定します。この日付は、デフォルトでは契約の開始日 ([全般] タブページ内) になります。この日付を変更すれば、例えば契約の開始後に追加した資産の損失額を計算できます。


[計算] ボタン

次の場合はこのボタンをクリックします。

- 計算基準値にかける損失率を表示する。この損失率は、選択した計算規則と資産の紛失日によって決まります。
- 計算基準値を基に損失額を計算する。

損失額を更新する

損失額の計算規則の詳細は、次の方法で変更できます。

- [管理 / 画面一覧] メニューを使って [損失額] のテーブル (amLossValLine) を表示します (このメニューにアクセスできるのは、AssetCenter管理者のみです)。
- 契約の詳細画面の [リース] タブページで、[規則] (SQL名: LossValRule) フィールドの右の  ボタンをクリックして、計算規則の編集画面を表示します。

この場合、この損失額を使うすべての契約を更新する必要があります。

損失額の変更直後の更新

変更した損失額の計算規則を使うすべての契約を更新するには、計算規則の詳細画面の [適用] ボタンをクリックします。

AssetCenter Serverによる更新

AssetCenter Serverは、計算方法が [全期間で計算] (リース契約の詳細画面の [リース] タブページの [計算] (seLossValCalcMode) フィールド) に設定されているリース契約の損失額を定期的に再計算します。このように、AssetCenter Serverがデータベースにアクセスした後に損失額の計算規則を変更すると、AssetCenter Serverによって損失額が更新されます。

損失額を再計算する頻度を定義する場合は、次の手順に従います。

- 1 AssetCenter Serverの [ツール / モジュールの設定] メニューを選択します。
- 2 [モジュール] タブページを開きます。
- 3 [規定の損失額の計算] オプションをオンにします。
- 4 ウィンドウの下部で頻度を指定します。
- 5 [OK] をクリックして設定を確定します。

10 | 手順8 - 終了日の管理

重要項目:

この章は、[タイプ] (seType) フィールドが [リース明細] に設定されている契約のみを対象としています。

この章では、さまざまな契約の終了日オプションについて説明します。

契約上の資産を更新する

期間満了時に、借主はすべてまたは一部の資産についてリースを延長できます。これを資産の更新と呼びます。

資産を更新するには、次の手順に従います。

- 1 契約の詳細画面で [更新] ボタンをクリックします。

警告:

このボタンは契約の詳細画面で、[オプション] タブの [更新] オプション (bRenOpt) が選択されている場合のみ使用できます。

続いて [資産の更新] ウィザードが起動します。

- 2 [更新する資産の選択] ページに必要な情報を入力します。
最初に表示されるウィンドウでは、更新する資産を選択できます。

[支払] 列

契約の詳細画面の [賃貸料] タブページの主賃貸料サブタブページにある [賃貸料の比例配分] (seProrateRule) オプションを選択すると、選択ウィンドウのこの列に各資産の主賃貸料が表示されます。オプションを選択しない場合は、賃貸料は表示されません。

資産を選択してから [次へ] をクリックします。

- 3 [更新する資産の選択] ページに必要な情報を入力します。
2番目に表示されるウィンドウでは、前の手順で選択したすべての資産について更新する契約の賃貸料を選択できます。
賃貸料を選択してから、[次へ] をクリックします。
- 4 [新規賃貸料] ページに必要な情報を入力します。
3番目に表示されるウィンドウでは、更新する各賃貸料の適用条件を指定できます。各賃貸料を選択し、以下のフィールドに入力します。

詳細

新しい賃貸料の名前を入力します。

新しい賃貸料を作成すると、契約の詳細画面の [賃貸料] タブページに、作成した賃貸料に対応する賃貸料サブタブページが作成されます。

開始

新しい賃貸料の開始日は、デフォルトでは更新する前の賃貸期間の終了日に1日加えた日付 (翌日) になります。

終了

新しい賃貸料の終了日は、デフォルトでは、前の賃貸期間の終了日 (契約の終了日) に契約の詳細画面の [オプション] タブページの [更新] サブタブページにある [更新期限] (tsDefRenDur) フィールドで指定した期間を加算した日付になります。

支払

新しいリース賃貸料は、デフォルトでは契約の詳細画面の [オプション] タブページの [更新] サブタブページにある [デフォルトの更新条件] 枠に指定されている情報を使って計算されます。

新しい賃貸料を定義したら、[次へ] をクリックして処理を続行します。

- 5 [資産の更新] ページに必要な情報を入力します。
- 6 最後のウィンドウで [更新] ボタンをクリックして更新を確定します。
最後のウィンドウでは、選択した資産の更新期間を定義します。
デフォルトでは次のようになります。
 - 資産の更新日は、新しい賃貸料の最初の支払の初日になります。

- 更新した資産の終了日は、新しい賃貸料の最後の支払の最終日になります。

資産の更新の結果

最後の定義ウィンドウで [更新] ボタンをクリックします。更新結果は次のようになります。

- AssetCenterは、既存の契約の [賃貸料] タブページにユーザが入力した新しい賃貸料の情報を使ってサブタブページを作成します。これらの新しい賃貸料は、前のリース賃貸料と同様に計算され、管理されます。
- 作成された賃貸料のサブタブページは、資産の詳細画面の [取得] タブページに表示されます。

資産を返却する

ここでは、満了時に資産を返却する手順について説明します。

契約の詳細画面の [返却] ボタンをクリックすると、リース明細に関連する返却が作成されます。



警告:

このボタンは契約の詳細画面で、[オプション] タブの [返却] オプション (bRetOpt) が選択されている場合のみ使用できます。

返却は、[契約 / 返却 - 期間満了] メニューを使って管理することもできます。このメニューを選択すると、特定の契約だけでなくすべての契約の返却のリストを表示できます。これに対し、[返却] ボタンは、作業中の契約に関連する返却のみを表示します。



1件の返却に、同じ契約に含まれる資産が複数リンクする場合があります。

返却を契約に関連付ける

返却の詳細画面の [全般] タブページの [ファイナンス契約] (Schedule) フィールドで、返却をリンクする契約を指定します。

返却する資産のリスト

返却する資産の一覧を、返却の詳細画面の [資産] タブページで見ることができます。

- 1  をクリックすると、返却の詳細画面の [全般] タブページで指定したリース明細にリンクしている資産のリストから資産を選択できます。
- 2  をクリックすると、資産をリストから削除できます。

輸送に関する情報は、返却の詳細画面の [輸送] タブにあります。

資産が返却に入れられると、そのステータスが自動的に変更されます。資産の詳細画面の [取得] タブページの [調達] サブタブページにある [取得状況] (seAcquStatus) フィールドが [返却予定] に変わります。

返却する資産のリストに資産を加えても、資産のテーブルや契約上の資産のリスト (契約の詳細画面の [資産] タブページに表示) からは削除されません。

資産を除却する

返却に入っている資産は、自動的に除却されるわけではありません。

Pour effectivement sortir du parc des biens inclus dans une fiche de retour :

- 1 返却の [全般] タブページの [実行日] (dCarriedOut) フィールドに日付を指定します。
- 2 返却の詳細画面の [資産] タブページで除却する資産を選択します。
- 3 [除却] をクリックします。

タブ	フィールド	新しい値
[取得]	取得状況 (seAcquStatus)	[返却済]
[ポートフォリオ]、 [全般] サブタブ	割当 (seAssignment)	[返却済]
[全般]	日付 (sDispos)	返却の実行日の値
[全般]	理由 (DisposReason)	[返却] ([返却名])

各資産のフィールドは次のように変更されます。

資産を買い取る

資産を買い取る場合は、以下の手順に従います。

1 契約の詳細画面の [購入] ボタンをクリックします。このボタンは、契約の詳細画面の [オプション] タブページで [購入] (bPurchOpt) オプションが選択されている場合にのみ有効です。

2 買い取る資産を選択します。

AssetCenterは、選択した資産について次の金額を計算します。

- 主賃貸料 ([取得] タブページ) の各サブタブページに表示される [支払] (mPayments) フィールドの合計額
- 選択した資産の [取得] タブページの [調達] サブタブページにある [市場価格] (mMarketVal) フィールドの合計額

次のように、特定の購入条件は自動的に入力されます。

- 購入価格は、選択した資産の [取得] タブページの [価格と条件] サブタブページにある [買取額] (mPurchOptVal) フィールドの合計になります。
- 購入日は、デフォルトではリース期間の満了日になります。

必要に応じて、購入価格を手動で入力し、購入日を変更します。 [比例配分方法] フィールドでは、購入価格を選択した資産に配分する方法を指定します。

注意:

[賃貸料の合計]、[市場価格の合計]、および [購入見積値] のフィールドの値は、[購入価格] を決定するときの参考用です。

次に、[適用] をクリックして、内容を確定します。

買い取りを確定すると、選択した資産の次のフィールドが自動的に変更されます。

タブ	フィールド	新しい値
[取得]	取得方法 (seAcquMethod)	購入
[取得]、[価格と条件] サブタブ	取得日 (dAcquisition)	購入日の値
[取得]、[価格と条件] サブタブ	購入価格 (mPrice)	値は購入オプション画面で定義されたパラメータを基に計算されます。

資産の詳細画面の [コスト] タブページに経費明細が作成されます。

その他の場合

- ▶ 資産と契約とのリンクを削除する [儻馱4]

11 | 日常のASP契約の管理

この章では、アプリケーションサービス契約の管理方法について説明します。

必要条件

- 1 AssetCenter Serverを起動します（Windowsの [スタート] メニュー）。
- 2 データベースに接続します（ [ファイル/データベースへの接続] メニュー）。
- 3 [実行グループ'BST_ASP'にワークフロー規則を適用] モジュールを設定します（ [ツール/モジュールの設定] メニュー）。
- 4 モジュールを有効にします（ [有効] オプションを選択）。
- 5 モジュールをトリガする頻度を設定します。

注意:

あらかじめ設定された頻度に応じてワークフローはトリガされます。手動で変更の有無を確認したい場合は、AssetCenter Serverのメインウィンドウの [起動] アイコンをクリックして確認を行うことができます。

ヒント:

AssetCenter Serverの検証スケジュールの詳細に関しては、マニュアル『管理』の「AssetCenter サーバ」の章を参照してください。

ASPワークフローを使用するためには、AssetCenter Serverを設定し、実行する必要があります。

ASP管理Webページに接続する

ここでは、アプリケーションサービスの管理者が、ユーザアカウントの管理（アカウントの作成や変更、権限、プロフィールの変更等）などを行うためにASPインターネットサイトの管理ページにすばやく接続する方法について説明します。

ヒント:

注：ASP管理ページは、[管理URL]（ASPUserRegURL）で指定します（契約の[全般]タブ）。

ASPインターネットサイトに管理者として接続するには：

契約のリストから行う：

- 1 契約を表示します（[契約/アプリケーションサービス]メニュー）。
- 2 契約ローンを右クリックします。
- 3 [アプリケーションサービスの管理]アクションをトリガします（[アクション]ショートカットメニュー）。

契約に含まれるユーザリストから行う：

- 1 契約を表示します（[契約/アプリケーションサービス]メニュー）。
- 2 契約を選択します。
- 3 [従業員]タブを選択します。
- 4 [従業員]タブの内側を右クリックします。
- 5 [アプリケーションサービスの管理]アクションをトリガします（[アクション]ショートカットメニュー）。

お使いのWebブラウザにASP管理アクセスページが表示されます。

ASP Webサイトに接続する

ここでは、ASPインターネットサイトにすばやく接続する方法について説明します。

 ヒント:

注：一般的なASPのアドレスは、[アプリケーションURL]（ASPConnectionURL）フィールドで指定します（契約の[全般]タブ）。

ASPインターネットサイトにユーザとして接続するには：

- 1 契約を表示します（[契約/アプリケーションサービス]メニュー）。
- 2 契約を選択します。
- 3 [従業員]タブを選択します。
- 4 [従業員]タブの内側を右クリックします。
- 5 [アプリケーションサービスに接続]アクションをトリガします（[アクション]ショートカットメニュー）。

お使いのWebブラウザにASPアクセスページが表示されます。

テクニカルサポートに電子メールを送信

ここでは、テクニカルサポートに電子メールを送信する方法について説明します。

 ヒント:

注：一般的なASPのアドレスは、[テクニカルサポート]（ASPEMail）フィールドで指定します（契約の[全般]タブ）。

サポートに電子メールを送信するには：

- 1 契約を表示します（[契約/アプリケーションサービス]メニュー）。
- 2 契約ローンを右クリックします。
- 3 [テクニカルサポートに電子メールを送信]アクションをトリガします（[アクション]ショートカットメニュー）。

テクニカルサポートのアドレスが入った新規メッセージがメッセージシステムに表示されます。

ユーザアカウントを管理する

必要条件

ASPユーザアカウントを管理するには、AssetCenter Serverをインストールして設定し、実行しておく必要があります。

AssetCenter Serverの設定

- 1 AssetCenter Serverを起動します。
- 2 データベースに接続します（[ファイル/データベースへの接続]メニュー）。
- 3 [ツール/モジュールの設定]メニューを選択します。
- 4 [実行グループBST_ASP'にワークフロー規則を適用]（WkGroupBST_ASP）モジュールを選択します。
- 5 マニュアル『管理』の「AssetCenter Server」の章の「賃貸料とローンの計算モジュール（Rent）」セクションに記載された手順にしたがって、[実行グループBST_ASP'にワークフロー規則を適用]モジュールのオプションに入力します。

バックグラウンドタスクとしてAssetCenter Serverを実行する

- 1 AssetCenter Serverを起動します。
- 2 データベースに接続します（[ファイル/データベースへの接続]メニュー）。

ASP契約の主な情報が入力されていることを確認します。

ユーザアカウントの管理ワークフローを実行するには、ASP契約の次のフィールドに入力します。

フィールドまたはリンク

[全般] タブ

責任者 (Supervisor)

管理URL (ASPUserRegURL)

メッセージシステムが設定されていることを確認する

通知メッセージを目的のユーザに正しく届けるには、メッセージシステムを正しく設定し、ユーザ側でも必要な情報を入力しておく必要があります。

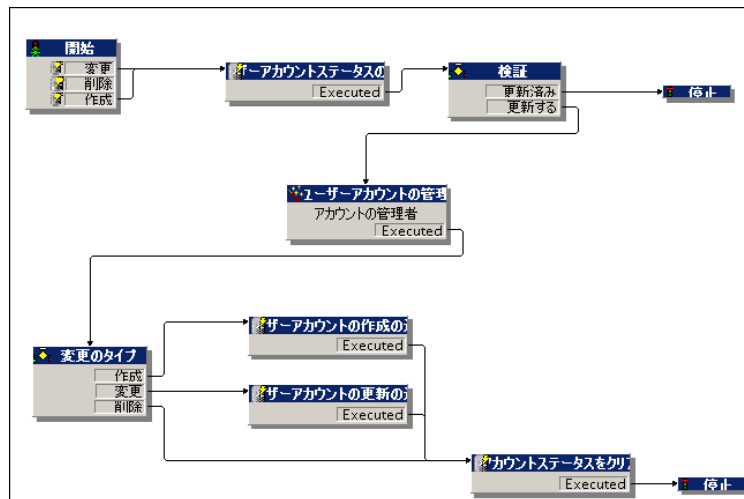
マニュアル『▶管理』の「メッセージシステム」の章

プロセス

グローバルプロセス

ユーザアカウントの管理ワークフローチャートの詳細画面では、プロセス全体を理論的に理解することができます。


図 11.1. ユーザアカウントの管理ワークフロー - 図



ユーザアカウントを作成する

ユーザアカウントを作成するには：

- 1 AssetCenterデータベースで契約に含めるユーザを作成します。
 - 1 契約を表示します（ [契約 / アプリケーションサービス] メニュー ）。
 - 2 契約の詳細画面を表示します。
 - 3 [従業員] タブを選択します。

- 4 契約ユーザを追加します ( ボタン)。
特に次のフィールドとリンクに必要な情報を入力してください。

フィールドまたはリンク

ユーザ (User)

ログイン (ASPLogin)

プロフィール (Profile)




注意:

ユーザの詳細画面の [ステータス] (seStatus) フィールドは、ASP管理者がユーザアカウントを登録するまで [未作成] に設定されています。

- 2 [実行グループ'BST_ASP'にワークフロー規則を適用] がAssetCenter Serverで実行されると、サーバは新規契約ユーザが作成されたことを認識し、契約の責任者に割り当てるワークフロータスクを作成します。
- 3 契約責任者はワークフロータスクを確認します ([ツール / 進行中のタスク] メニュー)。
次に、責任者はウィザードを起動し ([ウィザード] ボタン)、ウィザードからASPWebサイトの管理ページにアクセスします ([アプリケーションサービスの管理] ボタン)。
- 4 契約責任者はこのWebサイトでアカウントを作成します。
- 5 AssetCenterウィザードで、([アカウントが作成されました] チェックボックスをオンにして) 責任者はアカウントが作成されたことを指示し、ウィザードを終了します ([完了] ボタン、 [OK] ボタンの順に選択)。
- 6 AssetCenter Serverの [実行グループ'BST_ASP'にワークフロー規則を適用] モジュールは次回起動時にAssetCenterデータベースのユーザステータスを更新します。
ステータスを確認するには :
 - 1 契約を表示します ([契約 / アプリケーションサービス] メニュー)。
 - 2 契約の詳細画面を表示します。
 - 3 [従業員] タブを選択します。
 - 4 契約ユーザを選択します。
[ステータス] (seStatus) フィールドが [未作成] から [更新済] に変わっています。
- 7 このワークフローからは、契約責任者により作成が行われたことを知らせるメッセージもユーザに送信されます。

ユーザアカウントのログインまたはプロフィールを変更する

ユーザアカウントのログインまたはプロフィールを変更するには：

- 1 次の手順で、AssetCenterデータベースで契約ユーザの詳細画面を表示します。
 - 1 契約を表示します（ [契約 / アプリケーションサービス] メニュー ）。
 - 2 契約の詳細画面を表示します。
 - 3 [従業員] タブを選択します。
 - 4 契約ユーザの詳細画面を表示します（  ボタン ）。次のフィールドを変更します。

フィールドまたはリンク

ログイン (ASPLogin)

プロフィール (Profile)



注意:

ユーザの詳細画面の [ステータス] (seStatus) フィールドは、ASP管理者がASP Webサイトでユーザアカウントを更新するまで [未更新] に設定されています。

- 2 [実行グループ 'BST_ASP' にワークフロー規則を適用] が AssetCenter Server で実行されると、サーバは新規契約ユーザが変更されたことを認識し、契約責任者に割り当てるワークフロータスクを作成します。
- 3 契約責任者はワークフロータスクを確認します（ [ツール / 進行中のタスク] メニュー ）。
次に、責任者はウィザードを起動し（ [ウィザード] ボタン）、ウィザードからASP Webサイトの管理ページにアクセスします（ [アプリケーションサービスの管理] ボタン ）。
- 4 契約責任者はこのWebサイトでアカウントを作成します。
- 5 AssetCenterウィザードで、（ [アカウントが変更されました] チェックボックスをオンにして）責任者はアカウントが変更されたことを指示し、ウィザードを終了します（ [完了] ボタン、 [OK] ボタンの順に選択 ）。
- 6 AssetCenter Serverの [実行グループ 'BST_ASP' にワークフロー規則を適用] モジュールは次回実行時にAssetCenter データベースの契約ユーザのステータスを更新します。


ステータスを確認するには：

- 1 契約を表示します（ [契約 / アプリケーションサービス] メニュー ）。
- 2 契約の詳細画面を表示します。
- 3 [従業員] タブを選択します。

- 4 契約ユーザを選択します。
[ステータス] (seStatus) フィールドが [未更新] から [更新済] に変わります。
- 7 このワークフローからは、契約責任者により変更が行われたことを知らせるメッセージもユーザに送信されます。

ユーザアカウントを削除する

ユーザアカウントを削除するには：

- 1 AssetCenterデータベースで契約に含めるユーザを更新します。
 - 1 契約を表示します（ [契約 / アプリケーションサービス] メニュー ）。
 - 2 契約の詳細画面を表示します。
 - 3 [従業員] タブを選択します。
 - 4 ユーザの詳細画面を表示します（  ボタン ）。

次のフィールドに必要な情報を入力します。

フィールドまたはリンク	値
ログイン (ASPLogin)	空
ステータス (seStatus)	更新済

- 2 [実行グループ 'BST_ASP' にワークフロー規則を適用] が AssetCenter Server で実行されると、サーバは新規契約ユーザが作成されたことを認識し、契約責任者に割り当てるワークフロータスクを作成します。
- 3 契約責任者はワークフロータスクを確認します（ [ツール / 進行中のタスク] メニュー ）。
次に、責任者はウィザードを起動し（ [ウィザード] ボタン ）、ウィザードから ASPWeb サイトの管理ページにアクセスします（ [アプリケーションサービスの管理] ボタン ）。
- 4 この Web サイトで契約責任者はアカウントを削除します。
- 5 AssetCenter ウィザードで、（ [アカウントが削除されました] チェックボックスをオンにして ）責任者はアカウントが削除されたことを指示し、ウィザードを終了します（ [完了] ボタン、 [OK] ボタンの順に選択 ）。
- 6 AssetCenter Server の [実行グループ 'BST_ASP' にワークフロー規則を適用] モジュールは次回実行時に AssetCenter データベースの契約ユーザのステータスを更新します。
ステータスを確認するには：
 - 1 契約を表示します（ [契約 / アプリケーションサービス] メニュー ）。
 - 2 契約の詳細画面を表示します。
 - 3 [従業員] タブを選択します。
 - 4 契約ユーザを選択します。

[ステータス] (seStatus) フィールドが [未更新] から [更新済] に変わります。

- 7 このワークフローからは、契約責任者により削除が行われたことを知らせるメッセージもユーザに送信されます。
- 8 次の手順で契約ユーザを削除することができます。
 - 1 契約を表示します ([契約 / アプリケーションサービス] メニュー) 。
 - 2 契約の詳細画面を表示します。
 - 3 [従業員] タブを選択します。
 - 4 契約ユーザを削除します ([-] ボタン) 。



||| 実用例

パート

12 | 実用例

本章ではAssetCenterにおける契約の管理方法を4つの実用例を用いて説明します。

- メンテナンス契約
- 保険契約（証券）
- リース契約（agreements）
- ASP契約

アラームの作成方法を説明するための実用例も含まれます。

実用例に示すように空のデータベースに必要な情報を入力して、前述の操作を行ってください。

メンテナンス契約を管理する

実用例について

この事例では、Broca社とRodon社を用いています。

Broca社はRodon社とThompsonブランドコンピュータのメンテナンス契約を結びました。このコンピュータはCPUとモニタを装備しますが、CPUだけが契約の対象となっています。

この事例では、Broca社は自社のデータベースに対するメンテナンス契約を保有し、一方のRodon社は契約対象のコンピュータに対して2種類の明確な作業指示（CPUとモニタに対してそれぞれ1つずつ）を出しました。

この事例の手順は次のとおりです。

- 1 メーカー「Thompson」を作成します。
- 2 属性を作成します（CPUとモニタ）。
- 3 モデルを作成します。
- 4 会社「Rodon」を作成します。
- 5 メンテナンス契約を作成します。
- 6 ポートフォリオ品目を作成します。
- 7 CPUの作業指示を作成し、トラッキングします。
- 8 モニタに対する2番目の作業指示を作成し、トラッキングします。

AssetCenterを起動する

AssetCenterを起動するには、AssetCenterプログラムグループ内の該当するアイコンをダブルクリックします。

最初にAssetCenter管理者（Admin）として、デモ用データベースを開きます。パスワードは、ユーザが指定できるように空になっています。

手順1：メーカーを作成する

[ポートフォリオ / メーカー] メニューで、[新規] をクリックします。メーカー「Thompson」を作成し、次のテーブルで示すようにフィールドとリンクに必要な情報を入力します。

	レコード 1
名前 (Name)	Thompson

[作成] ボタンをクリックし、ウィンドウを閉じます。

手順2：属性を作成する

[ポートフォリオ / 属性] メニューで、[新規] をクリックします。次のテーブルで示すようにフィールドとリンクに必要な情報を入力して次々と属性を作成し、[作成] ボタンをクリックします。

レコード1	
名前 (Name)	PC1 - コンピュータ
作成 (seBasis)	ポートフォリオ品目
オーバーフローテーブル (seOverflowTbl)	コンピュータ (amComputer)
管理条件 (seMgtConstraint)	固有資産タグ

レコード2	
名前 (Name)	PC1 - モニタ
作成 (seBasis)	ポートフォリオ品目
管理条件 (seMgtConstraint)	固有資産タグ

手順3：モデルを作成する

[ポートフォリオ / モデル] メニューで、[新規] をクリックします。次のテーブルで示すようにフィールドとリンクに必要な情報を入力して次々とモデルを作成し、[作成] ボタンをクリックします。

レコード1	
名前 (Name)	PC1 - デスクトップ
メーカー (Brand)	Thompson
属性 (Nature)	PC1 - コンピュータ

レコード2	
名前 (Name)	PC1 - モニタ
メーカー (Brand)	Thompson
属性 (Nature)	PC1 - モニタ

手順4：会社を作成する

[ポートフォリオ / 会社] メニューで、[新規] をクリックします。会社「Rodon」を作成し、次のテーブルで示すようにフィールドとリンクに必要な情報を入力します。

レコード1	
名前 (Name)	Rodon

[作成] ボタンをクリックし、ウィンドウを閉じます。

手順5：メンテナンス契約を作成する

[契約 / 契約] メニューで、[新規] をクリックします。メンテナンス契約を作成し、次のテーブルで示すようにフィールドとリンクに必要な情報を入力します。

レコード 1	
参照番号 (Ref)	PC1 - メンテナンス契約
タイプ (seType)	メンテナンス
契約状況 (seStatus)	有効
有効期間 - 開始日 (dStart)	2003/01/01
有効期間 - 終了日 (dEnd)	2003/12/31

[作成] ボタンをクリックします。

手順6：ポートフォリオ品目を作成する

[ポートフォリオ / ポートフォリオ品目] メニューで、[新規] をクリックします。次のテーブルで示すようにフィールドとリンクに必要な情報を入力して2つのポートフォリオ品目を作成し、[作成] ボタンをクリックします。

レコード 1	
モデル (Model)	PC1 - デスクトップ
コード (Code)	PC1 - 001

レコード 2	
モデル (Model)	PC1 - モニタ
コード (Code)	PC1 - 002
親レコード (Parent)	1 Thompson PC1 - デスクトップ

手順7：最初の作業指示を作成してトラッキングする

- [ポートフォリオ / 作業指示] メニューで、[新規] をクリックします。次のテーブルに示すように、[全般] タブのフィールドとリンクに必要な情報を入力して、作業指示を作成します。

レコード 1

作業指示番号 (WONo)	PC1 - 001
資産 (Asset)	Thompson PC1 - デスクトップ
タイプ (seType) - デフォルトで表示	契約メンテナンス

[作成] ボタンをクリックします。

- 作業指示の詳細画面の [トラッキング] タブで、[契約] フィールドがデフォルトで「PC1-メンテナンス契約」になっていることを確認します。[メンテナンス業者No.] フィールドに参照番号「PC1-001」を入力して [変更] をクリックします。
- [契約 / 契約] メニューで、契約の詳細画面を表示します。[メンテナンス] 契約ではこの契約にリンクされている、作成しておいた作業指示「PC1-001」にアクセスできます。これには、資産の詳細画面の [メンテナンス] タブの [ポートフォリオ / 資産とロット] からアクセスできます。



警告:

作業指示とメンテナンス契約をリンクする自動プロセスが正しく機能するには、資産の詳細画面の[メンテナンス]契約リンクに必要な情報を入力しておく必要があります。

手順8：2番目の作業指示を作成しトラッキングする

- [ポートフォリオ / 作業指示] メニューで、[新規] をクリックします。次のテーブルに示すように、[全般] タブのフィールドとリンクに必要な情報を入力して、作業指示を作成します。

	レコード2
作業指示番号 (WONo)	PC1 - 002
資産 (Asset)	Thompson PC1 - モニタ
タイプ (seType) - デフォルトで表示	契約メンテナンス

[作成] ボタンをクリックします。

- 作業指示の詳細画面の [トラッキング] タブページにある [契約] フィールドには何も入力しないでください。
- メンテナンス契約対象のコンピュータにリンクされたモニタは契約対象には含まれないため、作業指示の詳細画面の [全般] タブにある [タイプ] フィールドで [契約外メンテナンス] を選択します。

メンテナンス契約の詳細については、AssetCenterのマニュアル『ポートフォリオ』を参照してください。

保険契約を管理する

保険タイプの契約には、関連する特定の管理規則はありません。AssetCenterにおける契約管理の概要については、このマニュアルに記載されたその他の実例を参照してください。

リース契約を管理する

実用例について

ここでは、Taltek Services社とInterleasing社の例について説明します。

上記の2つの企業間でリース契約が締結されています。Taltek Services社は借主、Interleasing社は貸主となります。このリースのマスターリースはありません。

Taltek Services社のリース契約責任者（西田啓介氏、管理上、財務上の管理者）は、AssetCenterを使ってIT機器を管理しています。

Interleasing社の連絡先は金田一郎氏です。

この事例では、Taltek Services社はInterleasing社から、2004年1月1日から2006年1月1日までPCをリースします。PCは、満了時に貸主に返却します。

この事例の手順は次のとおりです。

- 1 リース契約を作成する
- 2 リース契約に関連する資産を選択する
- 3 賃貸料を計算する
- 4 資産の受領を承認し、一時金を計算する
- 5 契約に関連する経費を表示する
- 6 満了時に資産を返却する
- 7 処理をトラッキングする

実用例使用の必要条件

リース管理では、AssetCenter Serverを用いて期限および賃貸料を計算します。

このため、サーバまたはコンピュータにAssetCenter Serverをインストールし、起動する必要があります。詳しくは、マニュアル『管理』を参照してください。

AssetCenterを起動する

AssetCenterを起動するには、AssetCenterプログラムグループ内の該当するアイコンをダブルクリックします。

AssetCenter管理者（Admin）として、デモ用データベースを開くことをお勧めします。パスワードは、ユーザが指定できるように空になっています。

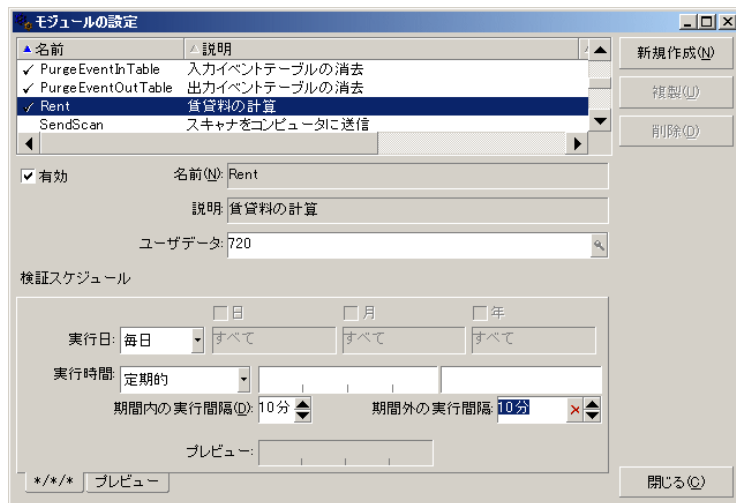
AssetCenter Serverを起動する

AssetCenter Serverを起動するには、AssetCenterプログラムグループ内の該当するアイコンをダブルクリックします。

[ファイル/データベースに接続]メニューで空のデータベースに接続します。接続が確立すると、AssetCenter Serverはデータベースをモニタし、在庫、アラーム、購入、履歴項目などを管理します。AssetCenter Serverは、リースの同意事項に関連する過去、現在、将来の賃貸料を計算します。

この例で使うリース契約に関連する賃貸料を計算するように、次の手順でAssetCenter Serverを設定します。

- 1 [オプション/モジュールの設定]メニューを選択します。
- 2 [Rent]オプションを選択し、以下のように値を入力します。



賃貸料は、向こう720日間について計算されます。

- 3 [変更]をクリックします。

手順1：リース契約を作成する

まず契約のテーブル内でリース契約を作成します。

- 1 [契約 / 契約] メニューを選択し、契約のリストを表示します。
- 2 [新規作成] をクリックします。
- 3 [タイプ] フィールドを [リース明細] に設定します。
- 4 [モデル] フィールドのドロップダウンリストで [サーバのファイナンス] を指定します。

モデルの作成については、マニュアル『ポートフォリオ』を参照してください。

- 5 [作成] をクリックして作成内容を確定します。

契約に関する一般的な情報を入力する

- 1 [参照番号] (Ref) フィールドおよび [全般] タブページに以下のように情報を入力します。

[全般] タブページには、契約が2年間であること、そしてTaltek Services社は借主として期間満了の3ヶ月前に貸主に通知しなければならないことを指定します。

通常、借主が貸主に事前に期間満了の通知をしない場合は、満了時にリース契約が同じ条件で自動的に更新されます。

この通知期限を忘れずに守れるようにする場合は、アラーム (🔔 アイコンで表示される) 機能を使うと便利です。期間満了前の日付でアラームを設定しておく、AssetCenterのモニタプログラムであるAssetCenter Serverが指定した日付にアラームをトリガして、期間満了が迫っていることを借主に知らせます。

- 2 🔔 をクリックすると、アラームの設定画面が表示されます。

- 3 [キャンセル]をクリックしてアラームの設定をキャンセルし、契約の詳細画面に戻ります。

リース条件を入力する

契約の詳細画面の [リース] タブページには、契約に関するファイナンスの条件の概要が表示されます（賃貸料に関連する情報は含まれていません）。

次のように、[リース] タブページに入力します。

[リース] タブページでは、サプライヤのテーブルから貸主の名前を選択して指定できます。

追加経費の負担会社と一時金の計算方法もこのタブページで設定します。一時金は、資産の受領日からリース期間の第1回目の支払日までの賃貸料です。

関連業者に関する情報を入力する

契約に関わる業者に関するある程度の情報（借主と貸主の連絡担当者）を指定する必要があります。

[連絡先] タブページに次のように入力します。

期間満了の情報を入力する

この事例では、契約上の資産は満了時に貸主に返却することになっているので、[オプション]タブページで契約内で選択できる満了時オプションを指定することが重要です。

[オプション]タブページを次のように変更して、満了時オプションを有効にします。

The screenshot shows a software window titled '契約001013 (サーバのファイナンス)の詳細' (Details of Lease 001013 (Server Finance)). The '目的' (Purpose) is 'サーバのファイナンス' (Server Finance). The 'タイプ' (Type) is 'リース明細' (Lease Statement) and the 'モデル' (Model) is 'サーバのファイナンス'. The 'リース' (Lease) tab is active, showing various options. Under '期間満了時の予定オプション' (Scheduled options at term), the '更新' (Update) option is selected. The '返却通知期間' (Return notice period) is set to '3ヶ月' (3 months) and the '返却通知日' (Return notice date) is '2003/10/01'. There are also fields for 'コメント' (Comments) and 'アップグレード' (Upgrade).

[オプション]タブページに示すように、通常、リースの同意事項は満了時に次の3通りに変更できます。

- 契約を更新します。
- 借主が契約上の資産を購入します。
- 契約上の資産を返却します。

Taltek Services社は、満了の3ヶ月前に貸主に通知を送り、満了時にリース資産を返却する必要があります。

返却通知期限を指定すると、AssetCenterは[全般]タブページで指定したリースの終了日を参照して逆算し、Taltek Services社が貸主へ通知しなければならない日付を自動的に生成します。

注意:

[オプション]タブページには、この契約上の資産をアップグレードするなど、他の契約オプションを指定することもできます。ただし、これらのオプションに関連する自動処理機能はありません。

契約を作成する

これで[全般]、[リース]、[連絡先]、[オプション]の各タブページに、Taltek社とInterleasing社間のリース契約の詳細情報が入力されました。


事例の説明を簡単にするために、ここでは上記のタブページの一部のフィールドに入力し、その他のタブページには一切入力しません。

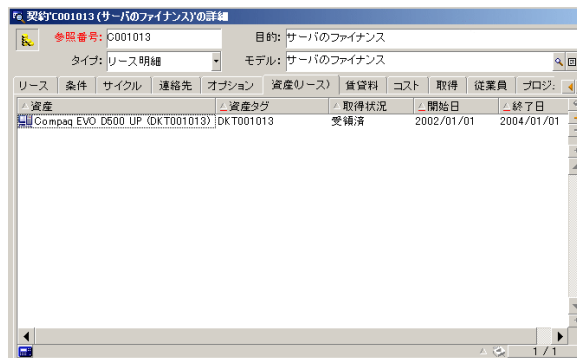
次の手順では、ここで作成した契約に資産を関連付けて、リース処理を開始します。


手順2：リース契約に関連する資産を選択する

Taltek Services社は、Interleasing社から資産を1件だけリースしています。

ここではまず資産を作成し、次にリース契約へ関連付けます。

- 1 前述の手順で作成したリース契約の詳細画面の [資産 (リース)] タブに移動します。このタブページには、契約に関連する資産のリストが表示されます。初めはリストには何も表示されません。
- 2  をクリックします。これで、Taltek Services社の資産のリストが開きます。
- 3 [新規作成] をクリックして資産を作成します。新規ウィンドウで資産をリース契約に関連付けます。
- 4 モデル「Deskpro EN - DT - PIII 933」を選択します。
- 5 [追加] をクリックしてから [選択] をクリックします。
- 6 AssetCenterでは、中間的なウィンドウが表示され、資産の詳細の期間開始日および終了日が自動的に入ります。そのままの状態ですべて [選択] をクリックします。
- 7 これで、[資産 (リース)] タブページでは資産が契約に関連付けられていることが表示されます。



- 8 [変更] をクリックし、資産の選択を確定します。
- 9  をクリックし、資産の詳細画面を表示します。
- 10 資産の [取得] タブページにもリース契約に関する情報が表示されます。このタブページには、ページ上部の取得方法のほかに、[調達] および [価格

と条件] サブタブページの [リース] セクションにそれぞれ貸主の名前と開始日および終了日が表示されます。

- 11 これらの情報から、賃貸料などのリース契約に関連する様々なコストが契約上の資産の値に基づいて計算されることがわかります。後の手順で計算を正確に行うためにも、[調達] サブタブページの [市場価格] (mMarketVal) フィールドが設定されていない場合はここで値を入力しておきます。資産の市場価格は、リース期間開始時の市場価格です。新品の資産の場合は、その資産を購入する場合の価格を入力します。
- 12 [変更] をクリックし、この値を確定します。
- 13 [閉じる] をクリックし、契約の詳細画面に戻ります。

手順3：賃貸料を計算する

Taltek Services社は、リース契約の条件に従ってInterleasing社に賃貸料を支払わなければなりません。

次の手順で賃貸料の計算方法を指定します。


- 1 契約の詳細画面の [賃貸料] タブの下部にあるサブタブを右クリックし、次のように入力します。

- 2 [説明] フィールドの下の部分で賃貸料の計算方法を指定します。この場合は、契約の市場価格に料率をかけて計算します。
 - この場合、料率は2%です。
 - 賃貸料計算の基準として使う契約の市場価格は、デフォルトでは契約に含まれる全資産の市場価格を合計した値です。この例では、前述の手順で指定した契約上の全資産（この例では1件の資産）の市場価格である70000円を入力します。
 - 賃貸額は、入力した [料率] (pLRF) によって変わり、[支払] (mPayments) フィールドに自動的に表示されます。
- 3 [スケジュール] セクションでは、賃貸期間が2年で、月1回支払うことを指定します。[支払]、[支払期日]、[猶予] フィールドを使って、賃貸料の支払方法を指定します。この例では、その月の初日に支払い、猶予期間がないことを指定します。
- 4 [賃貸料の比例配分] (seProrateRule) フィールドで [すべての資産に賃貸料を比例配分して配賦] オプションを選択し、契約の賃貸料を契約に含まれる全資産に比例配分することを指定します。これで契約上の各資産に、それぞれリース賃貸料が発生します。
- 5 [主賃貸料] (bMainRent) チェックボックスをオンにして、次の手順で一時金の計算を行います（初回金または一時金は、主賃貸料の支払がある場合のみ存在する賃貸料です）。
- 6 [変更] をクリックし、ここまで入力した情報を確定します。資産の詳細画面の [取得] タブページが自動的に更新されます。すなわち、支払情報を含

むサブタブページが作成され、このサブタブページの [支払] (mPayments) フィールドに資産単位の賃貸料が表示されます。

これで、賃貸料の計算方法が決まりました。この事例を簡単にするために、賃貸料に関連する税金の処理についての手順は省略します。

手順4：資産の受領を承認し、一時金を計算する

契約上の資産の受領を承認し、一時金を計算するには、契約の詳細画面で  ボタンをクリックします。次のウィンドウが表示されます。



受領承認日と一時金

計算に含まれる資産の選択

資産: Compaq EVO D500 UP (DKT00... DKT001013 受領済

取得状況: 受領承認済

開始日: 2002/01/01

受領承認日: 2002/03/26

シリアル番号:

一時金の計算

賃貸料の合計: 2,100

支払回数: 月1回

一時金の合計: 0

計算のタイプ: 受領承認日

日数: ###

最少日数: 0

最大日数: 90

比例配分方法: 市場価格

四捨五入: 0.01

適用(A) 閉じる(C)

資産の受領を承認するウィンドウ

資産の受領の承認は、リース手続きにおいて重要な過程であり、借主と貸主との間で契約書類の交換が行われます。これで、契約が成立し、借主に機器の賃貸料を支払う義務が発生します。

資産の受領を承認するには、その資産を選択し、[適用] をクリックします。[取得状況] フィールドが [受領承認済] に変わり、[受領承認日] に当日の日付が自動的に表示されます。必要な場合はこの日付を手動で変更できます。


一時金を計算する

一時金は、資産を受領して承認した日からリース期間の第1回目の支払日までの賃貸料を対象とします（現在の月に更に支払わなければならない残金総額を指します）。契約は、複数の賃貸料の支払（保険、リース、メンテナンスなど）に関連付けることができます。ただし、一時金は契約の"主"賃貸料（契約の [主賃貸料]（bMainRent）チェックボックスがオンになっている場合に、その契約の [賃貸料] タブページに表示される賃貸料）が存在する場合にのみ、それに付属する賃貸料です。

一時金は、資産の受領を承認したときに契約の詳細画面の [リース] タブページで定義されている条件に基づいて計算します。デフォルトでは、承認日から計算します。

この例では、月1回、月初めに賃貸料を支払う必要があります。一時金は、承認日（2004年2月7日）からリース期間の最初の主賃貸料支払日（2004年3月1日）までを対象とします。

一時金を計算するには、[承認日と一時金] 画面で次の操作を行います。


- 1 資産を選択します。
- 2  ボタンをクリックします。
- 3 [一時金の合計] フィールドに一時金の額が表示されます。

受領の承認と一時金を確定する

- 1 [適用] をクリックし、資産の受領を承認し、一時金を確定します。
- 2 [閉じる] をクリックし、契約の詳細画面に戻ります。

手順5：契約に関連する経費を表示する

上記の手順では、リース契約に関連する賃貸料を定義する方法を説明しました。この賃貸料に対応する経費明細はAssetCenter Serverによって自動的に作成されます。生成された経費明細はキーボードで [F5] を押して手動で更新することもできます。

- 1 リース契約の賃貸料の経費明細を表示するには、契約の詳細画面の [コスト] タブに移動します。期間ごとの賃貸料の支払リストが表示されます。
- 2  をクリックし、賃貸料の総額を計算します。

資産の詳細画面の [コスト] タブページにも、資産に関連する次の経費明細が表示されます。

- 資産の一時金に関連する経費明細
- AssetCenter Serverによって自動的に作成された、資産の定期的な賃貸料支払に対応する経費明細

手順6：満了時に資産を返却する

借主は、満了時にすべてまたは一部の資産を返却、購入、または更新します。
この事例では、Talteck Services社はInterleasing社に資産を返却します。ここでは、そのための返却伝票（返却）を作成します。

- 1 [返却] ボタンをクリックします。資産の返却を作成するウィンドウが表示されます。
- 2 [新規作成] をクリックし、返却を作成します。
- 3 [説明]（Description）を入力し、[全般] タブページに次のように入力します。[全般] タブページには返却予定日が表示され、デフォルトは満了時の日付（2004年1月1日）です。ここで、デフォルトとは異なる実際の返却日を指定できます。

- 4 [作成] をクリックします。
- 5 [輸送] タブの [貸主] フィールドの右にある [貸主] タブをクリックし、貸主 Interleasing社の連絡先を表示します。
- 6 次に、資産を返却したことを指定する必要があります。[資産] タブに移動します。
- 7 [資産] タブページの [追加] をクリックし、契約に含まれている資産のテーブルにアクセスします。

- 8 返却する資産を選択します。
- 9 [選択] ボタンをクリックし、返却する資産を返却に関連付けます。
- 10 返却画面の [変更] ボタンをクリックし、入力した情報を確定します。資産の [取得状況] (seAcquStatus) が変更され、資産が [返却予定] になります。
- 11 [除却] ボタンをクリックします。これで資産は除却されました。ただし、実際の除却日は返却画面の [全般] タブページで指定した実際の返却日になります。
 - 1 資産の [取得状況] が変更され、資産が [返却済] になります。
 - 2 資産の詳細画面の [全般] タブの [割当] (seAssignment) フィールドが変更され、 [除却済] になります。
 - 3 資産の詳細画面の [全般] タブページにある [返却理由] (RetReason) フィールドに、返却 (Interleasing社に返却) したために除却したことを示す理由が表示されます。
- 12 [閉じる] をクリックし、契約の詳細画面に戻ります。

これで、資産はInterleasing社に返却されました。

手順7：処理をトラッキングする

契約の詳細画面の [サイクル] タブを選択すると、この事例で行った次の処理内容が表示されます。

- 1 2004年1月1日に契約に資産を追加
- 2 2004年2月7日に資産の受領を承認
- 3 2006年1月1日に資産を返却

まとめ

ここまで、貸主と借主の2社間のリース契約の事例について説明してきました。借主は、AssetCenterを使って貸主への様々な賃貸料支払（一時金、および過去、現在、将来の月1回の賃貸料）を計算し、契約上の期限を考慮しながら資産を返却できました。

この事例で紹介されているAssetCenterの機能はほんの一部です。他の機能については、このマニュアルの別の章を参照してください。

ASP契約を管理する

実用例について

この事例では、Broca社とSontay社の2社を使用します。

両者はBroca社が顧客、Sontay社がサービスプロバイダとしてASP契約に加入します。

Broca社のASP契約責任者（Mr Black）はAssetCenterを使用して契約管理を行います。

Mr Ramiは、Broca社のアプリケーションのユーザ担当テクニカルサポートマネージャです。

この事例では、Broca社で働くMs Dianisはユーザとしてアプリケーションにアクセスすることを希望しています。次に、彼女はアプリケーションの使用に関する技術的な質問をするため、ASPに接続します。その後、Ms Dianisは退職することになったため、そのアプリケーションのユーザリストから削除されます。その処理のために、Mr Ramiはアプリケーションの再設定を行います。

この事例の手順は次のとおりです。

- 1 ASP専門分野データをインポートします。
- 2 Sontay社を作成します。
- 3 従業員を作成します（Mr Black、Mr Rami、Ms Dianis）。
- 4 ASP契約を作成します。
- 5 AssetCenter Serverを設定します。
- 6 契約用のユーザアカウントを作成します。
- 7 Ms Dianisはアプリケーションサービスに接続し、テクニカルサポートに電子メールを送ります。
- 8 Mr BlackがMs Dianisのアカウントを削除します。
- 9 Mr Ramiがアプリケーションを再設定します。

実用例使用の必要条件

ASP契約機能を用いるには特定のワークフローがAssetCenter Serverで実行している必要があります。

このため、サーバまたはコンピュータにAssetCenter Serverをインストールし、実行する必要があります。AssetCenter サーバの操作方法について詳しくは、マニュアル『管理』を参照してください。

AssetCenterを起動する

AssetCenterを起動するには、AssetCenterプログラムグループ内の該当するアイコンをダブルクリックします。

最初にAssetCenter管理者（Admin）として、デモ用データベースを開きます。パスワードは、ユーザが指定できるように空になっています。

手順1：ASP専門分野データのインポートスクリプトをインポートします。

[ファイル/インポート] から、[スクリプトの実行] をクリックします。

[実行するスクリプト] フィールドの横のフォルダアイコンをクリックし、「asp.scr」ファイルを選択します。このファイルのフルパスはC:\Program Files\Peregrine\AssetCenter\datakit\bestprac\asp.scrとなるはずですが。

この手順を実行すると、必要なワークフローとアクションを含む専門分野データがAssetCenterにインポートされます。

手順2：Sontay社を作成します。

[ポートフォリオ/会社] メニューで、[新規] をクリックします。会社「Sontay」を作成し、次のテーブルで示すようにフィールドとリンクに必要な情報を入力します。

	レコード 1
名前 (Name)	Sontay

[作成] ボタンをクリックし、ウィンドウを閉じます。

手順3：従業員を作成する

[ポートフォリオ/部署と従業員] メニューで、[新規] をクリックします。次のテーブルで示すように、[全般] タブのフィールドとリンクに必要な情報を入力して、シナリオの3人の登場人物を作成します。

	レコード 1
名前 (Name)	PC4 黒
役職 (Title)	契約責任者

[プロファイル] タブページ

ログイン	aspblack
パスワード	黒
権限	[管理者権限] をチェックします。

名前 (Name)	レコード2 PC4 Rami
役職 (Title)	テクニカルサポートマネージャ

[プロファイル] タブページ

ログイン (UserLogin)	asprami
パスワード (LoginPassword)	rami
権限	[管理者権限] をチェックします。

名前 (Name)	レコード3 PC4 Dianis
-------------	---------------------

[プロファイル] タブページ

ログイン (UserLogin)	aspdianis
パスワード (LoginPassword)	dianis
権限	[管理者権限] をチェックします。

Step 4 : ASP契約を作成する



警告:

この手順を実行するには、Mr Blackとして接続します。

契約

[契約 / アプリケーションサービス] メニューで、[新規] をクリックします。ASP契約を作成し、次のテーブルで示すようにフィールドとリンクに必要な情報を入力します。

フィールドまたはリンク	レコード1
参照番号 (Ref)	PC4 - REF001
アプリケーションタイプ (seASPTYPE)	ASP
ネットワークアクセス (seASPAccessType)	インターネット
[全般] タブ	
責任者 (Supervisor)	Mr Black
会社 (Company)	PC4 - Sontay

アプリケーションURL (ASPConnectionURL)	http://peregrine.com
管理URL (ASPUserRegURL)	http://support.peregrine.com
テクニカルサポート (ASPEmail)	support@sontay.com
技術担当者 (Techcnct)	Mr Rami

[作成] ボタンをクリックします。

アプリケーションサービスの詳細画面の [従業員] タブページで、 [+] をクリックします。 [ユーザ] フィールドで、 MrRamiを選択します。 [ログイン] フィールドで Mr Ramiのログイン (asprami) に必要な情報を入力し、 [プロファイル] フィールドを [管理者] に設定します。 [追加] ボタンをクリックします。

ASPのユーザとして追加する Ms Dianis に対しても同じ操作を行います。

 **注意:**

ユーザの詳細画面の [ステータス] (seStatus) フィールドは、 ASP管理者がユーザアカウントを登録するまで [未作成] に設定されています。

契約の詳細画面の [全般] タブに戻り、 [契約] をクリックします。これで、 ASP契約の使用条件にアクセスすることができます。

手順5 : AssetCenter Serverを設定する

AssetCenter Serverを起動し、管理者として空のデータベースに接続します。

[アクション / 有効化] メニューから、 [実行グループ 'BST_ASP' にワークフロー規則を適用] モジュールを選択し、対応するチェックボックスを選択します。

AssetCenter Serverが一定の間隔で実行するように設定されます。

手順6 : 契約用のユーザアカウントを作成する

AssetCenterに戻ります。 [ツール / 進行中のタスク] メニューから、進行中の2つのワークフロータスクにアクセスします。 [アクティビティ] 列に両方のタスクの [ユーザアカウントの管理] が表示されます。

 **注意:**


次の操作は2つの手順 (ユーザアカウントごとに1つの操作) で行う必要があります。

[ウィザード] をクリックします。新規ウィンドウで、 [アプリケーションサービスの管理] をクリックします。シナリオの内容に応じて、インターネットサ

ポートページ<http://support.peregrine.com/> [<http://support.peregrine.com/>]が自動的に開きます。ここでは、ASP契約の管理ページに接続していると仮定します。

処理中のページを終了し、作成ウィザードの [アカウントが作成されました] チェックボックスを選択します。

[完了]、[OK] [閉じる] の順にクリックします。

 アイコン、[OK] ボタンの順に選択して、AssetCenter Serverを手動で再起動します。

AssetCenterに戻り、[契約 / アプリケーションサービス.4] を使用して、ASP契約の詳細画面を表示します。

[従業員] タブページでユーザRami、次にDianisの詳細画面にアクセスします。両方のユーザの [ステータス] フィールドは、[未作成] から [更新済] に変わっています。

すべてのウィンドウを閉じます。

手順7：Ms Dianisはアプリケーションサービスに接続し、テクニカルサポートに電子メールを送ります。

同じく空のデータベースに接続します。ただし、管理者としてではなくMs Dianisとしてログインします。

[ポートフォリオ / 部署と従業員] メニューで、左側のリストからユーザDianisの詳細を選択します。[アプリケーションサービス] タブに、Ms DianisがアクセスできるASP契約が表示されます。

- アプリケーションサービスに接続するには：

契約の明細で [PC4] を右クリックし、[アクション / アプリケーションサービスに接続] を選択します。

- サポートに電子メールを送信するには：

契約の詳細画面のダブルクリックし、[契約] フィールドの編集領域を右クリックします。[アクション / テクニカルサポートに電子メールを送信] を選択します。support@sontay.comへのメッセージが自動的に開きます。


手順8：Mr BlackがMs Dianisのアカウントを削除する

ASP契約管理者であるMr Blackとしてデータベースに接続し、[契約 / アプリケーションサービス] メニューを選択します。

 **警告:**

[従業員] タブページにアプリケーションサービスの登録ユーザと管理者が表示されます。予防措置として AssetCenter では、[-] ボタンをクリックするだけでは、従業員を削除できないようになっています。削除するときは次の手順でその可否を確定する必要があります。

契約の詳細画面を表示します。[従業員] タブで、ユーザ'Dianis' をダブルクリックします。[ログイン] フィールドには何も入力しないで、[変更] をクリックします。

 アイコン、[OK] ボタンの順に選択して、AssetCenter Serverを手動で再起動します。


前のウィンドウに戻り、[F5] を押します。[ステータス] フィールドの表示は [未更新] になります。

[ツール / 進行中のタスク] で、[アクティビティ] 列に [ユーザアカウントの管理] が表示されます。

[ウィザード] をクリックします。新しい作成ウィザードで、[アプリケーションサービスの管理] をクリックします。

処理中のページを終了し、作成ウィザードの [アカウントが削除されました] チェックボックスを選択します。

[完了]、[OK] [閉じる] の順にクリックします。

 アイコン、[OK] ボタンの順に選択して、AssetCenter Serverを手動で再起動します。

契約の詳細画面に戻り、[F5] を押します。[ステータス] フィールドの表示は [更新済] になります。

手順9 : Mr Ramiがアプリケーションを再設定する

Mr Ramiとしてデータベースに接続します。次の2つの可能性があります。

- 1 [契約 / アプリケーションサービス] メニューで、ASP契約を右クリックし、ショートカットメニューから [アクション / アプリケーションサービスの管理] を選択します。
- 2 [ポートフォリオ / 部署と従業員] メニューで、左の枠からMr Ramiを選択します。Mr Ramiの詳細画面が表示されます。[アプリケーションサービス] タブで、ASP契約を右クリックし、ショートカットメニューから [アクション / アプリケーションサービスの管理] を選択します。

アラームを作成する

注意:

アラームプロセスについてわかりやすく説明するために、この実用例では期限が超過している契約を使用します。

実用例について

この事例では、Broca社とTchesco社を用います。

Broca社はTchesco社とは「その他の」タイプの契約を結んでいます。この契約は2003年1月1日から2003年12月31日まで有効であり、契約終了の通知は契約満了日の二ヶ月前までに行う義務があります。

この事例では、Broca社は社内データベースに「その他の」タイプの契約を登録しており、期間満了の70日前にアラームをトリガするようにAssetCenterを設定します。このアラームは、AssetCenterメッセージシステムを用いた電子メール通知形式で、まず契約責任者であるMr.Postに送られ、次に彼のマネージャであるMr.Rissou（法務部長）に送られます。

この事例の手順は次のとおりです。

- 1 Mr Rissouを作成します。
- 2 法務部を作成します（責任者はMr Rissou）。
- 3 Mr Postを作成します。
- 4 Tshesco社を作成します。
- 5 「契約責任者とそのマネージャに通知」アクションを作成します。
- 6 Tscesco社との契約を作成します。
- 7 アラームを作成します。

手順1：Mr Rissouを作成します。

[ポートフォリオ / 部署と従業員] メニューで、[新規] をクリックします。次のテーブルで示すようにフィールドとリンクに必要な情報を入力して従業員を作成し、[作成] ボタンをクリックします。

	レコード 1
名前 (Name)	PC5 Rissou
役職 (Title)	法務部長

[プロファイル] タブページ	
ログイン (UserLogin)	rissou
パスワード (LoginPassword)	なし
権限	[管理者権限] をチェックします。

手順2：法務部を作成する

[ポートフォリオ / 部署と従業員] メニューで、[部署] をクリックします。次のテーブルで示すようにフィールドとリンクに必要な情報を入力して法務部を作成し、[作成] ボタンをクリックします。

	レコード 1
名前 (Name)	PC5 - 法務
責任者 (Supervisor)	PC5 Rissou

手順3：Mr Postを作成する

[ポートフォリオ / 部署と従業員] メニューで、[新規] をクリックします。次のテーブルで示すようにフィールドとリンクに必要な情報を入力して従業員を作成し、[作成] ボタンをクリックします。

	レコード 2
名前 (Name)	PC5 Post
役職 (Title)	契約責任者
部署 (Parent)	PC5 法務
[プロファイル] タブページ	
ログイン (UserLogin)	post
パスワード (LoginPassword)	なし
権限	[管理者権限] をチェックします。

手順4：Tchesco社を作成する

[ポートフォリオ / 会社] メニューで、[新規] をクリックします。会社「Tchesco」を作成し、次のテーブルで示すようにフィールドとリンクに必要な情報を入力します。

	レコード 1
--	--------

名前 (Name)

Tchesco

[作成] ボタンをクリックし、ウィンドウを閉じます。

手順5 : アクションを作成する

[ツール / アクション / 編集] メニューを選択し、[新規] をクリックします。次のテーブルで示すようにフィールドとリンクに必要な情報を入力して、シナリオで使用する3つのアクションを1つずつ作成します。

レコード 1	
名前 (Name)	PC5 - 契約責任者に通知する
コンテキスト (ContextTable)	契約 (amContract)
タイプ (seActionType)	メッセージ
SQL名 (SQLName)	PC5_Notify_contract_supervisor
メニューに表示	このボックスをチェックします。
[メッセージ] タブページ	
受信者 (MsgTo)	AM:[Supervisor.UserLogin]
件名 (Subject)	契約は [dEnd] 日に期間満了となります。

レコード 2	
名前 (Name)	PC5 - 契約責任者の、部署での責任者に通知する
コンテキスト (ContextTable)	契約 (amContract)
タイプ (seActionType)	メッセージ
SQL名 (SQLName)	PC5_Notify_departmental_supervisor_of_the_contract_supervisor
メニューに表示	このボックスをチェックします。
[メッセージ] タブページ	
受信者 (MsgTo)	AM:[Supervisor.Parent.Supervisor.UserLogin]
件名 (Subject)	契約は [dEnd] 日に期間満了となります。
メッセージ (memMsgText)	契約責任者である [Supervisor.MrMrs] [Supervisor.Name] が通知メッセージをまだ読んでいない場合に、このメッセージを受け取ります。


手順6 : 契約を作成する

[契約 / 契約] メニューで、[新規] をクリックします。契約を作成し、次のテーブルで示すようにフィールドとリンクに必要な情報を入力します。

	レコード 1
参照番号 (Ref)	PC5 - 001
タイプ (seType)	その他
契約状況 (seStatus)	有効
責任者 (Supervisor)	PC5 Post
支払属性 (sePayType)	賃貸料
有効期間 - 開始 (dStart)	2003/01/01
有効期間 - 終了 (dEnd)	2003/12/31

[作成] ボタンをクリックします。

手順7：アラームを作成する

- 契約の詳細画面で、をクリックします。アラーム作成ウィンドウが表示されます。
次のテーブルで示すようにフィールドとリンクに必要な情報を入力します。

	レコード 1
アラーム	このボックスをチェックします。
有効化	70日前
アクション	PC5 - 契約責任者に通知する
第2レベル	このボックスをチェックします。
有効化	65日前
アクション	PC5 - 契約責任者の、部署での責任者に通知する

- [OK]、[変更] の順にクリックします。
- AssetCenter Serverを起動し、[ファイル / データベースに接続] メニューを選択し、空のデータベースに管理者として接続します。関連パスワードは空のままです。
[ツール / モジュールの設定] メニューで、[アラームの検証] モジュールを選択します。[有効] ボックスを選択し、ウィンドウを閉じます。
 - Mr RissouとしてAssetCenterに接続します。未読のメッセージがあることを知らせるメッセージが表示されます。[はい]、[次へ] の順にクリックし、メッセージを表示します。

作成しておいたアラームメッセージが表示されます。AssetCenter が通知期間の70日を超過したことを検出すると、初期メッセージがまずMr Post に送信されます。AssetCenterが契約期間満了まで65日を切り、Mr Postがまだアラームメッセージを読んでいないことを検出すると、次のメッセージがMr Rissouに送信されます。

[参照オブジェクト] をクリックします。契約PC5 - 001の詳細ウィンドウが自動的に開きます。



IV | 付録

パート

13 | 用語解説

承認 (Acceptance)

借主による資産受領の承認は、リース手続きの中できわめて重要な処理手続きであり、借主と貸主との間で契約書類（受領証書、英語でCertificate of Acceptanceと呼ばれます）が交換されます。

承認により、賃貸料の支払い義務が発生します。

このオブジェクトを記述するAssetCenterデータベースのテーブル

資産（SQL名：amAsset）

料率

料率は、契約の賃貸料計算の計算式で使用されます。

契約賃貸料 = 契約賃貸料の値 × 料率

料率はリースする資産のタイプに応じて異なります。これは契約上で定義されず。

このオブジェクトを記述するAssetCenterデータベースのテーブル

資産の賃貸料 (SQL名: amAssetRent)

契約賃貸料 (SQL名: amCntrRent)

一括発注

[一括発注]タイプの契約では、購入者は指定された期間内に指定された最低金額分の製品を購入しなければなりません。

期限までに最低金額に達しない場合は、購入者に罰則が課されます。

このオブジェクトを記述するAssetCenterデータベースのテーブル

契約 (SQL名: amContract)

契約

AssetCenterでは、取引先との間で締結された契約を管理できます。

1つの契約に複数の契約を関連付けることができます。

例

AssetCenterでは以下の種類の契約を管理できます。

- マスターリース
- リース明細
- メンテナンス
- 保険
- ライセンス
- 一括発注
- その他

このオブジェクトを記述するAssetCenterデータベースのテーブル

契約 (SQL名 : amContract)

マスターリース (Master lease)

マスターリースでは、リースする資産に関する一般的な条項と条件、および貸主と借主の関係を定義します。

リース明細タイプの契約の作成の基準 (テンプレート) になります。

資産と賃貸料は、マスターリースでは定義しません。これらの情報については、個々のリース明細で詳しく定義します。

このオブジェクトを記述するAssetCenterデータベースのテーブル

契約 (SQL名 : amContract)

リース明細 (Lease schedule)

リース明細は、マスターリースの内容を実際にリース物件に適用した明細です。

リース明細にはマスターリースの多くの情報が継承されるほか、物件のリスト、賃貸料および重要期日などが指定されます。

このオブジェクトを記述するAssetCenterデータベースのテーブル

契約 (SQL名 : amContract)

ローン (Loan)

リース契約で資産を調達すると、資金のローンが必要な場合もあります。

AssetCenterではローンの詳細情報を入力し、返済 (元金、利子、手数料) を管理することができます。

関連用語

▶ 貸付業者 (Assignee) [倭献56]

このオブジェクトを記述するAssetCenterデータベースのテーブル

ローン (SQL名 : amLoan)

支払期日

賃貸料の支払期日。

このオブジェクトを記述するAssetCenterデータベースのテーブル

資産の賃貸料 (SQL名 : amAssetRent)

契約賃貸料 (SQL名 : amCntrRent)

期間満了 (End of term)

期間満了時には、借主は通常、リース物件の購入、返却、更新などのオプションを選択することができます。

購入 (買い取り) (Purchase)

大多数の契約書には、借主が公正な市場価格でリース物件を購入できること、またはしなければならぬことが明記されています。この価格は、この種のリース物件の通常の市場価格に基づいて貸主と借主の間で決定します。

通知 (Notification)

大多数の契約書には、リース物件のリース終了時に選択するオプション (更新、返却、購入) を借主が貸主に前もって明白に通知することが義務付けられています。一般的に、貸主に事前の通知がない場合は、借主が追加の賃貸料を支払わなければなりません。

AssetCenterには、資産のリース期間が満了間近であることをユーザに知らせるアラーム機能があります。

借主は、契約満了日、返却の通知日、購入の通知日、更新の通知日などの、特定の日付に近づくとトリガされるアラームを作成できます。

中途解約 (Early termination)

リース期間中に、資産を他の業者に転売したり、資産の紛失、盗難、破損などの事故が発生したりすることがあります。この場合は、貸主に通知すると直ちに賃貸料の金額に修正が加えられます (損失価額の定義を参照してください)。

契約によっては、満了時より前にリース物件を返却できる場合もあります。これは、借主が貸主に通知した場合、または契約で定義されている日付に実行されます。この場合、借主は中途解約手数料という違約金を支払う必要があります。

このオブジェクトを記述するAssetCenterデータベースのテーブル

契約 (SQL名 : amContract)

配賦

配賦は契約上資産の賃貸料の計算方法の1つです。

配賦を使用する場合、各資産の賃貸料用に同じ固定額を定義する必要があります。

反意語

▶ 比例配分 [倭献57]

このオブジェクトを記述するAssetCenterデータベースのテーブル

資産の賃貸料 (SQL名 : amAssetRent)

契約賃貸料 (SQL名 : amCntrRent)

利子

利子は、ローンの返済時に元金と手数料と共に返済額の一部を成します。

このオブジェクトを記述するAssetCenterデータベースのテーブル

ローン (SQL名 : amLoan)

リース

リースには、長期レンタルや分割払い購入契約との類似点および相違点があります。

いずれの場合でも賃貸料を支払いますが、以下の相違点があります。

- リース：リース契約では賃貸料支払いと違約金を計算するために、支払期日を指定します。リース契約には色々な種類がありますが、いずれの場合でも企業が備品を所有することによって生じるコストを回避できます。リースは特に、新型製品発売のサイクルが短いIT関係の資産を管理する際に、解決策として使用されます。
- 長期レンタル：契約終了時に物件の買取オプションがないリース契約を指します。後述の分割払い購入契約にはこの買取オプションがあります。
- 分割払い購入：分割払いで物件を購入する契約で、借主は支払い中に物件を使用できます。

賃貸料 (Rent)

賃貸料は、支払額と支払期限や周期によって決まります。

複数の賃貸料が存在する場合、主賃貸料と副賃貸料を区別します。

AssetCenterでは、契約に関する賃貸料の総額、契約に関連する資産の賃貸料、および一時金を計算できます。

このオブジェクトを記述するAssetCenterデータベースのテーブル

資産の賃貸料 (SQL名 : amAssetRent)

契約賃貸料 (SQL名 : amCntrRent)

一時金（Interim rent）

一時金は、資産を受領して承認した日から、賃貸契約期間の第1回目の主賃貸料支払日までの期間を対象とします。

1つの契約が複数の賃貸料（保険、レンタル、メンテナンスなど）に関連する場合もありますが、一時金は主賃貸料用에만存在します。

一時金の支払額は資産の受領承認日から計算します。

主賃貸料

複数の賃貸料が存在する場合、主賃貸料と副賃貸料を区別します。

リースタイプの契約に固有の一時金は、主賃貸料支払いにのみ適用されるため、リースでは主賃貸料の概念が重要になります。

ある賃貸料が契約上の主賃貸料である場合、この賃貸料は、この契約に関連する全資産の主賃貸料になります。

資産1件につき、主賃貸料の支払は1件だけです。

一方、契約単位では主賃貸料の支払が複数存在する場合があります。

このオブジェクトを記述するAssetCenterデータベースのテーブル

資産の賃貸料（SQL名：amAssetRent）

契約賃貸料（SQL名：amCntrRent）

賃貸額

賃貸料の額は、賃貸料の値に料率をかけて計算します。

賃貸料の額は、資産賃貸料と契約賃貸料で使用されます。

次の用語と混同しないでください。

▶ 賃貸料の値 [[参考文献59](#)]

通知

大多数の契約書には、リース物件のリース終了時に選択するオプション（更新、返却、購入）を、借主が貸主に前もって明白に通知することが条件付けられています。

一般的に、貸主に事前の通知がない場合、借主は追加の賃貸料を支払わなければなりません。

AssetCenterには、資産のリース期間が満了間近であることをユーザに知らせるアラーム機能があります。

借主は、契約満了日、返却の通知日、購入の通知日、更新の通知日などの、特定の日付に近づくとトリガされるアラームを作成できます。

このオブジェクトを記述するAssetCenterデータベースのテーブル

契約（SQL名：amContract）

支払回数

賃貸料は、定期的な支払額と支払回数（周期）によって決まります。

このオブジェクトを記述するAssetCenterデータベースのテーブル

資産の賃貸料（SQL名：amAssetRent）

契約賃貸料（SQL名：amCntrRent）

貸付業者（Assignee）

リース物件の貸主は、設備資金を調達する目的で、借主の金銭債務に対する権利を専門業者に譲渡することができます。

この業者は、通常貸付業者と呼ばれる金融業者です。

一般に借主は貸付業者にリース料を支払い、貸主は自分の契約義務を遂行します。

このオブジェクトを記述するAssetCenterデータベースのテーブル

契約 (SQL名 : amContract)

比例配分

比例配分は契約上資産の賃貸料の計算方法の1つです。

比例配分モードを使用すると、比例配分値と呼ばれる参考値 (購入価格、賃貸料、市場価格など) に比例配分して賃貸料を計算できます。

例

比例配分による資産の賃貸料の計算式は以下のとおりです。

$$\text{資産賃貸料} = \text{契約賃貸料} \times \frac{\text{資産1件の比例配分値}}{\sum \text{契約上の資産の比例配分値}}$$

反意語

▶ 配賦 [参考文献53]

このオブジェクトを記述するAssetCenterデータベースのテーブル

資産の賃貸料 (SQL名 : amAssetRent)

契約賃貸料 (SQL名 : amCntrRent)

アプリケーションサービス

アプリケーションサービスとは、アプリケーションをローカルでインストールせずに企業内で使用できるようにするサービスです。

アプリケーションは、アプリケーションサービスプロバイダ (ASP、Application Service Provider) と呼ばれる外部の会社にホストされます。

ASPはソフトウェア会社とユーザ間の仲介役をなし、定期利用契約を結んでユーザにアプリケーション利用のサービスを提供します。

オンラインでアプリケーションを使用することにより、アプリケーションのメンテナンスとアップグレードを自動化できます。

ユーザはインターネットまたはイントラネット経由でアプリケーションにアクセスします。

このオブジェクトを記述するAssetCenterデータベースのテーブル

契約 (SQL名 : amContract)

ローン返済明細

ローン返済明細はローン返済の支払額と期日を定義します。

返済期日は以下の要素から構成されています。

- 日付
- 元金
- 利子率
- 手数料額

このオブジェクトを記述するAssetCenterデータベースのテーブル

ローン返済明細 (amLoanPayment)

損失額 (Loss value)

借主は、資産を紛失または破損した場合に、通常、補償金を支払う義務があります。

補償金の額は、紛失または破損した資産の価値によって決まります。一般に、この損失価額は契約上で定義されます。

AssetCenterでは、リース期間の開始日から経過した時間と、破損または紛失した資産のタイプに基づき、様々な方法で損失価額を計算できます。

このオブジェクトを記述するAssetCenterデータベースのテーブル

損失額 (SQL名: amLossValLine)

損失額の損失率 (SQL名: amLossValRate)

損失率 (SQL名: amLossValRule)

比例配分値

賃貸料を資産に配分するために、特定の基準値を使うことがあります。

この基準値を、「比例配分値」と呼びます。

比例配分値は、契約賃貸料のレベルで選択します。

比例配分方法では、資産の詳細画面内の値（購入価格、支払、市場価格など）を使います。

契約の [支払] と比例配分値が既に指定されている場合に、資産の [支払] (SQL名: mPayments) を計算する式は次のとおりです。

$$\text{資産賃貸料} = \text{契約賃貸料} \times \frac{\text{資産1件の比例配分値}}{\text{契約上の資産の比例配分値}}$$

このオブジェクトを記述するAssetCenterデータベースのテーブル

契約賃貸料 (SQL名: amCntrRent)

賃貸料の値

賃貸料の値は、賃貸料の額を計算するための基準値です。

賃貸料の値は、資産賃貸料と契約賃貸料で使用されます。

次の用語と混同しないでください。

▶ 賃貸額 [倭献55]

買取額

大多数の契約書には、借主が公正な市場価格でリース物件を購入できること、またはしなければならぬことが明記されています。

この価格は、この種のリース物件の通常市場価格に基づいて貸主と借主の間で決定します。

同意語

▶ 期間満了 (End of term) [倭献52]

このオブジェクトを記述するAssetCenterデータベースのテーブル

資産 (SQL名 : amAsset)

市場価格

資産の市場価格は、資産が資産のテーブル内に追加された時の市場価格を指します。

新品の場合は購入価格、中古の場合は買い取り価格などになります。

このオブジェクトを記述するAssetCenterデータベースのテーブル

資産 (SQL名 : amAsset)

初回金

どの種類の契約にも初回金が存在します。

リース契約の場合、初回金は一時金に相当します。

一般的に、一時金の支払額は資産の受領承認日から計算します。

同意語

▶ 一時金 (Interim rent) [修 献 55]

このオブジェクトを記述するAssetCenterデータベースのテーブル

資産 (SQL 名 : amAsset)

14 | 参考情報

メニューとタブページ

契約モジュールのデータには、以下のメニュー、タブ、リンク、およびフィールドからアクセスできます。

表 14.1. メニューとタブページ (契約) - 一覧

サブメニュー	アクセスするテーブル (テーブル名と SQL名)	専用のタブ、フィールドまたはリンク	関連するマニュアルの章
[ファイル]メニュー			
モジュールの起動	ライセンスファイルで許可されていれば契約モジュールを選択/非選択できます。 以下のモジュールが非表示の場合に、このメニューを使用します。	N/A	マニュアル『カスタマイズ』の「ユーザのコンピュータで AssetCenter をカスタマイズする」の章、「モジュールを起動する」の節を参照してください。

サブメニュー	アクセスするテーブル (テーブル名とSQL名)	専用のタブ、フィールドまたはリンク	関連するマニュアルの章
[ポートフォリオ] メニュー			
属性	属性 (amNature)	<ul style="list-style-type: none"> ■ [作成] (seBasis) ■ [契約のタイプ] フィールド (seCtrType) 	マニュアル『ポートフォリオ』の「ポートフォリオ品目」の章、「属性」の節を参照してください。
モデル	モデル (amModel)	<ul style="list-style-type: none"> ■ [全般] タブ : [属性] フィールド ■ [契約] タブページ 	マニュアル『ポートフォリオ』の「ポートフォリオ品目」の章、「属性」の節を参照してください。
資産とロット	資産 (amAsset)	<ul style="list-style-type: none"> ■ [取得] タブページ内の大部分 ■ [支払] タブページ ■ [契約] タブページ 	契約に資産をリンクする [倭 9] 手順3 - 賃貸料を定義する [倭 7] 手順4 - ローンの定義 [倭 3]
部署と従業員	従業員 (amEmplDept)	<ul style="list-style-type: none"> ■ [アプリケーションサービス] タブページ ■ [契約] タブページ 	手順1 - 契約を作成する [倭 9] 日常のASP契約の管理 [倭 07]
グループ	従業員グループ (amEmplGroup)	[契約] タブページ	
会社	会社 (amCompany)	[契約] タブページ	手順1 - 契約を作成する [倭 9] 一般的な概要 [倭 3]
[契約] メニュー			
アプリケーションサービス	契約 (amContract)	すべて	日常のASP契約の管理 [倭 07]
契約	契約 (amContract)	すべて	マニュアル全体
一括発注	契約 (amContract)	すべて	マニュアル『調達』の「発注」の章にある「一括発注」の節を参照してください。

サブメニュー	アクセスするテーブル (テーブル名と SQL名)	専用のタブ、フィールドまたはリンク	関連するマニュアルの章
マスターリース	契約 (amContract)	すべて	契約のタイプ [修 62] マスターリースを作成します。マスターリースには、一般的な契約条件を入力します。リース明細のテンプレートとして使います。 [修 65]
リース明細	契約 (amContract)	すべて	手順5 - 資産の受領を承認する [修 69] 手順3 - 賃貸料を定義する [修 67] 手順4 - ローンの設定 [修 63]
返却 - 期間満了	返却 (amReturnEnv)	すべて	手順7 - 損失額の定義 [修 65]
[ツール] メニュー			
レポート機能 / レポート	レポート (amReport)	N/A	レポートと書式 [修 61]
レポート機能 / 書式	内部用書式 (amForm)	N/A	レポートと書式 [修 61]
アクション / 編集	アクション (amAction)	N/A	参考情報 [修 63]
アクション / <アクションの名前>	コンテキストアクションまたはコンテキスト外アクションにアクセスできません。 選択されたアクションをトリガします。	N/A	参考情報 [修 63]
ツールバーのカスタマイズ	ツールバーのアイコンを表示 / 非表示にします。	[契約] カテゴリ	ツールバーのアイコン [修 66]
[管理] メニュー			

サブメニュー	アクセスするテーブル (テーブル名と SQL名)	専用のタブ、フィールドまたはリンク	関連するマニュアルの章
画面一覧	メニューからアクセスできないテーブルを表示します。 このようなテーブルは直接変更してはならないため、管理者のみが同メニューにアクセスできます。	N/A	マニュアル『はじめに』の「レコードリスト」の章、「リストを使う」の節を参照してください。
リストデータ	リストデータ (amItemizedList)	N/A	リストデータ [参考文献75]
カウンタ	カウンタ (amCounter)	N/A	カウンタ [参考文献77]

ツールバーのアイコン

ツールバーに表示されるアイコンの中には、契約モジュールに固有のものがあります。

アイコンのリストを表示して、ツールバーに追加するには、次の手順に従います。

- 1 [ツール/ツールバーのカスタマイズ] メニューを選択します。
- 2 [ツール] タブを選択します。
- 3 [カテゴリ] のリストから [契約] を選択します。

ツールバーのカスタマイズに関する詳細は、マニュアル『カスタマイズ』の「ユーザのコンピュータでAssetCenterをカスタマイズする」の章、「ツールバーをカスタマイズする」の節を参照してください。

インタフェースのオプション

契約モジュール用の一般的なオプションはありません。

テーブル

契約モジュールでは、以下のテーブルを使用します。

表 14.2. テーブル (契約) - 一覧

テーブル名とSQL名	テーブルにアクセスするために使用するメニュー	関連するマニュアルの章
契約モジュールに直接関連するテーブル		
資産の賃貸料 (amAssetRent)	[ポートフォリオ / 資産とロット] の [賃貸料] タブ [管理 / 画面一覧]	手順3 - 賃貸料を定義する [修 67]
契約上の資産 (amAstCntrDesc)	[ポートフォリオ / 資産とロット] の [契約] タブ [契約 / 契約] の [資産] タブ [管理 / 画面一覧]	契約に資産をリンクする [修 69] 手順3 - 賃貸料を定義する [修 67]
返却 (amReturnEnv)	[契約 / 返却 - 期間満了]	手順7 - 損失額の定義 [修 65]
資産賃貸料の支払 (amAstRntExpLin)	なし	手順3 - 賃貸料を定義する [修 67]
契約に含まれる従業員 (amCntrEmpl)	[契約 / 契約] の [従業員] タブ [契約 / アプリケーションサービス] の [従業員] タブ [契約 / 一括発注] の [従業員] タブ [契約 / マスターリース] の [従業員] タブ [契約 / リース明細] の [従業員] タブ [管理 / 画面一覧]	手順1 - 契約を作成する [修 69]
プロジェクトに割り当てられた契約 (amCntrProjDesc)	[ポートフォリオ / プロジェクト] の [契約] タブ [管理 / 画面一覧]	マニュアル『ポートフォリオ』の「作業指示とプロジェクト」の章、「プロジェクト」の節を参照してください。

テーブル名とSQL名	テーブルにアクセスするために使用するメニュー	関連するマニュアルの章
契約賃貸料 (amCntrRent)	[契約 / 契約] の [賃貸料] タブ [契約 / 一括発注] の [賃貸料] タブ [契約 / リース明細] の [賃貸料] タブ [管理 / 画面一覧]	手順3 - 賃貸料を定義する [修 6]
契約賃貸料の支払 (amCntrRntExpLin)		手順3 - 賃貸料を定義する [修 6]
契約 (amContract)	[契約 / 契約] [契約 / アプリケーションサービス] [契約 / 一括発注] [契約 / マスターリース] [契約 / リース明細] [ポートフォリオ / 部署と従業員] の [契約] タブ [ポートフォリオ / 資産とロット] の [契約] タブ [ポートフォリオ / 会社] の [契約] タブ	マニュアル全体
ローン (amLoan)	[契約 / 契約] の [ローン] タブ [契約 / 一括発注] の [ローン] タブ [契約 / リース明細] の [ローン] タブ [管理 / 画面一覧]	手順4 - ローンの設定 [修 3]

テーブル名とSQL名	テーブルにアクセスするために使用するメニュー	関連するマニュアルの章
ローン返済明細 (amLoanPayment)	[契約 / 契約] の [リース] タブの [規則] フィールド (LossValRule) [契約 / マスターリース] の [リース] タブの [規則] フィールド (LossValRule) [契約 / リース明細] の [リース] タブの [規則] フィールド (LossValRule) [管理 / 画面一覧]	手順4 - ローン の定義 [修 3]
損失額 (amLossValLine)	[管理 / 画面一覧]	手順7 - 損失額 の定義 [修 5]
損失額の損失率 (amLossValRate)	[契約 / 契約] の [リース] タブの [規則] フィールド (LossValRule)、規則の詳細画面 [契約 / マスターリース] の [リース] タブの [規則] フィールド (LossValRule)、規則の詳細画面 [契約 / リース明細] の [リース] タブの [規則] フィールド (LossValRule)、規則の詳細画面 [管理 / 画面一覧]	手順7 - 損失額 の定義 [修 5]
損失率 (amLossValRule)	[契約 / 契約] の [リース] タブの [規則] フィールド (LossValRule) [契約 / マスターリース] の [リース] タブの [規則] フィールド (LossValRule) [契約 / リース明細] の [リース] タブの [規則] フィールド (LossValRule) [管理 / 画面一覧]	手順7 - 損失額 の定義 [修 5]

テーブル名とSQL名	テーブルにアクセスするために使用するメニュー	関連するマニュアルの章
業者 (amThirdParty)	[契約 / 契約] の [連絡先] タブ [契約 / 一括発注] の [連絡先] タブ [契約 / マスターリース] の [連絡先] タブ [契約 / リース明細] の [連絡先] タブ [管理 / 画面一覧]	
契約モジュールに間接的に関連するテーブル		
資産 (amAsset)	[ポートフォリオ / 資産とロット]	契約に資産をリンクする [修 9] 手順2 - 契約に資産を追加する [修 9]
場所 (amLocation)	[ポートフォリオ / 場所]	マニュアル『ポートフォリオ』の「概要」の章、「ポートフォリオ品目の主要テーブル」の節を参照してください。
モデル (amModel)	[ポートフォリオ / モデル]	マニュアル『ポートフォリオ』の「ポートフォリオ品目」の章、「属性」の節を参照してください。
属性 (amNature)	[ポートフォリオ / 属性]	マニュアル『ポートフォリオ』の「ポートフォリオ品目」の章、「属性」の節を参照してください。
従業員 (amEmplDept)	[ポートフォリオ / 部署と従業員]	手順1 - 契約を作成する [修 9] 一般的な概要 [修 3]
会社 (amCompany)	[ポートフォリオ / 会社]	手順1 - 契約を作成する [修 9] 一般的な概要 [修 3]

テーブル間の依存関係

契約モジュールでは、AssetCenterデータベースの数多くのテーブルを使用します。これらのテーブル間には多数のリンクが存在するため、テーブルの入力順を最適化することをお奨めします。

以下で記述する入力順に必ずしも従う必要はありません。AssetCenterでは、リンクするテーブルで欠けているレコードを必要に応じて作成することができます。

例

コストカテゴリを契約の前に作成しておくことをお奨めします。しかし契約の詳細画面に入力する際に、コストカテゴリを仮作成することも可能です。この場合多数のリンクするウィンドウに入力する必要があるため、操作は困難になります。

以下の表にリンクされているテーブルの一覧とレコードの能率的な入力順を示します。

契約モジュールに直接リンクしている二次的なテーブルはここでは省略します。主テーブルでレコードが作成されると、これらのテーブルに自動的に値が入力されます。

表 14.3. テーブル間の依存関係（契約） - 表

テーブル（テーブル名とSQL名）	前もって入力する必要があるテーブル（テーブル名とSQL名）	コメント
1 リストデータ (amItemizedList)	なし	どのリストデータに入力すべきかを確認するには：▶リストデータ [修献75].
1 コストカテゴリ (amCostCategory)	マニュアル『ファイナンス』を参照してください。	
2 コストセンタ (amCostCenter)		
1 属性 (amNature)	マニュアル『ポートフォリオ』を参照してください。	[作成]フィールド (seBasis) に「契約」を入力し、[契約のタイプ]フィールド (seCntrType) に値を入力します。
1 モデル (amModel)	マニュアル『ポートフォリオ』を参照してください。	

テーブル (テーブル名とSQL名)	前もって入力する必要があるテーブル (テーブル名とSQL名)	コメント
1 国 (amCountry)	マニュアル『主要	
2 場所 (amLocation)	テーブル』を参照してください。	
3 従業員 (amEmplDept)		
4 従業員グループ (amEmplGroup)		
1 会社 (amCompany)	マニュアル『主要	
2 契約 (amContact)	テーブル』を参照してください。	
1 税区分 (amTaxJuris)	マニュアル『ファイ	
2 税金の計算式 (amTaxFormula)	ナンス』を参照してください。	
1 発注 (amOrder)	マニュアル『調達』を参照してください。	これは一括発注タイプの契約の前提条件になります。この種の契約は発注のテーブル (amPOrder) のレコードを参照します。
1 資産 (amAsset)	マニュアル『ポートフォリオ』を参照してください。	

テーブル (テーブル名とSQL名)	前もって入力する必要があるテーブル (テーブル名とSQL名)	コメント
1 契約 (amContract)	<ul style="list-style-type: none"> ■ コストカテゴリ (amCostCategory) ■ コストセンタ (amCostCenter) ■ モデル (amModel) ■ 場所 (amLocation) ■ 従業員 (amEmplDept) ■ 従業員グループ (amEmplGroup) ■ 会社 (amCompany) ■ 契約 (amContract) ■ 発注 (amOrder) ■ 資産 (amAsset) 	
1 業者 (amThirdParty)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 会社 (amCompany) ■ 契約 (amContract) ■ 契約 (amContract) 	
1 契約上の資産 (amAstCntrDesc)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 資産 (amAsset) ■ 契約 (amContract) 	
1 契約賃貸料 (amCntrRent)	<ul style="list-style-type: none"> ■ コストカテゴリ (amCostCategory) ■ コストセンタ (amCostCenter) ■ 税区分 (amTaxJuris) ■ 税金の計算式 (amTaxFormula) 	

テーブル (テーブル名とSQL名)	前もって入力する必要があるテーブル (テーブル名とSQL名)	コメント
1 ローン (amLoan)	<ul style="list-style-type: none"> ■ コストカテゴリ (amCostCategory) 	
2 ローン返済明細 (amLoanPayment)	<ul style="list-style-type: none"> ■ コストセンタ (amCostCenter) ■ 会社 (amCompany) ■ 資産 (amAsset) ■ 契約 (amContract) 	
1 損失率 (amLossValRule)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 契約 (amContract) 	
2 損失額の損失率 (amLossValRate)		
3 損失額 (amLossValLine)		
1 資産の賃貸料 (amAssetRent)	<ul style="list-style-type: none"> ■ コストカテゴリ (amCostCategory) ■ コストセンタ (amCostCenter) ■ 税区分 (amTaxJuris) ■ 税金の計算式 (amTaxFormula) ■ 資産 (amAsset) ■ 契約賃貸料 (amCntrRent) 	
1 契約に含まれる従業員 (amCntrEmpl)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 契約 (amContract) ■ 従業員 (amEmplDept) 	

テーブル(テーブル名とSQL名)	前もって入力する必要があるテーブル(テーブル名とSQL名)	コメント
1 返却 (amReturnEnv)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 場所 (amLocation) ■ 会社 (amCompany) ■ 契約 (amContact) ■ 資産 (amAsset) ■ 国 (amCountry) ■ 契約 (amContract) 	
1 依頼 (amRequest)	マニュアル『調達』を参照してください。	リース契約で取得された資産の依頼、発注、受領に関連します。
2 依頼明細 (amReqLine)		
3 発注 (amOrder)		
4 発注明細 (amPOrdLine)		
5 受領 (amReceipt)		
6 受領明細 (amReqLine)		

リストデータ

フィールドに値を入力する際に、リストから値を選択する場合があります(リストデータ)。

[管理/リストデータ]メニューを選択して[リストデータ](SQL名: amItemizedList)テーブルを表示します。

契約モジュール専用のリストデータは以下の表のとおりです。

表 14.4. リストデータ (契約) - 一覧

リストデータの識別子	リストデータを使って入力するフィールド (フィールド名とSQL名)	フィールドが属するテーブル (テーブル名とSQL名)
amAspCntrProfile	プロフィール (Profile)	契約に含まれる従業員 (amCntrEmpl)
amAssignCond	条件 (AssignCond)	契約 (amContract)
amCity	市町村 (City)	契約 (amContract)
amCntrNature	属性 (Nature)	契約 (amContract)
amCntrStatus	ステータス (Status)	契約 (amContract)
amDocCategory	カテゴリ (Category)	契約 (amContract)
amFloatingRate	変動為替 (FloatingRate)	ローン (amLoan)
amLossCond	条件 (LossCond)	契約 (amContract)
amPurchOptType	購入オプションのタイプ (PurchOptType)	契約 (amContract)
amRenOptType	更新オプションのタイプ (RenOptType)	契約 (amContract)
amRetEnvStatus	ステータス (RetEnvStatus)	契約 (amContract)
amRetReason	返却理由 (RetReason)	契約 (amContract)
amRetOptType	返却オプションのタイプ (RetOptType)	契約 (amContract)
amShipMode	出荷方法 (ShipMode)	契約 (amContract)
amState	都道府県 (State)	契約 (amContract)
amUpgOptType	アップグレードオプションのタイプ (UpgOptType)	契約 (amContract)

リストデータの詳細に関しては、マニュアル『AssetCenterの高度な使い方』の「リストデータ」の章を参照してください。

特殊フィールド

契約モジュールでは、特殊フィールドを使用しません。

[管理 / 特殊フィールド] メニューを選択して [特殊フィールド] (SQL名: amCalcField) テーブルを表示します。

リストデータの詳細に関しては、マニュアル『AssetCenterの高度な使い方』の「特殊フィールド」の章を参照してください。

スクリプトの詳細に関しては、マニュアル『AssetCenterの高度な使い方』の「スクリプト」の章を参照してください。

APIの使用に関する情報は、マニュアル『プログラマーズリファレンス』を参照してください。

カウンタ

契約モジュールでは、以下のカウンタを使用します。

これらのカウンタは、特定のフィールドのデフォルト値で使用されています。

[管理 / カウンタ] メニューを選択して [カウンタ] (SQL名: amCounter) テーブルを表示します。

契約モジュールに直接関連するカウンタは以下のとおりです。

表 14.5. カウンタ (契約) - 一覧

カウンタのSQL名	カウンタを使用するテーブル (テーブル名とSQL名)	カウンタを使用するフィールド (フィールド名とSQL名)
amLoan_Code	ローン (amLoan)	コード (Code)
amContract_Ref	契約 (amContract)	参照番号 (Ref)
amReturnEnv_Code	返却 (amReturnEnv)	コード (Code)

カウンタの詳細については、マニュアル『管理』の「データベースのカスタマイズ」の章、「フィールドのデフォルト値のカウンタ」の節を参照してください。

アクションとウィザード

専門分野データには契約モジュールのアクションが含まれています。

実際のデータベース内にアクションをインポートした後、以下の手順に従って契約モジュールを識別します。

- 1 アクションのリストを表示します ([ツール / アクション / 編集])。
- 2 リスト画面で右クリックします。
- 3 [リストの設定] を選択します。
- 4 [属性] リンク (Nature) と [ドメイン] リンク (Domain) をリストの列見出しに追加します。
- 5 [OK] をクリックします。

- 6 [属性]列でリストを並べ替えます。
 - 7 契約モジュールのレポートは、BST_ASPとBST_CONTRACT属性で識別されます。
 - 8 [ドメイン]列でリストを並べ替えます。
 - 9 契約モジュールに属するレポートは契約ドメインとそのサブドメインに含まれます。
- 一部のアクションは本マニュアル内で説明されています。

表 14.6. アクションとウィザード (契約) - 一覧

アクション名	アクションのSQL名	アクションのタイプ	アクションのコンテキスト (テーブルのSQL名)	関連するマニュアルの章
アプリケーションサービスの管理	ConnectToAdminAccnt	実行可能ファイル	契約に含まれる従業員 (amCntrEmpl)	日常のASP契約の管理 [修献07]
アプリケーションサービスの管理	ConnectToASPAdministration	実行可能ファイル	契約 (amContract)	日常のASP契約の管理 [修献07]
アプリケーションサービスに接続	ConnectToASPService	実行可能ファイル	契約に含まれる従業員 (amCntrEmpl)	日常のASP契約の管理 [修献07]
テクニカルサポートに電子メールを送信	MailToSupport	実行可能ファイル	契約 (amContract)	日常のASP契約の管理 [修献07]
資産を契約に追加	Ast2Cntr	ウィザード	テーブルなし	手順2 - 契約に資産を追加する [修献9]
契約終了の通知	BstCntrEndNotifset	スクリプト	契約 (amContract)	手順8 - 終了日の管理 [修献01]
契約の作成	BstCntrCreateContract	ウィザード	テーブルなし	手順1 - 契約を作成する [修献9]
資産の受領を承認する	sysLeaseAssetAccept	スクリプト	契約 (amContract)	手順5 - 資産の受領を承認する [修献9]

アクション名	アクションのSQL名	アクションのタイプ	アクションのコンテキスト (テーブルのSQL名)	関連するマニュアルの章
資産の更新	sysLeaseAssetRenew	スクリプト	契約 (amContract)	契約上の資産を更新する [修献01]
資産を返却する	sysLeaseAssetReturn	スクリプト	契約 (amContract)	手順7 - 損失額の定義 [修献5]
ポートフォリオから削除	sysLeasePurgeAsset	スクリプト	返却 (amReturnEnv)	手順8 - 終了日の管理 [修献01]
契約責任者に通知	sysCntrNotif	メッセージ	文書 (amDocument)	契約に関連付けられた書類の自動承認 [修献5]
文書の追加/変更	sysCntrNotif	ウィザード	契約 (amContract)	契約に関連付けられた書類の自動承認 [修献5]
却下文書	sysCntrDocRej	スクリプト	文書 (amDocument)	契約に関連付けられた書類の自動承認 [修献5]
承認文書	sysCntrDocApp	スクリプト	文書 (amDocument)	契約に関連付けられた書類の自動承認 [修献5]

[ツール / アクション / 編集] メニューを選択してアクションテーブル (amAction) にアクセスできます。

アクションの使用の詳細に関しては、マニュアル『AssetCenterの高度な使い方』の「アクション」の章を参照してください。

新規のアクションを作成することもできます。

AssetCenter Serverモジュール

AssetCenter Serverの以下のモジュールは、契約モジュールで使用されます。

- 規定の損失額の計算 (LostVal)
- 賃貸料の計算 (Rent)
- 実行グループ'BST_ASP'にワークフロー規則を適用 (WkGroupBST_ASP)
- 実行グループ'BST_CONTRACT'にワークフロー規則を適用 (WkGroupBST_CONTRACT)

これらのモジュールの詳細については、マニュアル『管理』の「AssetCenter Server」の章の、「AssetCenter Serverでモニタするモジュールを設定する」を参照してください。

システムデータと専門分野データ

AssetCenterは、以下の標準データパッケージと共に提供されています。

これらのデータパッケージは、以下の2グループに分類できます。

- システムデータ：AssetCenterの使用に必須のデータ
- 専門分野データ：必要に応じて、実際のデータベースに挿入するデータ
このデータは、機能別に分類されています。
- サンプルデータ：AssetCenterの使用に慣れるために便利なデータ

契約モジュールに関連するシステムデータ

システムデータには、アクションテーブル（amAction）の契約モジュール固有のデータが含まれます。

契約モジュールに関連するサンプルデータ

サンプルデータは、契約モジュールに関連するデータをレポートのテーブル（amReport）内に含んでいます。

契約モジュールに関連するサンプルデータは、AssetCenterと共にインストールされるデモ用データベースに自動的に含まれます。

契約モジュールに関連するサンプルデータを実際のデータベースでも使用するには、AssetCenter Database Administratorでこれを指定する必要があります。

契約モジュールに関連する専門分野データ

専門分野データは、契約モジュール用に以下のテーブルのデータを含んでいます。

- 任意管理項目（SQL名：amFeature）
- アクション（SQL名：amAction）
- ワークフローに関するテーブル
- アプリケーションのオプション（SQL名：amOption）

契約モジュールに関連する専門分野データは、AssetCenterと共にインストールされるデモ用データベースに自動的に含まれます。

契約モジュールに関連する専門分野データを実際のデータベースでも使用するには、AssetCenter Database Administratorでこれを指定する必要があります。

レポートと書式

AssetCenterには書式とレポートが付属しています。一部の書式とレポートは契約モジュールに関連しています。

レポートと書式をデータベースで使用できるようにするには、AssetCenter Database Administratorでレポートと書式をインポートする必要があります。

契約モジュールに関連するレポートのインポートと識別

レポートのインポートの詳細については、マニュアル『AssetCenterの高度な使い方』の「Crystal Reports」の章「レポート作成プログラムの操作とインストール」の「既製のCrystal Reportsレポートを実際に使用するデータベースにインストールする」の節を参照してください。

契約モジュールに関連するレポートを識別する方法については、『AssetCenterの高度な使い方』の「Crystal Reports」の章、「モジュールに関連するCrystalレポートの識別」の節を参照してください。

契約モジュールに関連する書式のインポートと識別

書式のインポートの詳細については、マニュアル『AssetCenterの高度な使い方』の「書式」の章、「既製の書式を実際に使用するデータベースにインストールする」の節を参照してください。

契約モジュールに関連する書式を識別する方法については、『AssetCenterの高度な使い方』の「書式」の章、「モジュールに関連する書式の識別」の節を参照してください。

自動プロセス

AssetCenterがバックグラウンドで実行する自動プロセスに関する情報については、マニュアル『データベース構造』を参照してください。同マニュアルで記述されている各テーブルの章ごとに、「自動プロセス」という節があります。

API

契約モジュールに関連するAssetCenter APIはありません。

AssetCenter APIの一覧および説明については、『プログラマーズリファレンス』を参照してください。

ビュー

契約モジュール用のデフォルトのビューはありません。

ビューの詳細に関しては、マニュアル『カスタマイズ』の「ビューの使用方法」の章を参照してください。

その他のマニュアル

本マニュアルには、契約モジュールに直接関連する情報のみが記載されていません。

本マニュアルに加えて、以下のマニュアルを参照することをお奨めします。

表 14.7. その他のマニュアル（契約） - 一覧

マニュアル名	内容	フォーマット	AssetCenterのインストール先フォルダにおけるパス
インストール	<ul style="list-style-type: none"> AssetCenterのインストール 	印刷版 オンライン	<code>/doc/pdf/Installation.pdf</code> <code>/doc/chm/install.chm</code>
主要テーブル	<ul style="list-style-type: none"> 部署と従業員 従業員グループ 場所 会社 連絡先 国 	印刷版 オンライン	<code>/doc/pdf/CommonTables.pdf</code> <code>/doc/chm/common.chm</code>
はじめに	<ul style="list-style-type: none"> ソフトウェアの一般的なUI情報 	印刷版 オンライン	<code>/doc/pdf/UserInterface.pdf</code> <code>/doc/chm/userint.chm</code>

マニュアル名	内容	フォーマット	AssetCenterのインストール先フォルダにおけるパス
ポートフォリオ	<ul style="list-style-type: none"> ■ 属性 ■ モデル ■ 資産とロット ■ 作業指示 ■ ソフトウェアライセンス 	印刷版 オンライン	<code>/doc/pdf/Portfolio.pdf</code> <code>/doc/chm/portfol.chm</code>
データベース管理	<ul style="list-style-type: none"> ■ リストデータ ■ フィールドのカスタマイズ 	印刷版 オンライン	<code>/doc/pdf/Administration.pdf</code> <code>/doc/chm/admin.chm</code>
フィールドおよびリンクに関する状況依存ヘルプ	<ul style="list-style-type: none"> ■ データベースのフィールドとリンクの説明 	オンライン	<p>特定のフィールドまたはリンクを選択してから、以下の操作のうち1つを行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 右クリックして、[フィールドのヘルプ]メニューを選択します。 ■ キーボードで [Shift + F1] キーを押します。 ■ [ヘルプ/フィールドのヘルプ]メニューを選択します。
データベース構造	<ul style="list-style-type: none"> ■ データベースのテーブル、フィールド、リンク、インデックスの一覧 ■ AssetCenterが自動的にトリガするエージェント 	テキストファイル オンライン	<ul style="list-style-type: none"> ■ <code>doc/infos/database.txt</code> ■ <code>/infos/tables.txt</code> <code>/doc/chm/dbstruct.chm</code>
オンラインヘルプ	<ul style="list-style-type: none"> ■ アプリケーションの全機能 	オンライン	<p>特定のフィールドまたはリンクを選択してから、以下の操作のうち1つを行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ キーボードで [F1] キーを押します。 ■ [ヘルプ/インデックス]メニューを選択します。
ファイナンス	<ul style="list-style-type: none"> ■ コストカテゴリ ■ コストセンタ ■ 税区分 ■ 税金の計算式 	印刷版 オンライン	<code>/doc/pdf/Financials.pdf</code> <code>/doc/finance.chm</code>

マニュアル名	内容	フォーマット	AssetCenterのインストール先フォルダにおけるパス
調達	<ul style="list-style-type: none"> ■ 発注 ■ 一括発注(複数) ■ 依頼 ■ 受領 	印刷版 オンライン	/doc/pdf/Procurement.pdf /doc/procur.chm

ワークフローチャート

サンプルデータには、契約モジュール用のワークフローチャートが含まれていません。

実際のデータベース内にワークフローチャートをインポートした後、以下の手順に従って契約モジュールを識別します。

- 1 ワークフローチャートのリストを表示します（ [ツール / ワークフロー / ワークフローチャート] ）。
- 2 リストウィンドウで右クリックします。
- 3 [リストの設定] を選択します。
- 4 実行グループ（GroupName）リンクをリストの列見出しに追加します。
- 5 [OK] をクリックします。
- 6 リストを実行グループ列で並べ替えます。
- 7 契約モジュールのワークフローチャートは、BST_ASPとBST_CONTRACT属性で識別されます。

一部のワークフローチャートは本マニュアル内で説明されています。

表 14.8. ワークフローチャート（契約） - 一覧

ワークフローチャート名	ワークフローチャートの参照番号	開始オブジェクトのコンテキスト	関連するマニュアルの章
ユーザアカウントの管理	ASP002	契約に含まれる従業員 (amCntEmp)	
アプリケーションサービスの賃料の計算	ASP001	契約賃貸料 (amCntRent)	日常のASP契約の管理 [修献07]
契約期間満了間近の通知	BST_CNTR_END_NOTIF2	契約 (amContract)	

ワークフロー チャート名	ワークフローチャート の参照番号	開始オブジェ クトのコンテ キスト	関連するマニュアルの章
契約賃貸料を常 に契約期間と同 期化	BST_CONTRACT03	契約賃貸料 (amCtrRent)	
資産賃貸料を常 に契約期間と同 期化	BST_CONTRACT02	資産の賃貸料 (amAssetRent)	
資産の失効間近 の通知	BST_CONTRACT01	契約 (amContract)	
契約文書の承認	SYS_CONTRACT_APPR	文書 (amDocument)	契約に関連付けられた書類の 自動承認 [俊融85]

[ツール/ワークフロー/ワークフローチャート]メニューで、ワークフローチャート (amWfScheme) テーブルを表示します。

ワークフローチャートの詳細に関しては、『AssetCenterの高度な使い方』の「ワークフロー」の章を参照してください。

Index

PEREGRINE

- アイコン, 166
- アクション, 177
- アプリケーションサービス
 - 定義, 157
- インストール, 19
- インストールするモジュール, 17
- インタフェース - オプション, 166
- ウィザード, 177
- エクストラデータのインポート (オプション), 19, 18
- カウンタ, 177
- コスト (参考 リース費用)
- サイクル (タブ), 26
- サンプルデータ, 180
- システムデータ, 180, 18
- システムデータの作成 (オプション), 19, 18
- すべての資産に比例配分 (オプション), 81
- タブ, 163
- ツール, 166, 166
- ツールバー, 166
- テーブル, 167
 - 関係, 171
- データベース
 - システムデータ - インポート, 18
 - 準備, 17
 - 専門分野データ - インポート
 - 既存のデータベース, 18
 - 新規データベース, 18
- ビュー, 182
- マスターリース (参考 マスターリース)
- マニュアル, 182
- メニュー, 163
- ライセンス, 17
- リース, 151
 - データモデル, 24
 - 手順, 25
 - 損失, 95
 - 定義, 154
- リースの実用例
 - コスト, 133
 - トラッキング, 135
 - はじめに, 124
 - リースの終了, 134
 - リース契約, 126
 - 一時金, 132
 - 支払, 130
 - 資産, 129
 - 受領承認, 132
 - 必要条件, 136, 124

- 返却, 134
- リースの終了
 - 定義, 152
- リース資産
 - (参考 契約)
 - トラッキング, 26
 - 一時金, 81
 - 管理, 39
 - 更新, 101
 - 結果, 103
 - 資産, 101
 - 新規賃貸料, 102
 - 賃貸料, 102
 - 日付, 102
 - 購入 (買い取り), 104
 - 受領承認, 80
 - 損失額
 - 計算, 98
 - 計算規則, 96
 - 更新, 99
 - 返却, 103
 - 契約, 103
 - 資産を除却する, 104
 - 返却資産, 104
- リース終了
 - 中途解約, 153
- リース費用
 - (参考 AssetCenterサーバ)
- リース明細 (参考 リース明細)
- リストデータ, 175
- レポート, 181
- ローン, 68 (参考 ローン) (参考 契約)
 - すべての資産に比例配分する
 - 手順, 70
 - ローン返済スケジュール, 65
 - 外部ソフトウェア, 65
 - 支払明細, 65
 - 定義, 151
- ローン返済明細, 158
- ワークフロー, 184
- 一括発注 (複数), 150
- 一時金 (参考 一時金)
- 期間満了 (参考 リース終了)
- 契約
 - (参考 リース)
 - (参考 リース終了)
 - タイプ, 32
 - マスターリース
 - 定義, 151
 - リース, 151
 - 階層構造, 31
 - 定義, 150
 - 料率, 151
- 契約のタイプ, 32
- 購入 (参考 購入 (買い取り))
- 購入 (買い取り), 104
 - 定義, 152
- 支払回数, 156
- 支払期日, 152
- 資産に賃貸料を配分または配賦しない (オプション), 83
- 事前準備, 17
- 自動プロセス, 181
- 受領承認, 80 (参考 受領承認)
 - 定義, 149
- 初回金, 160
- 書式, 181
- 専門分野データ, 180, 18, 18
- 選択した資産に賃貸料を比例配分して配賦 (オプション), 82
- 損失, 95
- 損失額 (参考 損失額)
- 貸付業者, 156 (参考 貸付業者)
- 値
 - 初回支払額, 160
 - 損失額, 95
 - 定義, 158
 - 賃貸料の値, 159
 - 買取額, 160
 - 比例配分値, 159
- 中途解約 (参考 中途解約)
- 賃貸料 (参考 支払)
 - すべての資産に配賦, 59
 - 計算, 60
 - すべての資産に比例配分する
 - 契約レベルで計算する, 76, 71, 55
 - 四捨五入の値, 73, 58
 - 資産に比例配分する, 72, 56
 - 資産レベルで計算する, 56
 - 手順, 60, 53

- 例, 74, 58
- 一時金
 - 計算, 83, 81
 - 警告, 81
 - 固定値による計算, 85
 - 最小日数および最大日数フィールド, 84
 - 受領承認日に応じた計算, 83
 - 賃貸料の比率による計算, 84
 - 定義, 155
- 期限, 66
- 金額, 155
- 計算方法 - 選択, 69, 52
- 主賃貸料, 155, 54
 - 注意, 54
 - 定義, 154
- 配賦, 76, 62
- 配賦なし, 60
 - 計算, 61
- 通知
 - 定義, 156, 152
- 特殊フィールド, 176
- 配賦, 153
- 比例配分, 157
- 必要条件, 17
- 利子, 153
- 料率, 151, 149
 - (参考料率)

A

- API, 181
- AssetCenter Database Administrator
 - システムデータ - インポート, 18
 - 専門分野データ - インポート
 - 既存のデータベース, 18
 - 新規データベース, 18
- AssetCenterサーバ
 - モジュール, 179

C

- config (フォルダ), 18

G

- gbase.xml, 18

